

文化表現学科

2020年10月16日 更新

2020年6月10日 更新

2020年4月1日 更新

科目名	文学に親しむ		単位数	2	実務経験	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	CUL3121		授業形態	講義		
授業の内容	日本の文学作品や作家について、古代から近代まで順を追って取り上げ、文学の魅力と意義について実感する。実際に丁寧に読むことで、それぞれの作品のもつ価値と時代や社会との関わりについて詳しく解説する。					
到達目標	1. 文学の魅力と価値を実感できる 2. 自ら読みたいと思う文学作品に出会う。 3. 文学を通じて社会と歴史について考える。					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1・2)					
授業計画	第1回	内容	授業の始まりにあたって～文学とどう関わるのか	予習	これまでの読書体験を書き出す	
				復習	印象に残った作品を振り返る	
	第2回	内容	古事記神話～神話はなぜ必要とされるのか	予習	古事記の成立、時代背景について調べる	
				復習	読んだ神話をノートにまとめる	
	第3回	内容	古事記神話～神話はなぜ必要とされるのか	予習	指示した課題について調べる	
				復習	取り上げた神々をノートにまとめる	
	第4回	内容	万葉集～うたと文学との出会い	予習	万葉集の特色について調べる	
				復習	取り上げた歌をノートにまとめる	
	第5回	内容	万葉集～うたと文学との出会い	予習	歌の表記について調べる	
				復習	取り上げた歌をノートにまとめる	
	第6回	内容	竹取物語～かぐや姫の真実	予習	竹取物語について調べる	
				復習	物語の特色をノートにまとめる	
	第7回	内容	源氏物語～なぜ名作と評価されるのか	予習	源氏物語の特色、内容、作者について調べる	
				復習	物語の展開をノートにまとめる	
	第8回	内容	源氏物語～平安京という空間	予習	平安京の歴史について調べる	
				復習	物語の舞台をノートにまとめる	
	第9回	内容	宇治拾遺物語～お話し原像「瘤取りじいさん」	予習	知っている昔話を書き出す	
復習				「瘤取りじいさん」の原話をノートにまとめる		
第10回	内容	宇治拾遺物語～お話し原像「藁しべ長者」	予習	「藁しべ長者」の内容を書き出す		
			復習	「藁しべ長者」の原話をノートにまとめる		
第11回	内容	つれづれ草～兼好法師の人生観	予習	つれづれ草について調べる		
			復習	授業で読んだ章段をノートにまとめる		
第12回	内容	閑吟集～現代につながる流行歌謡	予習	「小歌」について調べる		
			復習	授業で取り上げた「うた」をノートにまとめる		
第13回	内容	柳多留～江戸川柳の魅力	予習	川柳について調べる		
			復習	授業で読んだ川柳をノートにまとめる		
第14回	内容	小泉八雲～怪談を伝えたアメリカ人	予習	小泉八雲について調べる		
			復習	八雲が残した怪談をノートにまとめる		
第15回	内容	宮澤賢治～何を伝えようとしたのか	予習	宮澤賢治について調べる		
			復習	作者とその詩・童話などノートにまとめる		
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	コメントを加える					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 () %、レポート・課題 (70 %)、作品・発表 () %、実技 () %、授業態度 (30 %)					
教科書	プリントを配布する					
参考文献	必要に応じて指示する					
注意事項	漠然と授業に臨むのではなく、文学の持つ魅力や楽しさに出会う貴重な機会と捉えて出席して貰いたい。					

科目名	異文化コミュニケーション		単位数	2	実務経験	担当教員	まつお のぶこ 松尾 信子
ナンバリングコード	CUL3131		授業形態	講義			
授業の内容	日本での常識が外国では通用しないことが多数あり、日本人同士でも年齢や性別、職業や地位、出身地によって文化や価値観に違いがあります。この授業では、文化的背景を異にする者同士が相手の立場からコミュニケーションを取るために、複数の地域の文化を考える力を養い、文化の交流に積極的に取り組む姿勢を身につけます。						
到達目標	1. 世界の国々のさまざまな文化の違いを説明できる。 2. 異文化の人びとに日本の魅力を伝えることができる。 3. 外国語に関心をもち、異文化の人びととコミュニケーションが取れるようになる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1, 2, 3）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく		
			異文化による問題発生の事例研究	復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	異文化コミュニケーションの基礎概念	予習	文化とは何かについて調べる		
				復習	異文化コミュニケーションの意味をまとめる		
	第3回	内容	異文化コミュニケーションにおける重要キーワード	予習	新聞やニュースから海外の出来事を調べる		
				復習	場所・社会的状況、歴史などの影響をまとめる		
	第4回	内容	自己とアイデンティティ	予習	アイデンティティの意味を調べる		
				復習	アイデンティティと自己概念の理解とまとめ		
	第5回	内容	社会・文化的アイデンティティ	予習	新聞やニュースから海外の出来事を調べる		
				復習	社会や文化が与える影響についてまとめる		
	第6回	内容	異文化コミュニケーションの衝撃 [グループワーク] 日本国内で起きる摩擦の事例研究①	予習	事例について考えをまとめ、発表の準備をする		
				復習	偏見や差別等の障壁について考えをまとめる		
	第7回	内容	文化的価値の学習過程 [グループワーク] 日本国内で起きる摩擦の事例研究②	予習	事例について考えをまとめ、発表の準備をする		
				復習	文化的価値の共有と継承の仕組みをまとめる		
	第8回	内容	宗教・文化・芸術との関係性 [グループワーク] 世界の五大宗教についての調査研究	予習	新聞等から異文化間の宗教の問題を調べる		
				復習	関心のある宗教について調べ、まとめる		
第9回	内容	政治・教育・産業との関係性 [グループワーク] 宗教についての発表と比較研究	予習	新聞等から異文化間の政治の問題を調べる			
			復習	宗教や主義の違いがもたらす影響をまとめる			
第10回	内容	日本の歴史や文化等を通して自国を見直す [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話修得（挨拶）	予習	外国語による挨拶について調べる			
			復習	日本の歴史・文化について考えをまとめる			
第11回	内容	コミュニケーションスタイルの多様性 [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話（自己紹介）	予習	外国語による自己紹介を考える			
			復習	個人差と文化差について意見をまとめる			
第12回	内容	コミュニケーションとノンバーバルコミュニケーション [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話（質問対応）	予習	外国語での質問に対する回答について調べる			
			復習	ノンバーバルコミュニケーションの重要性についてまとめる			
第13回	内容	相互理解を図るための話し方と聞き方 [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話（日本食紹介）	予習	外国語による日本食の紹介を考える			
			復習	相互理解を図るために必要な要素をまとめる			
第14回	内容	コミュニケーションを取る際の注意点と心構え [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話（観光地紹介）	予習	外国語による観光地の紹介を考える			
			復習	訪日客に対する配慮について考えをまとめる			
第15回	内容	新聞やニュースから現在の世界の状況を把握する 授業の総括と演習	予習	新聞等から異文化間の問題を調べる			
			復習	異文化理解に関する今後の取組みをまとめる			
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	レポートや課題に対する提出物に関しては、その都度、ランク付けとコメントを添付して返却します。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、作品・発表（40%）、授業態度（20%）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	1. 始業時間は厳守してください。レジュメやレポート課題は毎回インターネットで配信します。 2. 授業は毎回、演習やグループワークを取り入れた全員参加型ですので、楽しく活発になるように協力してください。						

科目名	英会話基礎演習		単位数	2	実務経験	担当教員 あかまつ みちこ 赤松 道子
ナンバリングコード	ENL3111		授業形態	演習		
授業の内容	英会話の基本的具体的な項目を少しずつ学び、少しずつ覚え、練習していきます。聞くこと、話すことを中心として、1対1で話す経験を通して、身近な話題をはっきりとゆっくりと集中して聞き取り、話す練習をします。授業の最初にアンケートを行い、学生のみなさんの要望を授業に取り入れます。小話を聞き、クイズに答えながら、英語に慣れていきましょう。テーマ修了後に「ふりかえりの記録」にわからない単語・表現を書いてもらい、次の授業で復習します。(授業内容は授業時間によって変更がある場合があります)。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. はっきりとゆっくりと自分、家族、周りの世界の具体的な事柄について、基本的な表現を理解する。 2. 質問したり、答えたりのやり取りを身につける。 3. 恥ずかしさや英語への恐れを少なくし、人前で話すことに慣れて、発表できる。 					
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2)					
授業計画	第1回	内容	授業アンケート記入と自己紹介。学生に適した自己紹介を学ぶ	予習	自分のことを日本語で紹介できるように整理する	
				復習	自己紹介の定型表現を復習する	
	第2回	内容	自己紹介・あいさつの仕方 出会ったとき、別れる時の表現を学ぶ	予習	自分の知っているあいさつ表現をまとめる	
				復習	あいさつ表現の定型表現の言い方を復習する	
	第3回	内容	仕事・職業 基本的な表現	予習	どのような職業があるか、書き出して整理する	
				復習	仕事、職業について単語、表現を復習する	
	第4回	内容	世界の言葉・人々・国々(1) 基本表現。日本と密接な関係にある国を取り上げる	予習	日本と密接な関係にある国はどのような国か、日本語で整理してみる	
				復習	日本と密接な関係にある国の場所を確認し、国名を音読する	
	第5回	内容	世界の言葉・人々・国々(2) 言語、人々 〇〇語、〇〇人という表現を学ぶ	予習	世界の言語を列挙してみる	
				復習	世界の言語と人々の国籍についての単語を音読し、復習する	
	第6回	内容	世界の言葉・人々・国々(3) 世界の国々 〇〇国、〇〇国の、という表現を理解する	予習	近い国の名前を英語で調べる	
				復習	国名を音読し、書いて復習する	
	第7回	内容	家族(1) 基本表現 家族関係の基本的な単語を理解する	予習	基本的な家族についての単語を英語で書いてみる	
				復習	家族の表現を音読し、書いて確認する	
	第8回	内容	家族(2) 親戚、友人 幅広い関係を示す表現を学ぶ	予習	親戚についての言い方を日本語で整理する	
				復習	親戚に関する単語を書いて確認する	
	第9回	内容	家族(3) 応用練習 家族についての表現を用いて会話練習する	予習	家系図を日本語で書いてみる	
				復習	家族に関する文章を音読 自分の家族について書いてみる	
	第10回	内容	時の表現(1) 基本的な表現の習得 時を示す表現方法を学ぶ	予習	数字を英語で確認する	
				復習	時間の表現を読み上げて確認する	
	第11回	内容	時の表現(2) 毎日、朝から夜までの表現 〇〇時に何を するという表現を学ぶ	予習	朝から夜までの自分の行動予定を振り返る	
				復習	朝から夜までの英語表現を復習	
	第12回	内容	時の表現(3) 年月日について 西暦、月、日の表現方法を学ぶ	予習	月の言い方を整理する	
				復習	西暦、月、日の表現を書き、音読し、復習する	
	第13回	内容	時の表現(4) 曜日、頻度の表現 いつもする、ときどき する、という頻度を示す表現を学ぶ	予習	曜日の言い方を書いてみる	
				復習	頻度の副詞を確認し、文章を音読する	
	第14回	内容	誕生日、要望の表現 〇〇したい、という要望の表現を学び、 自分の例を話す	予習	自分の誕生日を英語で書いてみる	
				復習	要望の表現を確認し、音読する	
	第15回	内容	色彩・洋服・買物の表現。 買物場面を念頭において、会話 練習する	予習	色彩に関する単語を整理する	
				復習	洋服、買物の表現を確認し、書いてみる	
	第16回	内容	質疑応答の基本表現 疑問文の練習 会話を継続するために 適した質問ができるように練習する	予習	疑問詞を書き出してみる	
				復習	普通文を疑問文に直し、音読する	
	第17回	内容	食事・食べ物(1) 基本的な表現の習得 食べ物の単語を確認する	予習	野菜、果物の単語を書いてみる	
				復習	食べ物の単語を音読し、それを用いて文章をつくる	
	第18回	内容	食事・食べ物(2) 朝食・昼食 食事場面の練習をする	予習	朝食、昼食に食べるものを整理する	
				復習	食事場面の会話を音読する	
	第19回	内容	食事・食べ物(3) 注文の仕方。応用練習 注文・支払の仕方の基本を学ぶ	予習	支払方法はどのようなものがあるか、まとめる	
				復習	注文支払場面の会話を書き出し、音読する	

第20回	内容	食事・食べ物(4) 世界の料理。世界の民族料理に注目し、味についても学ぶ	予習	日本の近隣国の料理の特徴をまとめる
			復習	世界の料理に関する表現を音読
第21回	内容	あいづちの打ち方、会話で特徴的な表現を学ぶ	予習	前回授業での味についての表現を振り返り、書き出してまとめる
			復習	自分の意見を表現できるように、あいづちの文章を音読する
第22回	内容	住まい・家・部屋 基本表現の習得。 〇〇あります、という存在を示す表現の練習をする	予習	自分の家の間取りを日本語で整理する
			復習	家、部屋の単語、文章を自宅に即して書く
第23回	内容	道案内・方角。基本表現の練習。実際に自分の最寄り駅から学校まで、東京の地下鉄を使って道案内をする	予習	自宅から学校までの行き方を日本語で確認
			復習	地下鉄マップを使い、案内をシミュレーションして振り返る
第24回	内容	電話、電話の応対(1) 電話の基本表現。 電話の仕方の基本表現を学ぶ	予習	自分が電話するとき、日本語でどのような手順で話をするか整理する
			復習	電話の基本表現の文章を音読する
第25回	内容	電話、電話の応対(2) 伝言、電話の種類。職場での伝言の取次、対応を練習する	予習	自分が伝言を依頼するとき、どうするか日本語でまとめる
			復習	伝言の表現を書き出し、音読する
第26回	内容	クリスマス・新年。歌・ゲーム。世界のクリスマス、日本のクリスマスと比較し、関連表現を学ぶ	予習	日本のクリスマスはどのようなものか、日本語で考えてみる
			復習	クリスマスについて自分の経験を話せるように文章を書いてみる
第27回	内容	日本の新年。日本に特徴的な料理、習慣を取り上げて、関連表現を学び、自分の例を話す練習をする	予習	自宅での新年の送り方を振り返って整理する
			復習	日本の新年の習慣についての文章を再度書き、音読する
第28回	内容	スケジュール・約束・提案。基本表現。未来形を学び、約束に関連する表現を学ぶ	予習	自分の1週間、1年間のスケジュールを整理
			復習	約束、提案の表現を書き出して、音読する
第29回	内容	将来・予定・人生設計。基本表現。 自分の将来の希望について話す練習する	予習	自分の人生設計、将来やりたいことを日本語で整理する
			復習	自分の将来について文章化し、音読する
第30回	内容	復習・試験練習。 今まで学んできた内容を確認し、復習する	予習	誕生日にしたいことをまとめる
			復習	復習のプリントの内容を確認し、書き出し、音読する
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	定期試験後に解答を示し、解説する			
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(70%)、レポート・課題()%、作品・発表()%、実技()%、授業態度(30%)			
教科書	カリキュラムに応じてプリントを配付します			
参考文献	必要な場合には指示します			
注意事項	表現の習得のために発音の練習をします。間違ってもかまいませんから、大きな声で発音すること。意欲を持ち、積極的に授業に参加すること。授業には英語の辞書を持参すること。(電子辞書、冊子式辞書どちらでもよい)			

科目名	情報と社会		単位数	2	実務経験	担当教員	ひだ あつこ 樋田 敦子
カンパリグコード	GEE3111		授業形態	講義			
授業の内容	<p>私たちが生きているこの社会に渦巻く情報。その情報の真偽を確かめつつ、社会人として適切な判断ができる能力を養うことを目的にする。</p> <p>主に社会問題を取り上げ、問題を考察しつつ、自己の考えを発表できるようにする。</p>						
到達目標	<p>1. 現実に行っている社会問題の情報を集める。実際に起こった事件・問題を参照にして。</p> <p>2. その問題を自分なりに分析する。</p> <p>3. 自分の意見を発表する。</p>						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス。興味を持っている社会問題を聞く。	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	授業内容を理解する		
	第2回	内容	子どもをめぐる問題①について考察する。 貧困について。	予習	子どもの貧困について調べておく。		
				復習	授業内容をまとめておく。		
	第3回	内容	子どもをめぐる問題② いじめについて。	予習	子どものいじめについて考察しておく。		
				復習	授業ノートを読み返す。		
	第4回	内容	子どもをめぐる問題③ 子どもの人権について。	予習	子どもの人権とは何かを調べてみる。		
				復習	授業ノートを読み返す。		
	第5回	内容	子どもをめぐる問題について振り返り。	予習	授業をふりかえるために考えをまとめる。		
				復習	授業ノートをy見返す。		
	第6回	内容	ジェンダーをめぐる問題① ジェンダーとは何か。	予習	ジェンダーとは何かを調べておく。		
				復習	授業ノートを読み返す。		
	第7回	内容	ジェンダーをめぐる問題② 知っておかなければならないことは何か。	予習	女性を知っておかなければいけないことは何か江尾調べる。		
				復習	授業ノートを読み返す。		
	第8回	内容	子どもの問題、ジェンダーの問題の小テスト	予習	授業ノートを読み返す。		
				復習	テストの見直し。		
	第9回	内容	民法をめぐる問題について① 夫婦の氏はどうなる。	予習	民法の問題とは。		
				復習	授業ノートの見直し。		
	第10回	内容	民法をめぐる問題② 無戸籍とは何か。	予習	民法の問題とは。		
				復習	授業ノートの見直し。		
	第11回	内容	民法をめぐる問題③ 結婚。離婚について。	予習	結婚、離婚の問題を調べる。		
				復習	授業ノートの見直し。		
	第12回	内容	日本の少子化について	予習	少子化とは何か。		
				復習	授業ノートの見直し。		
	第13回	内容	報道と人権について。	予習	新聞を読んでおく。		
				復習	授業ノートを読んでおく。		
	第14回	内容	平等社会の実現に向けて私たちはどう行動すべきか。	予習	尿道社会とは何かを調べておく。		
				復習	授業ノートを読んでおく。		
	第15回	内容	振り返り。これまで行ってきたテーマについての意見を述べる。	予習	授業ノートを読んでおく。		
復習				これmでのテーマについて再度考えておく。			
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。							
課題へのフィードバック	適宜、確認の時間を取る。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60%）、授業態度（40%）						
教科書	適宜、プリント教材を配布する。						
参考文献							
注意事項	授業を通して、自分自身の望ましい食生活の構築にも取り組んで欲しい。						

科目名	現代社会入門		単位数	2	実務経験	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子
ナンバリングコード	GEE3112		授業形態	講義			
授業の内容	これまで常識とってきたことが、果たして本当にそうなのか、という視点からいくつかの事柄について提示し、学生一人ひとりが大いに疑問を抱くような事柄を提示していきたい。現代社会がまさに複雑化していく中で、絶えず物事や情報を鵜呑みにせず、自分で疑い異なった見方を模索しながら、考え判断していく練習となるような内容について提示する。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 古代・近代オリンピックの成り立ちについて説明できる。 2. 政治や選挙のしくみについて説明できる。 3. 原爆や原発の問題について理解できる。 4. 女性や子どもの問題について理解できる。 						
学位授与方針	文化表現学科（ 1, 2, 3 ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション：諸注意や説明	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	疑うことの重要性について理解する		
	第2回	内容	オリンピックは平和の祭典か！？（1）	予習	古代・近代オリンピックについて調べる		
				復習	理解したことをまとめる		
	第3回	内容	オリンピックは平和の祭典か！？（2）	予習	テロ行為について調べる		
				復習	学んだことについてまとめる		
	第4回	内容	国会のしくみについて	予習	政党について調べる		
				復習	理解したことをまとめる		
	第5回	内容	選挙制度について	予習	選挙制度について調べる		
				復習	理解したことをまとめる		
	第6回	内容	日本国憲法について学ぶ（1）	予習	憲法について調べる		
				復習	学んだことについてまとめる		
	第7回	内容	日本国憲法について学ぶ（2）	予習	憲法問題について調べる		
				復習	理解したことをまとめる		
	第8回	内容	世界の子どもの状況について学ぶ（1）	予習	戦争や貧困の問題について調べ、まとめる		
				復習	アフリカ・露・ブラジル・米等について調べる		
第9回	内容	世界の子どもの状況について学ぶ（2）	予習	英・伊・中国について調べる			
			復習	子どもの置かれた状況についてまとめる			
第10回	内容	戦争について考える（1）	予習	第二次世界大戦について調べ、まとめる			
			復習	理解したことをまとめ、さらに調べてみる			
第11回	内容	戦争について考える（2）	予習	世界の紛争について調べる			
			復習	理解したことをまとめる			
第12回	内容	原爆や原発の問題について学ぶ	予習	原爆や原発について調べ、まとめる			
			復習	理解したことをさらに発展させまとめる			
第13回	内容	現代社会で気になる問題について各自発表する（1）	予習	自分の発表内容について調べ、まとめておく			
			復習	他の人の発表についてまとめておく			
第14回	内容	現代社会で気になる問題について各自発表する（2）	予習	自分の発表を客観的に評価してみる			
			復習	他の人の発表を踏まえて、自分の発表をまとめる			
第15回	内容	まとめ	予習	自分で学んで理解したことをまとめておく			
			復習	自分なりの見解を発展させる			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	小エッセイや小レポートならびに課題についてコメントを行い、予習・復習の留意点について示唆する						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、作品・発表（25%）、授業態度（25%）						
教科書	特に指定はしない						
参考文献	授業中に適宜、プリント資料等を配布し、紹介する						
注意事項	主体的に疑問や興味をもち、関心をもち、いろいろなことについて積極的に調べてほしい						

科目名	心理学		単位数	2	実務経験	担当教員 かがや たかふみ 加賀谷 崇文
ナンバリングコード	GEE3113		授業形態	講義		
授業の内容	心理学は人の心という誰にとっても身近なものを扱う学問であるが、領域は多岐に渡り、様々な分野の「～心理学」がある。本講義では、心理学における主要な考え方を紹介するとともに、学生が授業の中で、心理学的な体験をしてもらう。					
到達目標	1. 心理学という学問領域を理解している。 2. 心理学の諸領域を知っている。 3. 心理学の代表的な理論を学んでいる。 4. 自身の体験と心理学の理論を関連付けられる。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1, 2, 3 ）					
授業計画	第1回	内容	心理学とは	予習	シラバスを読んでおく。	
				復習	授業内容の確認。	
	第2回	内容	心理学の歴史	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	授業内容の確認。	
	第3回	内容	認知と心理学	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	自分の生活に当てはめて考える。	
	第4回	内容	行動と心理学	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	自分の生活に当てはめて考える。	
	第5回	内容	発達と心理学	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	自分の生活に当てはめて考える。	
	第6回	内容	知能と心理学	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	自分の生活に当てはめて考える。	
	第7回	内容	性格と心理学	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	自分の生活に当てはめて考える。	
	第8回	内容	心理テストと心理学	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	自分の生活に当てはめて考える。	
第9回	内容	精神医学と心理学	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
第10回	内容	悩みと心理学	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
第11回	内容	対人援助と心理学	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
第12回	内容	その他の心理学	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
第13回	内容	心理学と研究	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
第14回	内容	心理学と実験	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
第15回	内容	心理学と生活	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	テストの結果について知らせる。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（90%）、授業態度（10%）					
教科書	『新体系 看護学全書 基礎分野 心理学』（田中一彦、長田久雄、メヂカルフレンド社）					
参考文献	なし					
注意事項	私語を慎むこと。					

科目名	コミュニケーション論	単位数	2	実務経験	担当教員	ひだ あつこ 植田 敦子
ナンバリングコード	CAE3224	授業形態	講義			
授業の内容	私たちが日常生活の中で受容したさまざまな情報を適切な考えで判断し、合理的な推論をしたうえでアウトプットする。相手の意図を読み取る力、自分の考えを伝える力の構築を目指して授業をすすめていく。実際にどうコミュニケーションをとるか、学生同士の意見交換の中から探る。					
到達目標	1. 受容した情報の意味や意義とは何か。 2. メディアを通して受容した情報の真偽は確かか。 3. ネット、SNS 社会でどう対応していったらいいか。					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2, 3)					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	ノートを確認する。	
	第2回	内容	コミュニケーションとは何か。	予習	新聞を読んでおく。	
				復習	ノートを確認する。	
	第3回	内容	メディアと社会はどのようにつながっているか。	予習	新聞を読んでおく。	
				復習	ノートを確認する。	
	第4回	内容	メディアのコミュニケーション機能について。	予習	新聞を読んでおく。	
				復習	ノートを確認する。	
	第5回	内容	言葉とイメージについて。	予習	新聞を読んでおく。	
				復習	ノートを確認する。	
	第6回	内容	人間は情報をどのように受け取るか。	予習	新聞を読んでおく。	
				復習	ノートを確認する。	
	第7回	内容	振り返りと小テスト	予習	新聞を読んでおく。	
				復習	ノートを確認する。	
	第8回	内容	伝える力とは何か。	予習	新聞を読んでおく。	
				復習	ノートを確認する。	
第9回	内容	噂はどのように広がっていくか。	予習	新聞を読んでおく。		
			復習	ノートを確認する。		
第10回	内容	ネットの発達した時代のハインリッヒの法則	予習	新聞を読んでおく。		
			復習	ノートを確認する。		
第11回	内容	メディア情報の稟議を問う。	予習	新聞を読んでおく。		
			復習	ノートを確認する。		
第12回	内容	SNS の発散について。	予習	新聞を読んでおく。		
			復習	ノートを確認する。		
第13回	内容	情報と人権。傷つかせない、傷つかない方法はあるのか。	予習	新聞を読んでおく。		
			復習	ノートを確認する。		
第14回	内容	メディアのメッセージをどのように分析したらいいか。	予習	新聞を読んでおく。		
			復習	ノートを確認する。		
第15回	内容	まとめ	予習	新聞を読んでおく。		
			復習	ノートを確認する。		
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。						
課題へのフィードバック	適宜、理解度を示す確認の時間を取る。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法： レポート・課題 (60%)、授業態度 (40%)					
教科書	適宜、教材プリントを提供する。					
参考文献	『コミュニケーション入門』(有斐閣)					
注意事項	授業を通して、コミュニケーションについて理解し、伝える力をつけてほしい。					

科目名	データサイエンス		単位数	2	実務経験	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
ナンバリングコード	STS12101		授業形態	演習			
授業の内容	<p>本授業では、パソコンの表計算ソフトウェアを併用した統計処理の基本を学ぶ。</p> <p>また、実際の集計データ（学外事業体が公開提供しているものなど）を用いて、データ処理業務の一端を模擬的に体験する。</p> <p>本授業は、パソコンやデータに興味関心をもつ学生（科目等履修生を含む）であれば、所属学科を問わず誰でも受講を歓迎する。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. データ処理演習を通して、データが内包する様々な情報の意味を理解できる。 2. パソコンを積極的に活用する作業について、その利便性や問題点を理解できる。 3. 今後の社会に必要とされる基本的な数理的思考や、データの分析・活用ができる。 						
学位授与方針	幼児教育学科（ 3, 4, 5 ）地域保育学科（ 2, 3, 5 ）文化表現学科（ 2, 3, 4 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 統計学の基本①：統計学の成り立ちと意義	予習	シラバスを読んで、授業の流れを把握する。		
				復習	配布プリントを再読し、疑問点を整理する。		
	第2回	内容	統計学の基本②：いろいろな統計値の意味	予習	第1回授業時の配布プリントを再々読する。		
				復習	追加配布プリントを再読する。		
	第3回	内容	統計学の基本③：可視化を通して分かるデータの性質	予習	第2回授業までの全配布プリントを再々読する。		
				復習	追加配布プリントを再読する。		
	第4回	内容	統計学の基本④：様々な検定手法	予習	第3回授業までの全配布プリントを再々読する。		
				復習	追加配布プリントを再読する。		
	第5回	内容	第1回～第4回の授業の総括	予習	第4回授業までの全配布プリントを再々読する。		
				復習	授業時に課題された課題Vの準備を始める。		
	第6回	内容	統計学演習①：平均値、中央値、標準偏差、分散、順位、偏差値、etc.	予習	第5回授業時の配布プリントを再読する。		
				復習	授業時に課題された演習問題Iを手掛ける。		
	第7回	内容	統計学演習②：ABC分析、相関分析、回帰分析、etc.	予習	第5回・第6回の配布プリントを再々読する。		
				復習	授業時に課題された演習問題IIを手掛ける。		
	第8回	内容	統計学演習③：時系列分析、平均値の差の検定、分散の差の検定、etc.	予習	第5～7回までの全配布プリントを再々読する。		
				復習	授業時に課題された演習問題IIIを手掛ける。		
	第9回	内容	統計学演習④：独立性の検定、相関の検定、重回帰分析、etc.	予習	第5～8回までの全配布プリントを再々読する。		
				復習	授業時に課題された演習問題IVを手掛ける。		
	第10回	内容	第6回～第9回の授業の総括	予習	第5～9回までの全配布プリントを再々読する。		
				復習	演習問題I～IVおよび既出の課題Vを完成する。		
第11回	内容	実際の集計データの処理①：身近なデータ（身長と体重、etc.）の特徴を探索	予習	第10回授業時の配布プリントを再読する。			
			復習	追加配布プリントを再読する。			
第12回	内容	実際の集計データの処理②：自然科学系データ（地震情報、etc.）の数値処理を学ぶ	予習	第10～11回までの全配布プリントを再々読する。			
			復習	追加配布プリントを再読する。			
第13回	内容	実際の集計データの処理③：大規模データ（公共事業関連など）の分析を試みる	予習	第10～12回までの全配布プリントを再々読する。			
			復習	追加配布プリントを再読する。			
第14回	内容	第11回～第13回の授業の総括：実際の集計データに係る処理結果の発表と考察	予習	第11～13回までの処理結果をまとめておく。			
			復習	発表内容に対する各自のコメントを整理する。			
第15回	内容	全授業の総括	予習	これまでの全配布プリントを再度熟読する。			
			復習	授業時に課題された課題VIを仕上げ提出する。			
予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業開講期間の後半において、実際の集計データに対する数値分析を履修者が分担して行い、その結果および解釈を互いに論評し合う。						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない</p> <p>成績評価の方法： レポート・課題（50%）、作品・発表（25%）、授業態度（25%）</p>						
教科書	プリントを随時配布するほか、必要に応じて紹介する。						
参考文献	『やさしく学ぶ データ分析に必要な統計の教科書』（羽山 博著、株式会社インプレス刊）、その他必要に応じて紹介する。						
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本授業で取り上げる統計処理は、いずれもMicrosoft Excelの標準搭載機能を利用している。そのため、本授業を受講することによって“統計学の基本知識の習得”および“Microsoft Excelの操作全般に係る総復習”の機会を得ることができる。 2. 上記「授業計画」の内容は、授業の実際の進行具合などに応じて、適宜変更されることがある。 3. 担当教員の業務都合などの理由により授業の開講日時が変更される場合は、教務課掲示板にて通知する。 4. 他の授業と同じく、無断欠席・無断遅刻・無断発語・無断退出など「無断～」な言動は厳に慎むこと。 						

科目名	ゼミナール I		単位数	1	実務経験	担当教員 のなか ひろふみ 野中 博史
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習		
授業の内容	卒業論文・卒業制作をすることを最終目的にそのための調査を行う。調査対象は以下の通り。 ① 図書館の調査 ② 明治の新聞文献調査 ③ 所沢・秩父地区での昔物語の発掘調査と絵本化（地域貢献活動）					
到達目標	1. 文献調査の力を育み、調査能力を身につけることができる。 2. 多角的な調査能力を育み、図書館司書及び調査スタッフとして活躍する力を身につけることができる。 3. 資料を整理して物語化・絵本化する能力を身につけることができる。 4.					
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2. 3. 4 ）					
授業計画	第1回	内容	授業の内容についての説明	予習	何を研究したいかを考えておくこと。	
				復習	何を研究したいかを考えておくこと。	
	第2回	内容	卒業論文の書き方についての説明	予習	何を研究したいかを考えておくこと。	
				復習	研究論文について読むこと。	
	第3回	内容	明治の文献（新聞資料）の講読。	予習	研究論文について読むこと。	
				復習	研究論文について読むこと。	
	第4回	内容	明治の文献（新聞資料）の講読。	予習	前もって渡した資料について読んでおくこと。	
				復習	資料に書かれた内容を考察すること。	
	第5回	内容	明治の文献（新聞資料）の講読。	予習	前もって渡した資料について読んでおくこと。	
				復習	資料に書かれた内容を考察すること。	
	第6回	内容	明治の文献（新聞資料）の講読。	予習	前もって渡した資料について読んでおくこと。	
				復習	資料に書かれた内容を考察すること。	
	第7回	内容	各自が設定した研究テーマに基づいて調査・資料集め。	予習	研究テーマを必ず決めておくこと。	
				復習	収集した資料を考察すること。	
	第8回	内容	各自が設定した研究テーマに基づいて調査・資料集め。	予習	資料を多角的に収集しておくこと。	
復習				収集した資料を考察すること。		
第9回	内容	各自が設定した研究テーマに基づいて調査・資料集め。	予習	資料を多角的に収集しておくこと。		
			復習	収集した資料を考察すること。		
第10回	内容	各自が調査したデータ資料などに基づいて論文・作品作り。	予習	資料を多角的に収集しておくこと。		
			復習	収集した資料を考察すること。		
第11回	内容	各自が調査したデータ資料などに基づいて論文・作品作り。	予習	資料を多角的に収集しておくこと。		
			復習	収集した資料を考察すること。		
第12回	内容	各自が調査したデータ資料などに基づいて論文・作品作り。	予習	資料を多角的に収集しておくこと。		
			復習	収集した資料を考察すること。		
第13回	内容	論文、作品の発表準備	予習	発表に備えてチェック。		
			復習	発表に備えてチェック。		
第14回	内容	「学科の日」における発表	予習	パワーポイントで発表。		
			復習	発表内容の振り返り。		
第15回	内容	振り返り（課題の検討）	予習	2年時に備えて発表内容の振り返り。		
			復習	2年時に備えて発表内容の振り返り。		
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	調査・資料収集、作品執筆にあたっては一人一人、教員が個別指導します。必ず教員の個別指導を受けてください。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ 70 %）、実技（ %）、授業態度（ 30 %）					
教科書	『書名』（著者名、出版社名）なし					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）適宜説明します。					
注意事項	研究・作品を作るにあたっては自主性を尊重するが、必ず教員の指導を受けてください。秩父方面などの実地調査もあります。					

科目名	ゼミナールⅠ		単位数	1	実務経験	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習		
授業の内容	卒業研究・論文・制作を作成する2年時のゼミナールⅡに向けた準備のための授業。日本文学について学ぶことが中心であるが、歴史や文化に興味のある人も対象とする。こうした分野への関心の立て方や問題意識をどのように掘り起すのか、宇治拾遺物語と小泉八雲の『怪談』を読み進める中で指導する。					
到達目標	1.ゼミナールⅡのテーマが決定できる。 2.日本の文学・文化・歴史について問題意識がもてる。 3.資料の収集と整理の方法を適格に行える。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）					
授業計画	第1回	内容	ゼミナールの意義と今後の方針について	予習	関心のある作者作品を書き出す	
				復習	自身のテーマを幾つかに限定する	
	第2回	内容	印象に残る読書と残らない読書	予習	読書歴を書き出す	
				復習	読書に関して留意すべき事柄をまとめる	
	第3回	内容	宇治拾遺物語をよむ①昔話に隠されていること	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す	
				復習	昔話の背景をまとめる	
	第4回	内容	宇治拾遺物語をよむ②昔話と信仰	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す	
				復習	舞台になった寺社についての情報を整理する	
	第5回	内容	宇治拾遺物語をよむ③昔話と異界	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す	
				復習	異界についてノートにまとめる	
	第6回	内容	宇治拾遺物語をよむ④昔話と社会通念	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す	
				復習	社会通念の変遷についてノートにまとめる	
	第7回	内容	怪談をよむ①「耳なし芳一」と源平の争乱	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す	
				復習	平家物語と源平の争乱についてノートにまとめる	
	第8回	内容	怪談をよむ②「耳なし芳一」と亡霊	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す	
				復習	亡霊のイメージを整理してノートにまとめる	
第9回	内容	怪談をよむ③「お貞の話」と転生	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す		
			復習	転生についてノートにまとめる		
第10回	内容	怪談をよむ④「勝五郎の転生記」	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す		
			復習	転生をテーマにした文学作品をノートにまとめる		
第11回	内容	銀河鉄道の夜をよむ①作者宮沢賢治の生涯	予習	宮沢賢治について調べる		
			復習	宮沢賢治の一生をノートにまとめる		
第12回	内容	銀河鉄道の夜をよむ②午後の授業と星まつりの夜	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す		
			復習	「よむ」際の留意事項をノートにまとめる		
第13回	内容	銀河鉄道の夜をよむ③鳥を取る人	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す		
			復習	「よむ」際の留意事項をノートにまとめる		
第14回	内容	銀河鉄道の夜をよむ④宮沢賢治が伝えようとしたこと	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す		
			復習	「よむ」際の留意事項をノートにまとめる		
第15回	内容	「よむ」という行為についてまとめる	予習	ノートを見直して疑問点を書き出す		
			復習	ノートをテーマごとに整理してまとめる		
予習に要する学習時間：概ね 20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25分を目安とする。						
課題へのフィードバック	提出時に説明					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ 70 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 30 %）					
教科書	プリントを配布、もしくは必要に応じて指示する					
参考文献	必要に応じて指示する					
注意事項	主体性をもって取り組むこと					

科目名	ゼミナール I		単位数	1	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習			
授業の内容	本ゼミナールではコンピュータサイエンスについて学ぶ。特に、Python プログラミング、VR、所沢商工会議所の実データを用いた組織の課題解決に資するデータ分析などを学習する。また、ICTを活用し、スマートフォンやタブレットを用い、発表・コメント・投票など双方向型授業も行なう。						
到達目標	1. プログラミングの基礎能力を身につけている。 2. VRについての知識を身につけている。 3. ゼミナール II に向けて、必要な基本的なコンピュータ技術を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2, 3)						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	Python プログラミング① 基本操作	予習	Python 言語について調べる		
				復習	Google Colaboratory を操作する		
	第3回	内容	Python プログラミング② 変数・演算子	予習	プログラミングの変数について調べる		
				復習	プログラミングの演習を復習する。		
	第4回	内容	VR① VRについて	予習	VRについて調べる		
				復習	VRの活用例を調べる。		
	第5回	内容	Python プログラミング③ キーボード入力	予習	プログラミングのキーボード入力について調べる		
				復習	プログラミングの演習を復習する。		
	第6回	内容	Python プログラミング④ 条件文 if・論理演算	予習	プログラミングの条件文について調べる		
				復習	プログラミングの演習を復習する。		
	第7回	内容	Python プログラミング⑤ 繰り返し文 for	予習	プログラミングの繰り返し文について調べる		
				復習	プログラミングの演習を復習する。		
	第8回	内容	Python プログラミング⑥ 繰り返し文 while	予習	プログラミングの繰り返し文について調べる		
				復習	プログラミングの演習を復習する。		
	第9回	内容	Python プログラミング⑦ 配列 (リスト)	予習	プログラミングの配列について調べる		
				復習	プログラミングの演習を復習する。		
	第10回	内容	コミュニケーション能力向上のためのグループワーク	予習	グループワークで行なうテーマについて調べる		
				復習	グループワークを振り返る		
	第11回	内容	Python プログラミング⑧ 文字列操作	予習	プログラミングの文字列操作について調べる		
				復習	プログラミングの演習を復習する。		
	第12回	内容	VR② VRの体験 (グループワーク)	予習	VR機器について調べる		
				復習	VRの活用方法を考える。		
	第13回	内容	データサイエンス① 所沢商工会議所の実データを用いた組織の課題解決に資するデータ分析	予習	データ分析で必要となるエクセルの関数を調べる		
				復習	エクセルの操作を復習する。		
	第14回	内容	データサイエンス② 所沢商工会議所の実データを用いた組織の課題解決に資するデータ分析	予習	データ分析の方法について調べる。		
				復習	授業で行なったデータ分析方法を復習する。		
	第15回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する		
				復習	これまで作成した課題を振り返る		
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。発表への講評を行ないます。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / () しない 成績評価の方法： レポート・課題 (30%)、作品・発表 (30%)、授業態度 (40%)						
教科書	プリントまたはPDF形式のファイルを配布します。						
参考文献	なし						
注意事項	なし						

科目名	ゼミナールⅠ		単位数	1	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナバリングコード	SEM3221		授業形態	演習			
授業の内容	ファッションはその時代の政治や経済、社会的な現象、ライフスタイルと深く関係しています。ファッションを研究するためにはファッションが持つ文化的・社会的な意味を理解し、様々な視点から考察する必要があります。この授業ではファッション関連の文献を輪読しながら資料の収集方法、論文の構成等を学び、そして関心のあるテーマを見つけ、問題意識を明確にしていくことを目指します。また、作品制作に必要な基礎的な技術を習得することを目指します。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファッション関連の文献を読み、資料の集め方、論文の構成、書き方等を理解している 2. 関心のあるテーマを見つけ、問題意識を明確にすることができる 3. 作品制作に必要な基礎的な技術を身につけている 						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1,2,3 ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	ファッションに関する講義①	予習	プリントを読んでおく		
				復習	プリント、ノートを整理する		
	第3回	内容	ファッションに関する講義②	予習	プリントを読んでおく		
				復習	プリント、ノートを整理する		
	第4回	内容	ファッションに関する講義③	予習	プリントを読んでおく		
				復習	プリント、ノートを整理する		
	第5回	内容	ファッションに関する講義④	予習	プリントを読んでおく		
				復習	プリント、ノートを整理する		
	第6回	内容	ファッション業界に関する映像鑑賞	予習	指定された文献を読む		
				復習	ノートをもとに内容を確認する		
	第7回	内容	織研新聞の講読・報告①	予習	わからない箇所を調べておく		
				復習	ノートをもとに内容を確認する		
	第8回	内容	織研新聞の講読・報告②	予習	わからない箇所を調べておく		
				復習	自分の意見をまとめる		
第9回	内容	織研新聞の講読・報告③	予習	わからない箇所を調べておく			
			復習	新聞記事を読む			
第10回	内容	織研新聞の講読・報告④	予習	報告の準備をする			
			復習	要点を整理する			
第11回	内容	様々な装飾・アレンジ方法の基礎練習	予習	必要な道具等を準備する			
			復習	装飾・アレンジ方法を確認する			
第12回	内容	小物制作①	予習	必要な道具等を準備する			
			復習	制作の計画を立てる			
第13回	内容	小物制作②	予習	制作方法を確認する			
			復習	内容を復習する			
第14回	内容	小物制作③	予習	計画を確認する			
			復習	制作を振り返り、考えをまとめる			
第15回	内容	まとめ	予習	プリント、ノート等を整理する			
			復習	実生活に活かす方法を考える			
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題・作品の講評、授業の振り返りを行います。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題・作品（60%）、授業態度（40%）						
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。						
参考文献	授業の中で随時、紹介します。						
注意事項							

科目名	短大生基礎力演習	単位数	1	実務経験	担当教員 のなか ひろふみ 野中 博史 他
ナバリンクコード	GEE3211	授業形態	演習		
授業の内容	学科の教員4人が分担して担当する授業です。教員によって授業の内容は異なり、同一教員が担当する授業は3回です。全員が4人の教員の授業を3回ずつ受けます。本教員の担当授業は以下の「授業計画」の通りです。				
到達目標	1. 小論文を書くことができるようになる。 2. 実用的な文章を書くことができるようになる。 3. 敬語を使用することができるようになる 4.				
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1・2・3 ）				
授業計画	第1回	内容	授業のガイダンス	予習	シラバスを読んでおく
				復習	シラバスを理解する
	第2回	内容	文章の基本的な書き方	予習	新聞を読んでおくこと
				復習	授業内容を確認する
	第3回	内容	実用的な文章の書き方	予習	友人、両親、先生等に手紙を書く（想定）
				復習	授業内容を確認する
	第4回	内容	小論文の書き方	予習	新聞のコラムや社説を読んでおくこと
				復習	授業内容を確認する
	第5回	内容	文章の基本的な書き方	予習	新聞のコラムや社説を読んでおくこと
				復習	授業内容を確認する
	第6回	内容	実用的な文章の書き方	予習	友人、両親、先生等に手紙を書く（想定）
				復習	授業内容を確認する
	第7回	内容	小論文の書き方	予習	新聞のコラムや社説を読んでおくこと
				復習	授業内容を確認する
	第8回	内容	文章の基本的な書き方	予習	新聞のコラムや社説を読んでおくこと
復習				授業内容を確認する	
第9回	内容	実用的な文章の書き方	予習	友人、両親、先生等に手紙を書く（想定）	
			復習	授業内容を確認する	
第10回	内容	小論文の書き方	予習	新聞のコラムや社説を読んでおくこと	
			復習	授業内容を確認する	
第11回	内容	基本的な文章の書き方	予習	新聞のコラムや社説を読んでおくこと	
			復習	授業内容を確認する	
第12回	内容	実用的な文章の書き方	予習	友人、両親、先生等に手紙をだす（想定）	
			復習	授業内容を確認する	
第13回	内容	小論文の書き方	予習	新聞のコラムや社説を読んでおくこと	
			復習	授業内容を確認する	
第14回	内容	全体のまとめ	予習	これまでの内容を確認する	
			復習	授業内容を確認する	
第15回	内容	全体のまとめ	予習	これまでの内容を確認する	
			復習	授業内容を確認する	
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。					
課題へのフィードバック	適宜、確認をとり指導します。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（70 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（30 %）				
教科書	毎回、教員が配布します。				
参考文献	適宜、指示します				
注意事項	4人の教員で分担します。教員ごとに内容が違いますので、最初のガイダンスで説明します。 (野中 15・及川 15・江本 15・中西 15)				

科目名	ことばと表現		単位数	2	実務経験	担当教員 おいかわ みちゆき あいざわ ひろみち 及川 道之・相沢 浩通
カンパリノコート	CUL3213		授業形態	演習		
授業の内容	短大生に必要とされる様々な文章の内容を読み取る読解力と、自身の考えを的確に伝えられる表現力が身につけられるよう、「読む」「書く」「話す」トレーニングを継続して行う。					
到達目標	1. 様々なタイプの文章の内容が理解できる。 2. 要求された内容について文章で的確に伝えることができる。 3. 自らの考えを口頭で伝えることができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1、2 ）					
授業計画	第1回	内容	授業の開始にあたって	予習	興味のある新聞記事を用意する	
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる	
	第2回	内容	新聞記事を読む①	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く	
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる	
	第3回	内容	新聞記事を読む②	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く	
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる	
	第4回	内容	新聞記事を読む③	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く	
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる	
	第5回	内容	新聞記事を書き写す①	予習	書き写し用の記事を用意する	
				復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む	
	第6回	内容	新聞記事を書き写す②	予習	書き写し用の記事を用意する	
				復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む	
	第7回	内容	新聞記事を書き写す③	予習	書き写し用の記事を用意する	
				復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む	
	第8回	内容	時事問題について考える①	予習	時事問題を取り上げた記事を用意する	
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる	
第9回	内容	時事問題について考える②	予習	時事問題を取り上げた記事を用意する		
			復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる		
第10回	内容	新聞記事を要約する①	予習	興味のある新聞記事を用意する		
			復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる		
第11回	内容	新聞記事を要約する②	予習	興味のある新聞記事を用意する		
			復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる		
第12回	内容	語彙を豊かにする①	予習	これまでの授業で気になった語を抜き出す		
			復習	意味を辞書で調べてノートにまとめる		
第13回	内容	語彙を豊かにする②	予習	これまでの授業で気になった語を抜き出す		
			復習	意味を辞書で調べてノートにまとめる		
第14回	内容	漢字検定に挑戦する①	予習	配布した問題を解いて自己採点しておく		
			復習	間違えた問題を徹底して繰り返す		
第15回	内容	漢字検定に挑戦する②	予習	配布した問題を解いて自己採点しておく		
			復習	間違えた問題を徹底して繰り返す		
			復習			
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。						
課題へのフィードバック	各自に口頭で伝達					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ 50 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 50 %）					
教科書	プリントを配布					
参考文献	必要に応じて指示する					
注意事項	予習復習は必須（及川30・相沢30）					

科目名	ことばと表現		単位数	2	実務経験	担当教員 おいかわみちゆき あいざわひろみち 及川道之・相沢浩通
ナンバリングコード	CUL3213		授業形態	演習		
授業の内容	短大生に必要とされる様々な文章の内容を読み取る読解力と、自身の考えを的確に伝えられる表現力が身につけられるよう、「読む」「書く」「話す」トレーニングを継続して行う。					
到達目標	1. 様々なタイプの文章の内容が理解できる。 2. 要求された内容について文章で的確に伝えることができる。 3. 自らの考えを口頭で伝えることができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1、2 ）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション～自己紹介、原稿の作成と実演	予習	3分用、1分用の原稿を考えておく	
				復習	反省点をまとめる	
	第2回	内容	言葉を尽くして説明する～語彙の豊かさを目指す	予習	スマホの検索機能を確認しておく	
				復習	添削された内容を確認する	
	第3回	内容	話の速度～毎分300字を実体験する	予習	テレビでニュースキャスターをよく観察しておく	
				復習	適切な速度で原稿を読み返す	
	第4回	内容	スピーチ—原稿の作成と実演①	予習	自身の短大生活について考えておく	
				復習	改善点をノートにまとめる	
	第5回	内容	作文～アルバイト先への自己アピール	予習	求められる人材像についてイメージしておく	
				復習	原稿用紙の使い方を確認する	
	第6回	内容	手紙の基礎知識～頭語から脇付まで	予習	配布プリントを読んでおく	
				復習	解説を整理してノートにまとめる	
	第7回	内容	実際に手紙を書いてみる～恩師への近況報告	予習	受け取る人物と伝える内容をイメージしておく	
				復習	添削された内容を確認して清書する	
	第8回	内容	評論文を読む	予習	自身の読書習慣について振り返っておく	
				復習	スマホの検索機能を効果的に使えるようにする	
第9回	内容	意見表明を目的にした文章展開①	予習	制服のイメージについてまとめておく		
			復習	スピーチ、小論文の留意点を整理する		
第10回	内容	意見表明を目的にした文章展開②	予習	「クレヨンしんちゃん」について調べる		
			復習	添削された内容を確認する		
第11回	内容	敬語①習得の重要性	予習	敬語にまつわる自身の体験をまとめておく		
			復習	敬語の重要性について整理してノートにまとめる		
第12回	内容	敬語②丁寧表現への言い換え	予習	もし敬意表現がなかったら？自身で想像してみる		
			復習	添削された内容を確認する		
第13回	内容	敬語③過度な敬語使用	予習	言葉と態度による敬意表現について考えておく		
			復習	美しい敬語法の要点をノートにまとめる		
第14回	内容	スピーチ—原稿の作成と実演②	予習	指示されたテーマについて構想をまとめておく		
			復習	自身の課題を整理してノートにまとめる		
第15回	内容	口語短歌を詠む	予習	和歌の歴史について調べておく		
			復習	宮中歌会始めの儀への詠進を目指す		
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	口頭、添削で説明					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（ 70 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 30 %）					
教科書	プリントを配布					
参考文献	必要に応じて指示					
注意事項	予習復習は必須とする（及川 30・相沢 30）					

科目名	情報処理演習		単位数	2	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	INS3211		授業形態	演習			
授業の内容	コンピュータの基本的な操作、文書作成ソフトのワード、表計算ソフトのエクセル、プレゼンテーションソフトのパワーポイントの使い方を中心に学びます。また、電子メールの使い方、マルチメディアの画像作成なども学びます。大学生活や今後の社会生活において困らないコンピュータスキルを身に付けることを目指します。						
到達目標	1. パソコンの日常生活の利用で困らないタイピングスキルを身につけている。 2. ワード、エクセル、パワーポイントの基本的な操作ができる。 3. 画像編集の基本的な操作ができる。 4. 情報の利活用ができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	コンピュータの基礎・画像作成	予習	画像の形式について調べる		
				復習	コンピュータの操作を復習する		
	第3回	内容	ワードの基礎・ファイルの印刷の仕方 アニメーション GIF の作成	予習	ワードの機能について調べる		
				復習	画像編集ソフトの使い方を復習する		
	第4回	内容	インターネット・情報モラル・タイピング・電子メール	予習	電子メールについて調べる		
				復習	タイピングの練習をする		
	第5回	内容	ワード レポート・レジュメ	予習	レポートの形式について調べる		
				復習	二段組みのやり方を復習する		
	第6回	内容	ワード 時間割表の作成	予習	表機能について調べる		
				復習	表の作り方を復習する		
	第7回	内容	ワード 時間割表の作成の続き	予習	文字列の折り返しについて調べる		
				復習	画像の貼り付け方を復習する		
	第8回	内容	エクセルの基礎	予習	エクセルの機能について調べる		
				復習	数式の入れ方を復習する		
	第9回	内容	エクセルの基礎の続き エクセル グラフを使った情報分析	予習	家計簿の仕組みについて調べる		
				復習	SUMIF 関数を復習する		
	第10回	内容	エクセル グラフを使った情報分析の続き	予習	グラフの種類について調べる		
				復習	複合グラフの作り方を復習する		
	第11回	内容	エクセル 診断シート	予習	診断シートのテーマを考える		
				復習	セルの装飾の仕方を復習する		
	第12回	内容	エクセル 診断シートの続き	予習	IF 関数について調べる		
				復習	IF 関数を複数使う場合のやり方を復習する		
	第13回	内容	パワーポイントの基礎	予習	パワーポイントの機能について調べる		
				復習	アニメーション機能を復習する		
	第14回	内容	パワーポイント 紙芝居スライドの作成	予習	紙芝居のテーマを考える		
				復習	画像の背景の消し方を復習する		
	第15回	内容	パワーポイント 紙芝居スライドの作成の続き	予習	スライドマスタについて調べる		
				復習	スライドマスタの使い方を復習する		
	第16回	内容	ワード イラスト素材の作成	予習	図形ツールについて調べる		
				復習	曲線の図形の編集の仕方を復習する		
	第17回	内容	ワード イラスト素材の作成の続き	予習	色の RGB 形式について調べる		
				復習	色の取得方法を復習する		
	第18回	内容	エクセル 計算演習	予習	速さと割合に関する数式を調べる		
				復習	計算式の入れ方を復習する		
	第19回	内容	エクセル 関数演習	予習	エクセルの関数の種類を調べる		
				復習	関数の使い方を復習する		
	第20回	内容	エクセル 関数演習の続き	予習	仕事でよく使われる関数を調べる		
				復習	VLOOKUP 関数の使い方を復習する		

	第 21 回	内容	ワード 履歴書の作成	予習	ワードの表機能について調べる
				復習	表の作り方を復習する
	第 22 回	内容	ワード ビジネス文書の形式	予習	ビジネス文書について調べる
				復習	ビジネス文書の形式を再度確認する
	第 23 回	内容	エクセル 家計簿の作成	予習	家計簿の計算について調べる
				復習	家計簿の作り方を復習する
	第 24 回	内容	エクセル 絶対参照・ピボットテーブルの演習	予習	絶対参照とピボットテーブルについて調べる
				復習	絶対参照の使い方を復習する
	第 25 回	内容	ワード・エクセル 差し込み文書	予習	差し込み文書について調べる
				復習	差し込み文書のやり方を復習する
	第 26 回	内容	エクセル 栄養素の計算と分析	予習	栄養素について調べる
				復習	食べ物の栄養素の調べ方を復習する
	第 27 回	内容	エクセル 栄養素の計算と分析の続き	予習	栄養素の基準値の計算方法について調べる
				復習	VLOOKUP 関数を復習する
	第 28 回	内容	ワード 本の形式	予習	スタイル機能について調べる
				復習	スタイル機能を復習する
	第 29 回	内容	ワード 本の形式の続き	予習	ヘッダー・フッター機能について調べる
				復習	目次の作り方を復習する
	第 30 回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する
				復習	これまで作成した課題を振り返る
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、授業態度（50%）				
教科書	プリントまたはPDF形式のファイルを配布します。				
参考文献	なし				
注意事項	なし				

科目名	日本文化論		単位数	2	実務経験	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	CUL3211		授業形態	講義		
授業の内容	明治43年(1910)柳田國男によって刊行された『遠野物語』に収められた民話や昔話を読む。そこに描かれている近代以前の人々のくらしと自然との関わりのあり様を通して、限られた特定の人々の歴史とは異なる、後世に多くを伝えられることのない一般の人々の人生に迫る。					
到達目標	1. 民話や昔話の魅力が実感できる。 2. 近代以前の人々の日常の暮らしが理解できる。 3. 歴史的想像力を発揮できる。					
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1、2)					
授業計画	第1回	内容	授業を始めるにあたって	予習	実際に声に出して幾つかの話を読んでおく	
				復習	メモを整理してノートにまとめる	
	第2回	内容	明治43年前後の日本と世界	予習	1910年ごろの歴史を調べる	
				復習	メモを整理してノートにまとめる	
	第3回	内容	遠野物語「序文」～柳田國男の思い	予習	序文を読んで疑問を書き出す	
				復習	メモを整理してノートにまとめる	
	第4回	内容	「地域限定」の神々～オシラサマ・カクラサマ等々	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	
				復習	メモを整理してノートにまとめる	
	第5回	内容	山に棲むモノたち～山神・山人	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	
				復習	メモを整理してノートにまとめる	
	第6回	内容	ザシキワラシと家々の盛衰	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	
				復習	メモを整理してノートにまとめる	
	第7回	内容	猿・狐・熊～多様な動物たち	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	
				復習	メモを整理してノートにまとめる	
	第8回	内容	狼と人との葛藤	予習	ニホンオオカミについて調べる	
				復習	ニホンオオカミの絶滅についてまとめる	
第9回	内容	異界としての山	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す		
			復習	メモを整理してノートにまとめる		
第10回	内容	この世からの離別～人が最期に望むこと	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す		
			復習	メモを整理してノートにまとめる		
第11回	内容	異類との遭遇～カップ・天狗	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す		
			復習	メモを整理してノートにまとめる		
第12回	内容	富の獲得～マヨヒガ	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す		
			復習	メモを整理してノートにまとめる		
第13回	内容	山と海の交流	予習	遠野地域の地理を調べる		
			復習	メモを整理してノートにまとめる		
第14回	内容	合戦・津波～史実はどう記憶されたか	予習	前九年戦争・三陸大津波を調べる		
			復習	メモを整理してノートにまとめる		
第15回	内容	授業の終わりにあたって～近代以前の人々の思いに迫る	予習	ノートを整理する		
			復習	「常識」は作られることが理解できたかを確認		
予習に要する学習時間：概ね 60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題提出時に説明					
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(70%)、作品・発表()%、実技()%、授業態度(30%)					
教科書	『遠野物語』(柳田國男、角川ソフィア文庫)					
参考文献	必要に応じて指示する					
注意事項	努めて授業以外の時間にテキストを読んでおくこと					

科目名	キャリア形成基礎講座		単位数	2	実務経験	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史 他
ナンバリングコード	CAE3222		授業形態	演習			
授業の内容	1年後（4年制大学に編入した場合は3年後）の就職活動に必要な素養と資質を育むことを目的とした授業です。企業と連携して行うことが多く、企業の人事・採用担当者による講演や、グループディスカッション、各種プレゼンテーションの仕方、企業担当者による模擬面接などの授業を行います。						
到達目標	1.産業界の業種、職種の特徴や、採用条件、企業が求める人材像等について理解することができる。 2.グループディスカッションなどを通じて、コミュニケーション力や傾聴力、協働力をつけることができる。 3.エントリーシートの書き方などを通じて、プレゼンテーション力をつけることができる。 4.業務遂行能力（パフォーマンス）力をつけることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2・3 ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、ナビ登録	予習	—		
				復習	—		
	第2回	内容	業種研究・職種研究	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと		
				復習	会社四季報などで企業を調べる		
	第3回	内容	キャリア形成演習Ⅰ（グループディスカッション①）	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと		
				復習	ディスカッションの振り返りをノートに記述すること		
	第4回	内容	キャリア形成演習Ⅱ（グループディスカッション②）	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと		
				復習	ディスカッションの振り返りをノートに記述すること		
	第5回	内容	キャリア形成演習Ⅲ（グループディスカッション③）	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと		
				復習	ディスカッションの振り返りをノートに記述すること		
	第6回	内容	キャリア形成演習Ⅳ（人事・採用担当者による講演①）	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと		
				復習	講演内容をメモすること		
	第7回	内容	キャリア形成演習Ⅳ（人事・採用担当者による講演②）	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと		
				復習	講演内容をメモすること		
	第8回	内容	キャリア実践演習Ⅰ（エントリーシートの個別指導①）	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと		
				復習	エントリーシートの書き上げに努めること		
第9回	内容	キャリア実践演習Ⅱ（エントリーシート個別指導②）	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと			
			復習	エントリーシートの書き上げに努めること			
第10回	内容	キャリア実践演習Ⅲ（エントリーシート個別指導③）	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと			
			復習	エントリーシートの書き上げに努めること			
第11回	内容	キャリア実践演習Ⅳ（企業のポスター制作）	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと			
			復習	授業の内容をまとめておくこと			
第12回	内容	キャリア実践演習Ⅴ（特別授業：合同企業説明会）	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと			
			復習	授業の内容をまとめておくこと			
第13回	内容	キャリア実践演習Ⅵ（振り返り）	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと			
			復習	授業の内容をまとめておくこと			
第14回	内容	キャリア実践演習Ⅶ（面接実践指導①）	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと			
			復習	授業の内容をまとめておくこと			
第15回	内容	キャリア実践演習Ⅶ（企業連携による模擬面接指導）	予習	オリエンテーションで渡した資料を読んでおくこと			
			復習	授業の内容をまとめておくこと			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	十分な理解ができていない場合はその場で指導します。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ 50 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 50 %）						
教科書	『書名』（著者名、出版社名）無						
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）適宜、提示します。						
注意事項	第14回、第15回は2月に実施しますので注意してください。						

科目名	インターンシップ		単位数	2	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	CAE3221		授業形態	実習			
授業の内容	インターンシップでは、社会人としての基本的なマナーやコミュニケーション能力を身につけ、実習を通して職業の理解をしていきます。実習は働くことの意味や責任を体感し、将来の職業選択のための良い機会になります。本授業は、学生の学ぶ側から社会人の働く側への変わるための手助けをする役割を担っております。						
到達目標	1. 社会人として必要なマナーを身につけている。 2. 社会人として必要なコミュニケーション力を身につけている。 3. 社会人として必要な積極さを身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2,3,4 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス： インターンシップ実習の意義、概要とスケジュール	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	体験から学ぶ： 前回のインターンシップ実習生の報告会	予習	インターンシップについて調べる		
				復習	報告会の体験談をまとめる		
	第3回	内容	インターンシップ実習受入企業・団体の業種や職種の調査 自己分析と他己分析（グループワーク）	予習	興味のある業種と職種を考える		
				復習	業種と職種を検討する		
	第4回	内容	書類の書き方、面接の受け方	予習	面接におけるマナーについて調べる		
				復習	書類の書き方を復習する		
	第5回	内容	インターンシップ実習の申し込み、実習先の決定	予習	実習の申し込み先を考える		
				復習	実習先の情報をまとめる		
	第6回	内容	仕事の基本的知識とマナー① 心構え、挨拶、言葉遣い、身だしなみ	予習	仕事のマナーについて調べる		
				復習	挨拶や言葉遣いを復習する		
	第7回	内容	仕事の基本的知識とマナー② 電話の受け方、かけ方、メモの取り方	予習	電話のマナーについて調べる		
				復習	電話とメモに関することを復習する		
	第8回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する		
				復習	実習時の事柄を振り返る		
第9回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する			
			復習	実習時の事柄を振り返る			
第10回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する			
			復習	実習時の事柄を振り返る			
第11回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する			
			復習	実習時の事柄を振り返る			
第12回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する			
			復習	実習時の事柄を振り返る			
第13回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する			
			復習	実習時の事柄を振り返る			
第14回	内容	インターンシップ実習報告会の準備	予習	報告会の発表内容を考える			
			復習	報告会の発表資料を確認する			
第15回	内容	インターンシップ実習報告会（発表）	予習	報告会の練習をする			
			復習	報告会を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	インターンシップ実習の講評を行なう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（10%）、作品・発表（20%）、実技（60%）、授業態度（10%）						
教科書	プリントまたはPDF形式のファイルを配布します。						
参考文献	なし						
注意事項	なし						

科目名	ボランティア活動		単位数	2	実務経験	担当教員 なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	CAE3212		授業形態	実習		
授業の内容	地域社会とのつながりを、ボランティア活動を通して築きあげていくとともに、ボランティア活動の社会的な必要性を認識し、社会の構成員としての状況に応じた果たすべき役割について、実践を通して考えていきます。					
到達目標	1. 毎回、活動日誌を作成することができる 2. 日々の活動を捉えなおすことや活動に対する評価等を客観化できる					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,4 ）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	ボランティア先の調査・研究、計画作成	予習	ボランティア先を調査する	
				復習	計画を立てる	
	第3回	内容	計画への評価、ボランティア活動で目指すもの	予習	計画を確認する	
				復習	活動の目標を立てる	
	第4回	内容	ブレ・ボランティア	予習	活動の具体的な内容について調べておく	
				復習	日誌等に記入し、活動をチェックする	
	第5回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく	
				復習	日誌等に記入し、活動をチェックする	
	第6回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく	
				復習	日誌等に記入し、活動をチェックする	
	第7回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく	
				復習	日誌等に記入し、活動をチェックする	
	第8回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく	
				復習	日誌等に記入し、活動をチェックする	
第9回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく		
			復習	日誌等に記入し、活動をチェックする		
第10回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく		
			復習	日誌等に記入し、活動をチェックする		
第11回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく		
			復習	日誌等に記入し、活動をチェックする		
第12回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく		
			復習	日誌等に記入し、活動をチェックする		
第13回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく		
			復習	日誌等に記入し、活動をチェックする		
第14回	内容	報告書の作成、実習日誌をまとめる	予習	報告書の提出を確認する		
			復習	実習日誌を整理する		
第15回	内容	実習日誌の提出	予習	実習日誌をチェックする		
			復習	全体の活動を振り返り、評価する		
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	活動の講評を行います。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題・レポート（20%）、実習（80%）					
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。					
参考文献	授業の中で随時、紹介します。					
注意事項	自ら行動する習慣を身につけましょう。					

科目名	キャリアスタディ(企業人に学ぶ)	単位数	2	実務経験	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史 他
ナンバリングコード	CAE3211	授業形態	講義			
授業の内容	この授業は産業界との連携による進めていく授業である。異なった業種の企業約10社から、課題を提出してもらい、それに対して学生がグループになって解決策を考え、発表するアクティブラーニング形式を採用している。学生は、企業から提出される課題をグループで考え、まとめてパワーポイントを使って発表する。それに対して、企業の担当者からコメントを受け、評価を得る。					
到達目標	1. 問題を解決する力を獲得することができる。 2. 他人と強調して物事を成し遂げる力を育むことができる。 3. 社会の動きに関心を持ち、新たな知識や技能を育むことができる。 4. 自ら創造した考えや技法を発表する力を育むことができる。					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2. 3. 4)					
授業計画	第1回	内容	授業の目的と内容についての説明とグループ分け。	予習		
				復習	説明内容について確認しておくこと。	
	第2回	内容	企業から与えられた課題に対して解決策を考える。	予習	課題の確認をして調査しておくこと。	
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。	
	第3回	内容	企業から与えられた課題に対して解決策を考える。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。	
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。	
	第4回	内容	企業から与えられた課題に対して解決策を考える。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。	
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。	
	第5回	内容	企業から与えられた課題に対して解決策を考える。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。	
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。	
	第6回	内容	企業から与えられた課題に対して解決策を考える。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。	
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。	
	第7回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。	
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。	
	第8回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。	
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。	
第9回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。		
			復習	グループワークの課題について確認しておくこと。		
第10回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。		
			復習	グループワークの課題について確認しておくこと。		
第11回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。		
			復習	グループワークの課題について確認しておくこと。		
第12回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。		
			復習	グループワークの課題について確認しておくこと。		
第13回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。		
			復習	グループワークの課題について確認しておくこと。		
第14回	内容	総合発表の準備	予習	プレゼンテーションのための準備をすること。		
			復習	プレゼンテーションの仕方を考えおくこと。		
第15回	内容	総合発表	予習	プレゼンテーションの準備をすること。		
			復習	自己評価すること。		
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	総合発表終了後に、各自の目標達成度の自己評価をします。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (%)、レポート・課題 (%)、作品・発表 (70 %)、実技 (%)、授業態度 (30 %)					
教科書	特になし。					
参考文献	グループごとに課題に対応した資料を探すこと。					
注意事項	グループワークであり、各自が協働意識と責任感をもって最後までやり遂げるのが大切です。					

科目名	アナウンス表現演習		単位数	2	実務経験	担当教員	しばた 柴田 かおる
ナバリングコード	CAE3223		授業形態	演習	有		
授業の内容	この講義では正しい発声をするために必要な呼吸法、はっきりと大きな声で話す方法、相手が聞きやすい発音を指導する。また人に伝わる話し方の組み立てを繰り返し行い、最終的には人前で自分の考えを分かりやすく話せるように訓練する。特に、就職試験の面接や社会人になった時に必ず求められる自己紹介は徹底的に練習して、誰よりも印象的に本人の長所が伝わるようになるまで行う。						
到達目標	1・聞き取りやすい発音の仕方を身につく。 2・同じ部屋にいる人間がすべて聞き取れるくらいの音量で話せるようになる。 3・何が言いたい、明確な話の組み立てができる。 4・好印象を与える自己紹介の方法ができるようになる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1・2）						
授業計画	第1回	内容	腹式呼吸で声を出す方法 実際に決められた時間で自己紹介をする為に、話す内容を整理して発表する。	予習	自己紹介の原稿を書いてくる		
				復習	授業で指摘されたことをもとに自己紹介をやり直して録音再生してみる		
	第2回	内容	腹式呼吸で声を出しながら「あ行～さ行」の活舌の訓練をする。 2分間で自己紹介を試みる。	予習	腹式呼吸を意識しながら2分間で自己祖父空きができるか時間を計ってみる		
				復習	活舌の練習を家でもやってみて、それを意識しながら自己紹介を録音再生してみる		
	第3回	内容	腹式呼吸で声を出しながら「た行～は行」の活舌の訓練をする。 自分が現在一番興味のあることについて、具体的に話す内容をまとめる。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。自分が現在一番興味のあることについて、まとめる		
				復習	自分が現在一番興味のあることについて、まとめ発表した内容を再度自宅でも録音再生してみる		
	第4回	内容	腹式呼吸で声を出しながら「ま行～わ行」の活舌の訓練をする。 自分が現在一番興味のあることについて、まとめた原稿を読んで発表する。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。前の週に授業中指摘されたことを現行に反映して書き直す		
				復習	授業で指摘されたことを意識しながら発表を録音再生してみる		
	第5回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 地図を使って、ある場所への行き方の説明をする。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。課題で出された場所への地図を説明できるようにする		
				復習	授業で指摘されたことを意識しながら発表を録音再生してみる。地図の説明が本当にわかりやすいか、第三者にも聞いてもらう		
	第6回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 自分だけが知っている場所へ、最寄り駅から行く方法をわかりやすく説明する。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。加太の場所に行く方法をわかりやすく説明する原稿を書く。		
				復習	授業で指摘されたことを直して、録音再生して確認する		
	第7回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 自分だけが知っている物について、それを見たことがない人に正確に伝える。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。 課題の原稿を書く		
				復習	授業で指摘されたことを直して、録音再生して確認する。第三者にも聞いてもらう。		
	第8回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 第7週で発表した内容について、発表者以外の学生は疑問点を指摘する。発表者は全員が分かるように再度発表する。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。 禅宗の課題で指摘されたことを遂行して原稿を書きなおす。		
復習				授業で指摘されたことを直して、録音再生して確認する。第三者にも聞いてもらう。			
第9回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 最近の新聞で気になった記事についてまとめて発表する。人の発表について質問する	予習	新聞を読んで興味ある記事についてまとめる			
			復習	授業で指摘されたことを踏まえて原稿を遂行する。			
第10回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 第9週で他の人から指摘された内容を踏まえて再度わかりやすく発表する	予習	遂行した原稿を声に出して読んで練習する。			
			復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる			
第11回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 自分の好きなものについてその理由を明確に伝える。	予習	分の好きなものについてその理由を明確に伝える原稿を書く。			
			復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる			
第12回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 自分の得意なことについて、原稿をまとめ、2分間で話す。	予習	自分の得意なことについて、原稿をまとめてみる。			
			復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる			
第13回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 自分が卒業後にやりたいことについて、原稿をまとめ、2分間で話す。	予習	自分が卒業後にやりたいことについて、原稿をまとめる。			
			復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる			
第14回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 聞いてほしい、ちょっといい話について、2分間のスピーチをして、録音。自分の話し方を客観的に理解する。	予習	聞いてほしい、ちょっといい話について、2分間の原稿にまとめる。			
			復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる。			
第15回	内容	これまで授業で訓練してきた発表方法を踏まえながら、2分間の再度自己紹介をし、初回での発表との違いを比較。授業の成果を見る。	予習	これまで授業で訓練してきた発表方法を踏まえながら、2分間の再度自己紹介の原稿を書く。			

			復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる。
	予習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。			
課題へのフィードバック	授業で発表のたびに、講評、問題点を指摘する			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（50%）、授業態度（50%）			
教科書	その都度プリント配布			
参考文献	その都度プリント配布			
注意事項	<p>毎日、新聞に目を通す習慣を身に着ける</p> <p>授業時には声を出すので満腹にして授業に出席しない</p> <p>私語は慎む</p> <p>※担当教員は、アナウンサー、テレビ番組キャスターとしての経験を生かして授業を実施する実務家教員である。</p>			

科目名	観光学総論		単位数	2	実務経験	担当教員 ほん みよんじん 洪 明 真
ナンバリングコード	TOS3221		授業形態	講義		
授業の内容	「観光」について、観光資源、観光産業、観光政策などの観点から、関連産業の意義と役割と機能を知り、観光産業で働ける実務能力を育む授業とする。					
到達目標	1. 観光について総合的、多面的に理解し、説明できる。 2. 旅行業について総合的、多面的に理解し、説明できる。 3. 宿泊業について総合的、多面的に理解し、説明できる。 4. 交通業について総合的、多面的に理解し、説明できる。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）					
授業計画	第1回	内容	本講義の全体像	予習	シラバスを読んでおくこと	
				復習	授業の狙いと意義について	
	第2回	内容	観光とは何か	予習	観光の定義を調べておくこと	
				復習	授業内容を整理し理解すること	
	第3回	内容	観光の歴史	予習	観光の歴史について調べておくこと	
				復習	授業内容を整理し理解すること	
	第4回	内容	観光産業と経済	予習	観光産業について調べておくこと	
				復習	授業内容を整理し理解すること	
	第5回	内容	観光産業①（宿泊業の事例）	予習	宿泊業について調べておくこと	
				復習	授業内容を整理し理解すること	
	第6回	内容	観光産業②（運送業の事例）	予習	運送業について調べておくこと	
				復習	授業内容を整理し理解すること	
	第7回	内容	観光産業③（テーマパークの事例）	予習	テーマパークについて調べておくこと	
				復習	授業内容を整理し理解すること	
	第8回	内容	観光と宗教（ホスピタリティとの関わり）	予習	ホスピタリティについて調べておくこと	
				復習	授業内容を整理し理解すること	
第9回	内容	観光と地域（温泉）	予習	温泉地について調べておくこと		
			復習	授業内容を整理し理解すること		
第10回	内容	観光資源について	予習	観光資源について調べておくこと		
			復習	授業内容を整理し理解すること		
第11回	内容	世界遺産の事例（外国）	予習	外国の世界遺産について調べておくこと		
			復習	授業内容を整理し理解すること		
第12回	内容	世界遺産の事例（日本）	予習	日本の世界遺産について調べておくこと		
			復習	授業内容を整理し理解すること		
第13回	内容	観光政策（日本と世界）	予習	観光政策について調べておくこと		
			復習	授業内容を整理し理解すること		
第14回	内容	東京オリンピックとインバウンド	予習	インバウンドについて調べておくこと		
			復習	授業内容を整理し理解すること		
第15回	内容	全体のまとめ	予習	授業の全体の内容をまとめること		
			復習	授業の全体の内容を理解すること		
予習に要する学習時間：概ね 50分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 50分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題レポートを回収し、コメントをして返却する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ 70%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 30%）					
教科書	必要に応じ配布資料を使う。					
参考文献	『観光学入門』（岡本伸之、有斐閣）					
注意事項	授業内容（PPT画面など）は必ずノートに書いてください。授業態度に含めます。					

科目名	観光地理学		単位数	2	実務経験	担当教員 ほん みよんじん 洪 明 真
ナンバリングコード	TOS3231		授業形態	講義		
授業の内容	日本の観光地の特徴と観光の目的について、歴史的な観点、現代的な観点、レジャー的な観点、地域振興などの多面的な観点から理解し、観光産業で働ける実務能力を育む授業とする。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本及び世界の観光地の特徴について総合的、多面的に理解し、説明できる。 2. 観光地と文化について総合的、多面的に理解し、説明できる。 3. 観光地とその機能について宿泊業について理解し、説明できる。 4. 観光地の課題について理解し、説明できる。 					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）					
授業計画	第1回	内容	本講義の全体像	予習	シラバスを読んでおくこと	
				復習	授業の狙いと意義について	
	第2回	内容	世界の観光地とその特徴	予習	世界の観光地について調べておくこと	
				復習	授業内容を整理しておくこと	
	第3回	内容	日本の観光地とその特徴	予習	日本の観光地について調べておくこと	
				復習	授業内容を整理しておくこと	
	第4回	内容	観光と文化	予習	文化ツーリズムについて調べておくこと	
				復習	授業内容を整理しておくこと	
	第5回	内容	観光地と観光ニーズの変化	予習	観光の歴史について調べておくこと	
				復習	授業内容を整理しておくこと	
	第6回	内容	観光と自然景観	予習	自然景観が優れた観光地について調べておくこと	
				復習	授業内容を整理しておくこと	
	第7回	内容	観光と温泉地	予習	温泉地について調べておくこと	
				復習	授業内容を整理しておくこと	
	第8回	内容	観光とリゾート地	予習	リゾート地について調べておくこと	
				復習	授業内容を整理しておくこと	
	第9回	内容	都市観光について	予習	都市観光について調べておくこと	
復習				授業内容を整理しておくこと		
第10回	内容	観光と祭り①（日本）	予習	日本の祭りについて調べておくこと		
			復習	授業内容を整理しておくこと		
第11回	内容	観光と祭り①（世界）	予習	世界の祭りについて調べておくこと		
			復習	授業内容を整理しておくこと		
第12回	内容	観光と郷土料理	予習	フードツーリズムについて調べておくこと		
			復習	授業内容を整理しておくこと		
第13回	内容	観光と寺社	予習	日本の有名な寺社について調べておくこと		
			復習	授業内容を整理しておくこと		
第14回	内容	観光と文化施設	予習	美術館や公園などについて調べておくこと		
			復習	授業内容を整理しておくこと		
第15回	内容	観光と街並み	予習	歴史的建造物について調べておくこと		
			復習	授業内容を整理しておくこと		
予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	適宜、確認の時間を取ります。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 70%）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 30%）					
教科書	必要に応じ配布資料を使う。					
参考文献	『ツーリズムの地理学』（菊地俊夫、二宮書店）					
注意事項	授業内容（PPT画面など）は必ずノートに書いてください。授業態度に含めます。					

科目名	実用英語		単位数	2	実務経験	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナンバリングコード	ENL3211		授業形態	講義			
授業の内容	<p>本授業は、観光業界や一般企業等で英語力の判断基準として利用される TOEIC のスコアアップを目指す。</p> <p>TOEIC の問題を解くことによって、英語の基礎力を高め、語彙・表現力の向上と英文法の確認を行う。</p> <p>また、TOEIC 試験対策を通じ、社会に出た時に英語が使えるように、実用的な英語表現を身に着ける。</p>						
到達目標	<p>1. 英語の基礎力を身に着ける（語彙を 3,000 語以上にする、基礎的な英文法を理解する、英語の日常会話やアナウンスが聞き取れる）</p> <p>2. 英語で日常生活における基本的なコミュニケーションをとることができる</p> <p>3. どのような分野の英語の文章でも大意を理解することができる</p>						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3, ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス（TOEIC L&R Test について、授業の進め方や宿題、小テストについて）	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	TOEIC の試験概要について確認する		
	第2回	内容	Unit 1. Events: 名詞 平叙文のリスニング問題と名詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる		
				復習	可算名詞・不可算名詞について理解する		
	第3回	内容	Unit 2. Eating Out: 代名詞 Yes/No 疑問文のリスニング問題と代名詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる		
				復習	代名詞の格と再帰代名詞について理解する		
	第4回	内容	Unit 3. Shopping: 動詞 買い物についてのリスニング問題と動詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる		
				復習	自動詞と他動詞について理解する		
	第5回	内容	Unit 4. Office: 進行形 同僚との会話のリスニング問題と進行形の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる		
				復習	進行形の用法について理解する		
	第6回	内容	Unit 5. Housing: 形容詞 住居に関する会話のリスニング問題と形容詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる		
				復習	形容詞・数詞について理解する		
	第7回	内容	Unit 6. Community: 副詞 地域行事に関する会話のリスニング問題と副詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる		
				復習	副詞の役割について理解する		
	第8回	内容	Unit 7. Facilities: 動名詞 施設に関する会話のリスニング問題と動名詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる		
				復習	動名詞の用法について理解する		
	第9回	内容	Unit 8. Personnel: 品詞 面接での会話のリスニング問題と品詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる		
復習				品詞について理解する			
第10回	内容	Unit 9. Meeting & Workshops: 不定詞 Workshop に関する会話のリスニング問題と不定詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
			復習	不定詞の 3 つの用法について理解する			
第11回	内容	Unit 10. Transaction & Finance: 接続詞 ローンに関する会話のリスニング問題と接続詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
			復習	接続詞の役割・前置詞との違いについて理解する			
第12回	内容	Unit 11. Travel: 前置詞 旅行に関する会話のリスニング問題と前置詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
			復習	前置詞の用法について理解する			
第13回	内容	Unit 12. Health: 比較 クリニックの予約電話のリスニング問題と比較の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
			復習	比較の基本的な 3 つの形を理解する			
第14回	内容	Unit 13. Letter & Email: 現在完了 Email に関する会話のリスニング問題と現在完了の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
			復習	現在完了形の 3 つの意味を理解する			
第15回	内容	Unit 14. Ads & Notice: 受動態 商品の割引に関するリスニング問題と受動態の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
			復習	受動態の形と能動態の違いについて理解する			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	毎回実施する英単語の小テストに対し採点・返却を行う						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない</p> <p>成績評価の方法：筆記試験（30%）、レポート・課題（40%）、授業態度（30%）</p>						
教科書	『Full Gear for the TOEIC L&R Test』(Mark D. Stafford, 妻鳥千鶴子, 松井こずえ, 金星堂 2018年)						
参考文献	なし						
注意事項	<p>毎回辞書（電子辞書・紙の辞書どちらでも可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。</p> <p>成績評価に関して、学期中に TOEIC の受験を薦める。そのスコアにより成績を加点する場合がある。</p>						

科目名	観光英会話		単位数	2	実務経験	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナンバリングコード	ENL3231		授業形態	演習			
授業の内容	<p>本授業では、訪日外国人観光客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を目的とした英会話を学ぶ。</p> <p>近年の訪日外国人観光客の急増に伴い、英語による適切でスムーズなコミュニケーションを図ることが必要とされることを鑑み、外国人客と日本人スタッフの二者間の会話を中心として、ロールプレイング等による練習を行う。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 外国人観光客に英語に必要な情報を提供することができる 観光ビジネスや接客に関する基本的な英会話を身につけている 外国人に英語で日本の文化や伝統を紹介することができる 						
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1, 2)						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス (授業概要説明、成績評価説明)	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	授業の進め方や成績評価について確認する		
	第2回	内容	Unit 1. Transportation	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える		
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する		
	第3回	内容	Unit 2. At a Check-in Counter (hotel)	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える		
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する		
	第4回	内容	Unit 3. Facilities and Services (hotel)	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える		
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する		
	第5回	内容	Unit 4. Giving Directions	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える		
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する		
	第6回	内容	Unit 5. Recommending a Trip	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える		
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する		
	第7回	内容	Unit 6. Dining in Japan ①	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える		
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する		
	第8回	内容	Unit 7. Dining in Japan ②	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える		
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する		
第9回	内容	Unit 8. Arranging a Tour	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
			復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
第10回	内容	Unit 9. Staying at a Ryokan	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
			復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
第11回	内容	Unit 10. Culture Experience in Japan ①	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
			復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
第12回	内容	Unit 11. Culture Experience in Japan ②	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
			復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
第13回	内容	Unit 12. Japanese Souvenirs	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
			復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
第14回	内容	Unit 13. Dealing with Health Problems and Emergencies	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
			復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
第15回	内容	Unit 14. Dealing with Complaints and Accidents	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
			復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
予習に要する学習時間：概ね 50 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出された課題はコメントをつけて返却します。						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施 (○) する / () しない</p> <p>成績評価の方法：筆記試験 (25%)、レポート・課題 (25%)、作品・発表 (25%)、実技 ()%、授業態度 (25%)</p>						
教科書	『Hospitality on the Scene』(上杉恵美・阿部佳・渭東史江・神末武彦・Jacob Schere、金星堂)						
参考文献	なし						
注意事項	<p>毎回辞書 (電子辞書・紙の辞書可) を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。</p> <p>会話のクラスなので、恥ずかしがらず積極的に英語を話すこと。</p>						

科目名	エアライン英会話		単位数	2	実務経験	担当教員 ひらい みちこ 平井 美知子
ナンバリングコード	ENL3221		授業形態	演習	有	
授業の内容	グローバル社会のエアラインには必須の英語力を身につけます。 英語面接で想定される質問に対し、応答を作成し、英語面接でのスムーズな応答の練習をしていきます。 エアライン業務を想定し、お客様対応のフレーズを練習します。					
到達目標	1.英語での自己表現が、感情豊かにできる 2.英語での質疑応答ができる 3.エアライン業務の現場で、英語のコミュニケーションができる 4.					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2、3)					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 10Tips and strategies(10のヒントと戦略)	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく	
				復習	この授業を通して習得できることを理解する	
	第2回	内容	Personal Information ① 自己紹介を英語でしよう (ペア・ワーク)	予習	英語での自己紹介を考えてくる	
				復習	作成した自己紹介を暗記して言えるようにする	
	第3回	内容	Personal Information ① 英語での自己理解 (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる	
				復習	作成した自己理解を伝えられるようにする	
	第4回	内容	Family ① 家族のことを英語で話そう (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる	
				復習	作成した家族について英語で話せるようにする	
	第5回	内容	Family ② 家族のことを英語で話そう (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる	
				復習	作成した家族について英語で話せるようにする	
	第6回	内容	Interests and Hobbies① 興味のあることと趣味について (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる	
				復習	作成した文がスムーズに伝えられるようにする	
	第7回	内容	Interests and Hobbies② 興味のあることと趣味について (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる	
				復習	作成した文がスムーズに伝えられるようにする	
	第8回	内容	Education and Experience 学びや経験について (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる	
				復習	作成した文がスムーズに伝えられるようにする	
第9回	内容	お客様への対応① 注意したいフレーズ 気持ちが伝わるフレーズ (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる		
			復習	学んだフレーズを伝えられるようにする		
第10回	内容	お客様への対応② お客様との会話-1 (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる		
			復習	学んだフレーズを伝えられるようにする		
第11回	内容	お客様への対応③ お客様との会話-2 (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる		
			復習	学んだフレーズを伝えられるようにする		
第12回	内容	カウンターでの会話 (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる		
			復習	学んだフレーズを伝えられるようにする		
第13回	内容	エアライン専門用語を覚える① (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる		
			復習	学んだフレーズを伝えられるようにする		
第14回	内容	エアライン専門用語を覚える② (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる		
			復習	学んだフレーズを伝えられるようにする		
第15回	内容	英語でスピーチ	予習	自己紹介フレーズを練習してくる		
			復習	他者のスピーチを参考にする		
予習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題シートに対しコメントを行う					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) しない 成績評価の方法：課題 (40%)、作品・発表 (40%)、授業態度 (20%)					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	授業で学んだことを日々復習し、英語で表現することに取り組んでほしい。配布シートは必ずファイルをして、テキストファイルを作成する ※担当教員は、キャビンアテンダントとしての経験を生かして授業を実施する実務家教員である。					

科目名	韓国語実用会話		単位数	2	実務経験	担当教員 うおん じょんびん 元 鍾 彬
ナバリンコード	TOS3225		授業形態	演習		
授業の内容	日本には様々な国からたくさんの外国人が訪れています。この人たちと一緒に平和な社会を築くための「異文化との対話」は、重要なキーワードとなっています。本講義では、アジア地域として日・韓の似ている文化を比較したり、また異なる面白い文化なども調べたりしながら進めます。韓国の若い人たちが好きなドラマや音楽などと接しながらヒアリングや会話の練習を行います。また、韓国文化体験をするために新大久保に見学に行きます。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ハングルの基礎をしっかりと学び、文字が読めるようになる。 2. 自分の名前をはじめ、ハングルで文字が書けるようになる。 3. 簡単な日常会話ができるようになる。 4. 韓国の文化を理解して親しむ。 					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1)					
授業計画	第1回	内容	ガイダンスーハングルの学び方	予習	シラバスを読んでおく。	
				復習	配布した資料を読んでハングルの歴史を理解する。	
	第2回	内容	ハングルの発音 (子音)	予習	ハングルの仕組みを理解して置く。 子音の読み方を練習しておく。	
				復習	子音の読み方、書き方を覚える。	
	第3回	内容	ハングルの発音 (母音)	予習	母音の読み方を練習しておく。	
				復習	母音の読み方、書き方を覚える。	
	第4回	内容	母音と二重母音	予習	二重母音の読み方を練習しておく。	
				復習	二重母音の読み方や書きあたを覚える。	
	第5回	内容	ハングル (パッチム)	予習	パッチムの仕組みについて読んで理解しておく。	
				復習	パッチムの音表記を覚える。	
	第6回	内容	単語を読む (読み方の工夫)	予習	ハングルの文字の仕組みを理解して、音表記を覚えておく。	
				復習	単語の書き方や読み方を覚える。	
	第7回	内容	教室でよく使うことば	予習	教室でよく使う言葉を調べて読んでおく。	
				復習	教室で使う単語を覚える。	
	第8回	内容	自己紹介	予習	自己紹介を書いて話す練習をしておく。	
				復習	自己紹介に必要な単語を覚える。	
	第9回	内容	これは何ですか?	予習	指示代名詞について調べて、理解する。	
				復習	指示代名詞を覚える。	
	第10回	内容	数詞について (発音が似ているもの探し)	予習	数えかたについて調べておく。	
				復習	数詞を覚える。	
	第11回	内容	数え方、単位を覚えよう	予習	漢数詞と固有数詞を理解しておく。	
				復習	漢数詞と固有数詞を覚える。	
	第12回	内容	位置や方向を学ぼう	予習	方位の読み方を (音表記) を表記しておく。	
				復習	方位に使う単語を覚える。	
	第13回	内容	今日は何曜日ですか	予習	曜日の読み方を (音表記) を表記しておく。	
				復習	曜日の単語を覚える。	
	第14回	内容	これはいくらですか	予習	お金の使い方や単位を調べて置く。	
				復習	韓国の貨幣について覚えておく。	
	第15回	内容	韓国の食文化、若者の文化について調べましょう。	予習	韓国の料理や若者文化について調べておく。	
				復習	食文化や礼儀作法について覚えておく。	
	第16回	内容	～です。～ます。の丁寧な現在形を学ぼう	予習	打ち解けた表現とかしこまった表現を調べておく。	
				復習	丁寧な言い方を覚えておく。	
	第17回	内容	昨日は何をしましたか。(過去形について学ぶ)	予習	過去形の仕組みについて調べておく。	
				復習	過去形の作り方を覚えておく。	
	第18回	内容	明日は何をしますか? (予定、推測)	予習	予測や推測に使う言葉を調べておく。	
				復習	予定や推測に使う言葉の作り方を覚えておく。	
	第19回	内容	韓国の文化に親しむ。(音楽、ドラマなどから見える韓国文化について知る)	予習	韓国の飲食文化や流行アイテムなどを調べておく。	
				復習	韓国の文化について理解しておく。	
	第20回	内容	新大久保の見学 (日本の中で韓国の街でハングルを接し、身近に韓国文化について親しむ)	予習	新大久保の歴史を調べる。	
				復習	新大久保の街で見えるハングル文字を記録して調べておく。	

第 21 回	内容	新大久保見学（日本の中で韓国の街でハングルを接し、身近に韓国文化について親しむ）	予習	新大久保街の流行について調べておく。
			復習	新大久保の街で見えるハングル文字を記録して調べておく。
第 22 回	内容	シークレットガーデンについて（韓国ドラマの特徴を把握する）	予習	韓国ドラマや音楽の特徴を調べておく。
			復習	ドラマから見える文化やその特徴を理解する。
第 23 回	内容	シークレットガーデン①聞き取り練習と聞いたことばの確認	予習	主題曲の歌詞を読んでおく。
			復習	聞き取った単語や会話を覚えておく。
第 24 回	内容	シークレットガーデン②聞き取り練習と聞いたことばの確認	予習	前回聞き取った言葉を調べて正しく書き直しておく。
			復習	聞き取った単語や会話を覚えておく。
第 25 回	内容	シークレットガーデン③聞き取り練習と聞いたことばの確認	予習	前回聞き取った言葉を調べて正しく書き直しておく。
			復習	聞き取った単語や会話を覚えておく。
第 26 回	内容	シークレットガーデン④聞き取り練習と聞いたことばの確認	予習	前回聞き取った言葉を調べて正しく書き直しておく。
			復習	聞き取った単語や会話を覚えておく。
第 27 回	内容	シークレットガーデン⑤聞き取り練習と聞いたことばの確認	予習	前回聞き取った言葉を調べて正しく書き直しておく。
			復習	聞き取った単語や会話を覚えておく。
第 28 回	内容	シークレットガーデン⑥聞き取り練習と聞いたことばの確認	予習	前回聞き取った言葉を調べて正しく書き直しておく。
			復習	聞き取った単語や会話を覚えておく。
第 29 回	内容	シークレットガーデン⑩聞き取り練習と聞いたことばの確認	予習	前回聞き取った言葉を調べて正しく書き直しておく。
			復習	聞き取った単語や会話を覚えておく。
第 30 回	内容	まとめ	予習	資料やノートを確認しておく。
			復習	これまで学んだハングルの振り返りを行う。
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	ひとり一人読み方や書き方についてチェックを行う。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（50%）、作品・発表（20%）、実技（ %）、授業態度（30%）			
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『最新チャレンジ！韓国語』（金順玉・阪堂千津子、百水社）			
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）			
注意事項	必ず、前回学んだことを復習する。（小テストあり）			

科目名	中国語実用会話	単位数	2	実務経験	担当教員 やまぐち よし 山口 芳
ナンバリングコード	TOS3224	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	中国語で簡単なコミュニケーションができるようになるために、中国語の基礎を身につけて、さらに中国や中国文化に対する理解と関心を高めていく。具体的には、日常生活の様々な場面を通じて、中国の人々の生活や中国の文化に触れながら講義を進めていく。				
到達目標	1. 中国語の発音（ピンイン）の読み方を身につけている 2. 基本的な文章（語順）を正しく組み立てることができる 3. それぞれの場面に適切なコミュニケーション能力を身につけている				
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（①・②・③・4）				
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、中国について、中国語の基本概念	予習	シラバスを読んでおく
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する
	第2回	内容	発音Ⅰ（単母音・子音1・声調）	予習	基本母音・子音・声調を確認しておく
				復習	テキストの「発音練習」のページにある内容を读めるようになるまで練習する
	第3回	内容	発音Ⅱ（二重母音・子音2）、簡単な挨拶	予習	二重母音・子音を読んでおく
				復習	ピンインのつづり規則①をまとめる、更に簡単な挨拶を暗記できるまで練習する
	第4回	内容	発音Ⅲ（三重母音）、数字①	予習	三重母音を読んでおく
				復習	数字を暗記できるまで練習する
	第5回	内容	発音Ⅳ（鼻母音）	予習	鼻母音を確認しておく
				復習	テキストの「発音練習」のページにある内容を读めるようになるまで練習する
	第6回	内容	発音の復習、自分の名前の中国語読み、中国人の名前について	予習	中国語の発音を整理して・ピンインのつづり規則②をまとめる
				復習	中国語の発音をまとめる、課題を作成する
	第7回	内容	学習用品（文法項目：「是」の述語文・一般疑問文）	予習	単語を読んでおく
				復習	文型を整理して、課題を作成する
	第8回	内容	自己紹介Ⅰ、発表（名前・身分・国籍）	予習	文型を確認しておく
				復習	自己紹介ができるようになるまで練習する
	第9回	内容	私達の学校（文法項目：形容詞述語文・省略疑問文）、中国の大学の紹介	予習	単語を読んでおく
				復習	形容詞述語文を理解する
	第10回	内容	物についての評価（文法項目：主述述語文）、発表（自己紹介を含む学校の紹介）	予習	テーマについて確認しておく
				復習	学校の紹介ができるようになるまで練習する
	第11回	内容	数字②、日付・時刻の表現、量詞（助数詞）	予習	数字の読み方をもう一度確認しておく、常用量詞を読んでおく
				復習	数字に関する表現をまとめる
	第12回	内容	お金の表現（文法項目：名詞述語文）	予習	お金の表現を読んでおく
				復習	名詞述語文・量詞の使い方を理解する
	第13回	内容	食べ物・飲み物（文法項目：「動詞述語文」と「有」の述語文）、中国人の食事について	予習	単語を確認しておく
				復習	文型を整理して、課題を作成する
	第14回	内容	レストランで注文の仕方（反復疑問文・選択疑問文）	予習	単語を暗記しておく
				復習	会話文を空で言えるようになるまで練習する
	第15回	内容	家族・住まい（文法項目：「在」の述語文・介詞「離」）	予習	文型を読んでおく
				復習	文型を理解して、課題を作成する
	第16回	内容	家族の紹介、発表（場所、人数、メンバー、学校からの距離）	予習	文型について確認しておく
				復習	家族の紹介ができるようになるまで練習する
	第17回	内容	食事（文法項目：完了相・助動詞「想」・介詞「從…到」）	予習	語順の再確認をしておく
				復習	文型をまとめて、課題を作成する
	第18回	内容	自分の一日、発表（起床から寝るまでの行動）	予習	単語・文型を確認しておく
				復習	自分の一日が発表できるように練習する
	第19回	内容	アルバイト（文法項目：時量の表現）	予習	単語・日付・時刻の表現を確認しておく
				復習	会話文が流暢に読めるように練習する
	第20回	内容	職業・仕事（文法項目：介詞「在」）	予習	会話文を読んでおく
				復習	文型を理解して、課題を作成する

授 業 計 画	第21回	内容	旅行(1)(文法項目:過去の経験・介詞「給」)	予習	文型「完了相」について確認しておく
				復習	会話文が流暢に読めるように練習する
	第22回	内容	旅行(2)(文法項目:「是…的」の構造文)	予習	単語を暗記しておく
				復習	文型を理解して、課題を作成する
	第23回	内容	車の運転(文法項目:助動詞「会、能、可以」)	予習	苦手な発音を練習しておく
				復習	会話文が流暢に読め、そして応用できるように練習する
	第24回	内容	中国語のDVD鑑賞と質疑応答	予習	学習された単語が流暢に読めるように練習する
				復習	DVDで聞き取れなかった単語を暗記しておく
	第25回	内容	今何をしていますか(文法項目:進行形・連動文)	予習	単語を読んでおく
				復習	文型を理解して、課題を作成する
	第26回	内容	趣味(文法項目:助動詞「喜歡」・動詞の重ね型)	予習	会話文を読んでおく
				復習	自分の趣味について言えるように練習する
	第27回	内容	疑問詞のまとめ、文型の整理、会話文の作成	予習	疑問詞をまとめ・文型を整理しておく
				復習	作成された疑問文を練習する
	第28回	内容	自己紹介Ⅱ(200字程度)作文、発表	予習	今まで発表された内容をもう一度確認しておく
				復習	自己紹介が発表できるように練習する
	第29回	内容	疑問詞の応用会話、発表会のリハーサル	予習	テキストの会話文が流暢に読めるように練習する
				復習	聞き取れていない疑問文をもう一度確認しておく
	第30回	内容	総合復習、発表会	予習	会話応用・最終の発表ができるように準備しておく
				復習	良い点・改善点をまとめる
予習に要する学習時間:概ね15分を目安とする。				復習に要する学習時間:概ね30分を目安とする。	
課題へのフィードバック	作成した課題を採点する				
成績評価	試験期間における定期試験:実施()する/()しない 成績評価の方法: レポート・課題(40%)、発表(40%)、授業態度(20%)				
教科書	カリキュラムに応じたオリジナルテキスト				
参考文献	『<最新2訂版>中国語はじめの一步』(竹島 金吾監修、尹 景春・竹島 毅著 白水社) 『漢語口語速成(入門編)』(北京語言大学出版社)				
注意事項	毎回ポイントを説明し、繰り返し練習することによって覚えていく 毎回の内容を積み上げながら取り組むため、原則として欠席はしないようにすること				

科目名	エアライン実務		単位数	2	実務経験	担当教員 ひらい みちこ 平井 美知子	
ナンバリングコード	TOS3222		授業形態	演習	有		
授業の内容	エアライン業界及び輸送業界の現状を把握し、それぞれの仕事を理解する。エアライン・輸送業界で働くことをイメージし、求められる知識・適正と能力（美しい言葉づかい・立ち居振る舞い・おもてなしの心）を学び実践できるスキルを身につけます。グローバル社会に対応できる、物事を柔軟に対処し、自ら考え、行動できる、ホスピタリティマインドにあふれた人材を育てます。						
到達目標	1. エアライン・輸送業界で働く様々な方々の仕事を理解している 2. グローバル社会に適応できる、考え方や行動力・ホスピタリティマインドを日々の生活の中で発揮できる 3. 日本人としての素養である、美しい日本語・立ち居振る舞い・おもてなしの心を身につけて実践できる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1, 2, 3, 4）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ・航空機の歴史・航空業界の歴史（グループワーク）	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく	復習	この科目を通して習得・体得することを理解する
	第2回	内容	エアライン業界の基本を学ぶ ・エアライン・ビジネスとは（グループワーク）	予習	テキストの該当ページを読んでおく	復習	エアライン・ビジネスの特徴についてまとめる
	第3回	内容	エアライン業界研究 ①（グループワーク） ・各エアライン企業の特徴 外資系と日系企業の違い	予習	テキストの該当ページを読んでおく	復習	航空会社の提携やアライアンスについてまとめる
	第4回	内容	エアライン業界研究 ② ・空港について学ぶ（グループワーク）	予習	テキストの該当ページを読んでおく	復習	空港の概要と課題についてまとめる
	第5回	内容	エアライン業界研究 ③（グループワーク） ・航空会社の関連事業 エアラインを支える仕事	予習	テキストの該当ページを読んでおく	復習	航空会社直結の事業観念についてまとめる
	第6回	内容	エアライン実務 ①（グループワーク） ・旅客ハンドリング	予習	テキストの該当ページを読んでおく	復習	旅客ハンドリングについてまとめる
	第7回	内容	エアライン実務 ②（グループワーク） ・グラウンドハンドリング（演習）	予習	テキストの該当ページを読んでおく	復習	空港業務や運行管理についてまとめる
	第8回	内容	エアライン実務 ③（グループワーク） ・客室乗務員の仕事（演習）	予習	テキストの該当ページを読んでおく	復習	客室乗務員の安全業務とサービスについてまとめる
	第9回	内容	エアライン適正開発 ①（グループワーク） ・エアラインで働くには（求められる素養と適正理解）	予習	エアラインの試験について調べておく	復習	エアライン受験に向けてすべきことを整理する
	第10回	内容	エアライン適正開発 ②（グループワーク） ・表情から改善 印象形成（演習）	予習	印象形成について調べておく	復習	自然な笑顔が表現できるよう、日々実行する
	第11回	内容	エアライン適正開発 ③（演習） ・第一印象をアップする（ヘア・メイク）	予習	明るい印象のヘアスタイルとメイクを調べる	復習	自分に似合うヘアスタイルとメイクを身につける
	第12回	内容	エアライン適正開発 ④ ・身だしなみ・立ち居振る舞い（ペア・ワーク）	予習	身だしなみ・立ち居振る舞いについて調べる	復習	体得した身だしなみ・立ち居振る舞いを実行する
	第13回	内容	エアライン適正開発 ⑤ ・美しい言葉づかい（ペア・ワーク）	予習	正しい敬語の遣い方について調べる	復習	日々、習得した美しい言葉づかいで話す
	第14回	内容	エアライン適正開発 ⑥ ・伝え方・積極的な聴き方（ペア・ワーク）	予習	積極的な伝え方・聴き方について調べる	復習	習得した伝え方・聴き方を日々実行する
	第15回	内容	エアライン適正開発 ⑦ ・好印象な接客対応を体得する（演習）	予習	客室乗務員のサービスの仕方について調べる	復習	習得した好印象の接客対応を身につける
	予習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題シートに対しコメントを行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、授業態度（20%）						
教科書	『エアライン・ビジネス入門』 稲本恵子（編著） 晃洋書房						
参考文献	なし						
注意事項	授業で学んだことを日々復習し、自己表現力やマナー、コミュニケーションスキルを身につけられるよう取り組んでほしい。 ※担当教員は、キャビンアテンダントとしての経験を生かして授業を実施する実務家教員である。						

科目名	ファッションコーディネート		単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	FAB3231		授業形態	講義			
授業の内容	この授業では、ファッションコーディネートの基本的な知識や技術を身につけ、2種類以上のアパレル商品を組み合わせることによってトータルに美しく着こなす方法、また自分らしさを表現する方法を考えていきます。						
到達目標	1. ファッションコーディネートに関する基本的な知識や技術を身につけている。 2. 目的やイメージに合ったコーディネートをトータルで表現することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ファッションコーディネートの重要性	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	20世紀のファッション史	予習	配布プリントを読んでおく		
				復習	戦後のファッション史を理解する		
	第3回	内容	ファッション情報について	予習	配布プリントを読んでおく		
				復習	ファッション情報を収集する		
	第4回	内容	ファッション商品の基礎知識	予習	配布プリントを読んでおく		
				復習	アクセサリーについてレポートにまとめる		
	第5回	内容	色によるコーディネート① 色の分類、色の心理的効果	予習	配布プリントの用語を調べる		
				復習	色についての基礎を理解する		
	第6回	内容	色によるコーディネート②（制作）	予習	必要な道具を準備する		
				復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる		
	第7回	内容	素材・イメージによるコーディネート① イメージの分類	予習	配布プリントの用語を調べる		
				復習	素材、イメージについて理解する		
	第8回	内容	素材・イメージによるコーディネート② 制作	予習	必要な道具を準備する		
				復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる		
第9回	内容	体型に合わせたコーディネート	予習	配布プリントの用語を調べる			
			復習	授業内容を確認し、整理しておく			
第10回	内容	ライフスタイルに合わせたコーディネート①（個別コーディネート作成方法）	予習	配布プリントの用語を調べる			
			復習	コーディネートの種類を整理しておく			
第11回	内容	ライフスタイルに合わせたコーディネート②（個別コーディネート作成）	予習	必要な道具を準備する			
			復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる			
第12回	内容	フォーマルウェアの知識（昼、夜、ウェディング、ブラックのフォーマル）	予習	配布プリントの用語を調べる			
			復習	フォーマルウェアの種類を理解する			
第13回	内容	ネイルの基礎知識	予習	配布プリントの用語を調べる			
			復習	ネイルケアを行う			
第14回	内容	ヘア&メイクの基礎知識	予習	必要な道具等を準備する			
			復習	普段のメイクを見直す			
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	配布プリントを整理しておく			
			復習	内容を復習する			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（30%）、作品（40%）、授業態度（30%）						
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。						
参考文献	授業の中で随時、紹介します。						
注意事項	配布資料が多いので、失くさないように整理して保管してください。						

科目名	ファッションの知識と実務		単位数	2	実務経験	担当教員 なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	FAB3212		授業形態	講義		
授業の内容	<p>ファッションの多様化とともに、ファッションの知識に対する重要性は高まっています。 この授業では、ファッションの商品知識や基礎的な技術、ファッションビジネスの現状や仕組み、マーケティングやマーチャндаイジング、ファッション販売に関わる内容を取り上げ、ファッションに関する幅広い知識を習得することを目的とします。</p>					
到達目標	<p>1. ファッション商品の基礎知識を身につけている 2. ファッション業界の全体像や現状を把握している 3. ファッション情報を客観的に捉える力を身につけている</p>					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ファッションとは 資格について	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	授業内容を理解する	
	第2回	内容	ファッションの商品知識① アイテムについて	予習	アイテムについて調べる	
				復習	アイテムについてまとめる。	
	第3回	内容	ファッションの商品知識② 素材について（繊維）	予習	繊維について調べる	
				復習	各素材の特徴を理解する	
	第4回	内容	ファッションの商品知識③ 素材について（布の構造）	予習	衣服に使われている素材を調べる	
				復習	布の構造を理解する	
	第5回	内容	ファッションの商品知識④ 表示について	予習	衣服の表示ラベルを調べる	
				復習	衣服の表示を確認する。	
	第6回	内容	ファッションビジネスの変遷と 特性について	予習	プリントの用語を調べる	
				復習	ファッションビジネスの変遷を整理する	
	第7回	内容	ファッション産業の構造① テキスタイル産業、アパレル産業の構造	予習	プリントの用語を調べる	
				復習	ファッション産業の構造を理解する	
	第8回	内容	ファッション産業の構造② 小売業の構造	予習	プリントの用語を調べる	
				復習	ファッション産業の構造を理解する	
第9回	内容	ファッション・マーケティングの基礎知識	予習	マーケティングについて調べる		
			復習	特性をまとめる		
第10回	内容	ファッション・マーチャндаイジングの基礎知識	予習	マーチャндаイジングについて調べる		
			復習	企業の取り組みをまとめる		
第11回	内容	ファッションと環境問題	予習	テキストの用語を調べる		
			復習	用語を整理し、理解する		
第12回	内容	ファッション小物制作①	予習	必要な材料、道具を準備する		
			復習	デザインを考える		
第13回	内容	ファッション小物制作②	予習	計画を立てる		
			復習	制作方法を確認する		
第14回	内容	ファッション小物制作③	予習	計画を確認する		
			復習	レポートにまとめる		
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	ノートを整理しておく		
			復習	実生活に活かす		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（30%）、レポート（20%）、作品（20%）授業態度（30%）					
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。					
参考文献	『ファッション販売Ⅰ』（財団法人 日本ファッション教育振興協会）					
注意事項	配布資料が多いので、失くさないように整理して保管してください。					

科目名	イベント・プランニング		単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	FAB3211		授業形態	講義			
授業の内容	観光関連産業の一つであるイベントは、「人と人」をつなぐコミュニケーション・メディアとしての役割を持ち、観光及びコミュニティ活動を活性化していくための効果的な手段として注目されています。この授業ではイベントについて理解し、観光と関連したイベントを企画することによって、観光アイデアを生み出し、提案していく力を身につけることを目指します。						
到達目標	1. イベントと観光の関係を理解し、説明できる 2. 観光に関するイベントのアイデアを発想することができる 3. アイディアをもとに新しいイベントの企画書を作成し、発表することができる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション：イベントとは何か	予習	シラバスを読んでおくこと		
				復習	授業内容を理解すること		
	第2回	内容	イベントの歴史と分類	予習	イベントとは何かについて調べておく		
				復習	イベント内容について理解する		
	第3回	内容	コミュニケーション・メディアとしてのイベントの機能と効果	予習	イベントのコミュニケーション機能を調べておくこと		
				復習	イベントのコミュニケーション機能を理解すること		
	第4回	内容	観光産業としてのイベントの機能・効果	予習	観光とイベントの関係について調べておくこと		
				復習	観光とイベントの関係を理解すること		
	第5回	内容	観光及びイベントに関する関連法規	予習	観光・イベント関連法規について調べておくこと		
				復習	観光・イベント関連法規について理解すること		
	第6回	内容	博物館・美術館の展覧会① 展示のプロセス	予習	日本の博物館について調べておくこと		
				復習	博物館の展示について理解すること		
	第7回	内容	博物館・美術館の展覧会② 展示の事例	予習	日本の美術館について調べておくこと		
				復習	美術館の展示について理解すること		
	第8回	内容	イベントの企画	予習	イベントとは何かについて調べておくこと		
				復習	イベントの機能について理解すること		
	第9回	内容	イベント企画の手法 アイディア発想	予習	イベントの発想を考えておくこと		
				復習	イベントの発想を具体化させること		
	第10回	内容	イベント企画・立案	予習	イベントの企画について考えておくこと		
				復習	イベントの企画・立案について推敲しておくこと		
第11回	内容	イベント企画書の制作①	予習	イベント企画書を考えておくこと			
			復習	イベントの企画書の推敲をすること			
第12回	内容	イベント企画書の制作②	予習	イベント企画書をまとめる作業を考えておくこと			
			復習	イベント企画書に遺漏がないか考えること			
第13回	内容	プレゼンテーション① 準備	予習	イベント企画書のプレゼンの準備をすること			
			復習	イベント企画を確認すること			
第14回	内容	プレゼンテーション② 発表	予習	発表の準備をしておくこと			
			復習	発表後の反省点・課題点を考えること			
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	全体を総括して問題点・課題点を考えておくこと			
			復習	実践に活かせることを考える			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（30%）、レポート・課題（20%）、発表（30%）、授業態度（20%）						
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。						
参考文献	授業の中で随時、紹介します。						
注意事項							

科目名	イベント・マネジメント		単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	FAB3221		授業形態	講義			
授業の内容	イベントは効果的なコミュニケーション・メディアとして注目され、実施されていますが、様々なリスクも持っています。この授業では、イベントの運営、関連業務等を理解し、集客効果を上げるフライヤー、ポスターを制作する他、企画したイベントを成功させていくためには何が必要であるか、考えていきます。また観光、インバウンドについても触れます。						
到達目標	1. イベントを成功させるための具体的な計画を立てることができる 2. 集客効果を上げるフライヤー、ポスターを制作する 3. 多様な来場者、参加者への対応の仕方を理解している						
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2, 3)						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	授業内容を理解する		
	第2回	内容	イベントの計画	予習	イベントの計画を考える		
				復習	イベントの計画を確認する		
	第3回	内容	イベントプログラムの制作	予習	イベントプログラムを考える		
				復習	イベントプログラムを確認する		
	第4回	内容	イベントの告知・集客	予習	イベントの集客方法を考える		
				復習	イベントの集客方法について理解する		
	第5回	内容	広報・PR活動	予習	イベントの広報・PR活動について考える		
				復習	広報・PR活動の重要性を理解する		
	第6回	内容	インバウンドの集客	予習	インバウンドについて調べる		
				復習	外国人旅行者へのアプローチ方法を理解する		
	第7回	内容	フライヤーの制作	予習	フライヤーのデザインを考える		
				復習	フライヤーの重要性を理解する		
	第8回	内容	イベントの運営	予習	イベント会場での運営業務について調べる		
				復習	会場での様々な業務について理解する		
第9回	内容	イベントにおけるリスク	予習	イベントでのリスクについて考える			
			復習	リスクに対する対策について理解する			
第10回	内容	イベント関連の保険	予習	イベント関連の保険について考える			
			復習	イベント関連の保険について理解する			
第11回	内容	イベントとコンプライアンス	予習	コンプライアンスについて調べる			
			復習	イベントのコンプライアンスを理解する			
第12回	内容	イベントにおけるサステナビリティ（持続可能性）とレガシー	予習	サステナビリティについて調べる			
			復習	サステナビリティについて理解する			
第13回	内容	ユニバーサルイベント	予習	ユニバーサルイベントについて調べる			
			復習	ユニバーサルイベントについて理解する			
第14回	内容	訪日外国人旅行者の対応	予習	訪日外国人旅行者への対応について調べる			
			復習	訪日外国人旅行者への対応について理解する			
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	ノートを整理しておく			
			復習	内容を復習する			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (30%)、課題 (20%)、作品 (30%)、授業態度 (20%)						
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。						
参考文献	授業の中で随時、紹介します。						
注意事項							

科目名	ショップ・プレゼンテーション		単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	FAB3232		授業形態	演習			
授業の内容	<p>ショップでは、ただ商品を並べるだけでなく、商品やショップのコンセプトをアピールしてお客様をひきつけ、買い物をするためにわかりやすく快適な環境を作る必要があります。</p> <p>この授業では、お客様にとって快適なショップとは何かを考え、基礎的な陳列や展示方法、POP、ラッピングの技術を習得することを目指します。</p>						
到達目標	<p>1. 快適で魅力的なショップとは何かを理解している</p> <p>2. ショップ演出の基礎的な知識、技術を身につけている</p>						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ショップ演出の重要性、購買心理	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	快適なショップ（売り場）作り、 ディスプレイの役割と効果、照明・色彩	予習	配布プリントを読んでおく		
				復習	売り場環境づくりについてまとめる		
	第3回	内容	陳列の基本とさまざまな方法について、 ショップの事例紹介、実習	予習	陳列について調べる		
				復習	陳列方法を理解する		
	第4回	内容	展示の基本とさまざまな方法について、 ショップの事例紹介、実習	予習	展示について調べる		
				復習	展示方法を理解する		
	第5回	内容	POPの役割、POP文字の書き方、 基本的なレイアウト	予習	POPについて調べる		
				復習	ショップの様々なPOPに注目してみる		
	第6回	内容	POP制作	予習	POPのデザイン、コピーを考える		
				復習	POPの役割を理解する		
	第7回	内容	ラッピング 斜め包み、合わせ包み、リボンの結び方	予習	ラッピングについて調べる		
				復習	ラッピング方法を理解する		
	第8回	内容	ラッピング ふろしき包み、ラッピングの応用	予習	配布プリントを読み、確認する		
				復習	実生活で実践する		
第9回	内容	アパレル商品の陳列・展示方法① フォーミング、フォールデッド	予習	必要な道具等を準備する			
			復習	手法を理解する			
第10回	内容	アパレル商品の陳列・展示方法② レイダウン、ピンナップ	予習	必要な道具等を準備する			
			復習	様々手法についてまとめる			
第11回	内容	学外見学（百貨店等のディスプレイ見学）	予習	見学場所について調べる			
			復習				
第12回	内容	学外見学（百貨店等のディスプレイ見学）、学外見学まとめ（レポート提出）	予習				
			復習	レポートにまとめる			
第13回	内容	ディスプレイ実習①（ディスプレイ計画、グループ決定）	予習	配布プリントを読んでおく			
			復習	担当する作業を理解する			
第14回	内容	ディスプレイ実習②（グループごとにディスプレイ発表）	予習	必要な道具等を準備する			
			復習	実習を振り返り、考えをまとめる			
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	配布プリントを整理しておく			
			復習	内容を復習する			
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない</p> <p>成績評価の方法： 筆記試験（30%）、レポート・課題（30%）、発表（10%）、授業態度（30%）</p>						
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。						
参考文献	授業の中で随時、紹介します。						
注意事項	配布資料が多いので、失くさないように整理して保管してください。						

科目名	カラーコーディネート	単位数	2	実務経験		もりやま たかつぐ 森山 隆次
ナンバリングコード	FAB3222	授業形態	講義		担当教員	
授業の内容	実社会における様々な分野で活躍する「カラーコーディネーター」について、色彩に関する知識を身に付け、色彩検定の資格を取得し、どのような職種においてもクリエイティブな仕事に対応できる能力を身につける。					
到達目標	1. 文部科学省認定の色彩検定3級の資格取得の能力がついている。 2. 文部科学省認定の色彩検定2級の知識の習得の能力がついている。 3. 実習課題の制作提出がされている。					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (②・③)					
授業計画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション(授業内容とスケジュールの説明)	予習		
				復習	色彩が社会に役立つ事例を調べてまとめる	
	第2回	内容	基本講習1(色のはたらき)	予習	次回講習1項目について教科書を熟読する	
				復習	出題されたA課題を仕上げる	
	第3回	内容	基本講習2(光と色)	予習	次回講習2項目について教科書を熟読する	
				復習	出題されたB課題を仕上げる	
	第4回	内容	基本講習3(色の表示I)	予習	次回講習3項目について教科書を熟読する	
				復習	出題されたC課題を仕上げる	
	第5回	内容	基本講習4(色彩心理)	予習	次回講習4項目について教科書を熟読する	
				復習	出題されたD課題を仕上げる	
	第6回	内容	基本講習5(配色調和)	予習	次回講習5項目について教科書を熟読する	
				復習	出題されたE課題を仕上げる	
	第7回	内容	基本講習6(色彩効果)	予習	次回講習6項目について教科書を熟読する	
				復習	出題されたF課題を仕上げる	
	第8回	内容	基本講習7(色彩と生活)	予習	次回講習7項目について教科書を熟読する	
				復習	出題されたG課題を仕上げる	
第9回	内容	基本講習8(ファッション)	予習	次回講習8項目について教科書を熟読する		
			復習	出題されたH課題を仕上げる		
第10回	内容	基本講習9(インテリア)	予習	次回講習9項目について教科書を熟読する		
			復習	出題されたI課題を仕上げる		
第11回	内容	基本講習10(色名)	予習	次回講習10項目について教科書を熟読する		
			復習	出題されたJ課題を仕上げる		
第12回	内容	基本講習11(色の表示II)	予習	次回講習11項目について教科書を熟読する		
			復習	出題されたK課題を仕上げる		
第13回	内容	色彩検定対策講習I(模擬試験)	予習	過去問題を閲覧し試験問題の傾向を把握する		
			復習	模擬試験結果を自己採点し弱点を把握する		
第14回	内容	色彩検定対策講習II	予習	3級と2級の違いを理解しておく		
			復習	本試験に向けて不明点を確認しておく		
第15回	内容	総評・まとめ	予習	テキスト全体の再度熟読する		
			復習			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	提出した課題を返却時、個々にその仕上がりについて面談でコメントする					
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(70%)、レポート・課題(15%)、作品・発表()%、実技()%、授業態度(15%)					
教科書	『色彩検定公式テキスト3級編』(2020年改訂版) 公益社団法人 色彩検定協会、及び『新配色カード199a』(日本色研事業株式会社)					
参考文献	『インターネットにより参考資料各種					
注意事項	実社会で資格として通用する2級試験の受験希望者は『色彩検定公式テキスト2級編』を購入する事を推奨する。					

科目名	Webデザイン		単位数	2	実務経験	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	WED3211		授業形態	演習			
授業の内容	ビジネスのみならず個人においても、プロモーションやマーケティングなど、Webを活用した情報発信が増えている。この講義では、Webページを制作するための基礎であるHTML（ページ構造）とCSS（スタイルデザインの定義）を学習する。サイトの構成や構造を理解して、Webデザインに関する基礎知識と技術を身につける。						
到達目標	1.HTMLを理解して、Webページを作成できる 2.CSSを理解して、Webページにデザインを施すことができる 3.HTMLとCSSを駆使して、思い描くレイアウト構成を作成できる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）						
授業計画	第1回	内容	Webデザインの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	Webページ制作の流れ	予習	Webページとは何か調べる		
				復習	Webページ制作の手順をまとめる		
	第3回	内容	HTML① 基本タグ・改行・見出し・段落	予習	HTMLについて調べる		
				復習	教科書を読み、基本タグについて整理する		
	第4回	内容	HTML② 画像	予習	保存先、参照先について考える		
				復習	ファイル参照を理解する		
	第5回	内容	HTML③ 表・リスト	予習	リストとは何か調べる		
				復習	tableタグを整理しておく		
	第6回	内容	HTML④ リンク・ページの連携	予習	リンクに関するタグの種類と違いを調べる		
				復習	課題HTML部分を完成させる		
	第7回	内容	CSS① HTMLとのリンク	予習	HTMLとCSSの関連性を調べる		
				復習	HTMLとCSS作成手順を整理する		
	第8回	内容	CSS② 色の指定・背景	予習	CSS記述方法を確認しておく		
				復習	CSS記述方法を理解する		
第9回	内容	CSS③ サイズ・枠線・余白	予習	paddingタグとmarginタグの違いを調べる			
			復習	paddingタグとmarginタグを理解する			
第10回	内容	CSS④ HTMLのグループ化・配置	予習	divタグについて調べる			
			復習	idとclassの違いを理解する			
第11回	内容	CSS⑤ 表の詳細設定・リストの活用	予習	表とリストに関するタグを見直しておく			
			復習	課題CSS部分を完成させる			
第12回	内容	ページレイアウト	予習	idとclassの必要性を考える			
			復習	ページレイアウトの仕方を整理する			
第13回	内容	インラインフレーム	予習	インラインフレームについて調べる			
			復習	インラインフレームについてまとめる			
第14回	内容	フォームの作成	予習	フォームについて調べる			
			復習	課題全ページを完成させる			
第15回	内容	これまでのまとめ	予習	HTMLとCSSについてまとめる			
			復習	HTMLとCSSを理解する			
予習に要する学習時間：概ね10分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題の到達基準については、授業の中で具体的に内容を示す。 定期試験は、終了後模範解答を配布する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 課題（20%）、実技試験（60%）、授業態度（20%）						
教科書	『HTML5 & CSS3 ワークブック ステップ30（情報演習14）』（相澤裕介、カットシステム）						
参考文献	『作りながら学ぶ HTML/CSS デザインの教科書』（高橋 朋代、SBクリエイティブ）						
注意事項	「ウェブデザイン実務士」取得予定者は、必ず履修すること。						

科目名	Webサイト管理演習		単位数	2	実務経験	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	WED3221		授業形態	演習			
授業の内容	Webサイトの管理や運営について、理解を深めていく。 Webサイトの使い勝手のよさをWebユーザビリティという。利用者（ユーザ）がどれだけ快適に操作できるかという視点に立ち、色彩の基本や見やすさといったデザイン性や操作性、セキュリティなどを捉えながら、情報発信と管理の重要性を学ぶ。						
到達目標	1. Webサイトの運営や管理の知識を身につけている 2. Webサイトの効果的デザイン・レイアウトを理解できる 3. ユーザビリティの視点から、Webサイトのデザインを提案できる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）						
授業計画	第1回	内容	Webサイトの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	デザインの基礎 画像・色彩・フォント	予習	Webユーザビリティについて調べる		
				復習	Webユーザビリティの事例をまとめる		
	第3回	内容	制作ツール① Web制作ソフト	予習	Web作成ソフトを調べる		
				復習	Web作成ソフトを使ってみる		
	第4回	内容	文章デザイン・ブロック配置とレイアウト	予習	見出しの重要性とデザインを調べる		
				復習	行間・文字間の重要性を考える		
	第5回	内容	制作ツール② グラフィックソフト	予習	グラフィックソフトを調べる		
				復習	グラフィックソフトを使ってみる		
	第6回	内容	カーニング・ボタン作成・写真の加工	予習	ボタンデザインを考える		
				復習	ボタンを作成する		
	第7回	内容	プランニング①ユーザの想定とデザインの方向性	予習	ユーザを想定してデザインの方向性を考える		
				復習	ユーザを想定してデザインの方向性を決める		
	第8回	内容	プランニング②サイトマップと色彩設計	予習	Webカラーについて調べる		
				復習	サイトマップを作成する		
第9回	内容	プランニング③ナビゲーション・ページサイズ	予習	パンくずリストについて調べる、			
			復習	ナビゲーションの種類と役割をまとめる			
第10回	内容	CSSでレイアウト①インラインレベルとブロックレベル	予習	CSSを使った見出しのデザインを考える			
			復習	インラインレベルとブロックレベルを理解する			
第11回	内容	CSSでレイアウト②ボックス・ボーダー・フロート	予習	CSSを使ったボーダーデザインを考える			
			復習	ボックスのサイズ計算を理解する			
第12回	内容	CSSでレイアウト③背景画像・リンク	予習	CSSを使ったボタンのデザインを考える			
			復習	作成課題のリンク動作を確認する			
第13回	内容	jQueryと動的サイト	予習	jQueryについて調べる			
			復習	動的サイトの効果をまとめる			
第14回	内容	SEO対策	予習	SEOとは何か調べる			
			復習	SEO対策についてまとめる			
第15回	内容	まとめ	予習	課題を完成させる			
			復習	課題の動作確認をする			
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題や作品制作について、コメント、アドバイスを個別対応する						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 課題（20%）、作品（60%）、授業態度（20%）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	「Webデザイン」を履修済みで、HTML・CSSを理解していることが必要						

科目名	Webデザイン演習		単位数	2	実務経験	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	WED3231		授業形態	演習			
授業の内容	Web 関連科目の総括として、各自テーマを決めて、サイト制作を行う。 ターゲット、コンセプト、目的を明確にして、自らの思い描く Web サイトを完成させる。制作の一連の流れ（企画、設計、制作、運営）を通して、表現力と技術力を高めていく。						
到達目標	1. 情報の収集、分析を行うことができる 2. 適切な表現で情報を発信できる 3. 利用する人の視点からデザインを考案できる 4. 作品を公開、運用できる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）						
授業計画	第1回	内容	Web サイト制作とプランニング	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	企画案を作成する		
	第2回	内容	企画の立案と情報収集	予習	情報収集を行う		
				復習	企画案を完成させる		
	第3回	内容	企画書の作成	予習	企画案を完成させる		
				復習	企画書を仕上げる		
	第4回	内容	グラフィックソフトでデザイン	予習	グラフィックソフトの使い方を調べる		
				復習	画像編集する		
	第5回	内容	ページデザイン修正	予習	画像編集する		
				復習	ページデザインを修正する		
	第6回	内容	Web 用画像素材への変換	予習	画像ファイル形式を調べて、整理しておく		
				復習	画像修正、編集を行う		
	第7回	内容	ディレクトリの配置	予習	サイト構成を考える		
				復習	サイト構成を見直す		
	第8回	内容	コーディング (HTML) トップページの内容をマークアップ	予習	トップページのコンテンツを準備する		
				復習	トップページの HTML を完成させる		
	第9回	内容	コーディング (CSS)	予習	トップページの HTML を完成させる		
				復習	トップページの CSS を完成させる		
	第10回	内容	トップページのレイアウトを整える	予習	トップページのレイアウトを完成させる		
				復習	トップページの修正をする		
	第11回	内容	トップページのデザイン修正	予習	ヘッダーフッターの活用を考える		
				復習	下層ページの HTML を完成させる		
	第12回	内容	コーディング (HTML) 下層ページの内容をマークアップ	予習	下層ページの HTML を完成させる		
				復習	下層ページの CSS を完成させる		
	第13回	内容	コーディング (CSS)	予習	リンクの動きを確認する		
				復習	レイアウトの見直しをする		
	第14回	内容	下層ページのレイアウトを整える	予習	文章の見直しをする		
				復習	デザインの修正を行う		
	第15回	内容	リンク設定とレイアウトの見直し	予習	各ブラウザでの表示を確認する		
				復習	ネット上での動作確認をする		
予習に要する学習時間：概ね10分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。							
課題へのフィードバック	作品制作についてのコメント、アドバイス、評価は、個別対応する インターネット上で、既履修者及び履修者全員の作品公開を行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 課題（10%）、作品（70%）、授業態度（20%）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	1. 「Web サイト管理演習」の履修を終えていることが必要 2. 「ウェブデザイン実務士」を取得予定学生は、必ず履修すること 3. 作品制作には、授業時間外にも積極的に取組んでほしい						

科目名	Webプログラミング		単位数	2	実務経験	担当教員 なかしま しゅんじ 中島 俊治
ナンバリングコード	WED3222		授業形態	講義		
授業の内容	<p>本講義では、Webプログラミングの基礎としての「JavaScript」を学ぶ。 「JavaScript」は、計算は勿論、Web ページのコンテンツやスタイルをコントロールが可能である。 それらの概要や技術的仕様に触れることを通じて、Web プログラミングの概要の説明やアプリケーション制作ができるようになる。</p>					
到達目標	1. 「Web プログラミング」の概要を理解し、説明できる。 2. 「JavaScript」の基本的な仕組みを理解し、説明できる。 3. 簡単な「Web アプリケーション」を自ら制作し、表現できる。 4. Web プログラミング技術に関する最新の知識を学修することができる。					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2, 3)					
授業計画	第1回	内容	Web プログラミングの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	本科目の目的を再確認する	
	第2回	内容	HTML によるマークアップの方法	予習	作りたいプログラムをひとつ考える	
				復習	HTML の記述方法をまとめておく	
	第3回	内容	CSS によるスタイリングの方法	予習	テキストの当該範囲を予め目を通しておく	
				復習	CSS の記述方法をまとめておく	
	第4回	内容	JavaScript とは	予習	テキスト当該範囲のコードに目を通しておく	
				復習	JavaScript の記述方法をまとめておく	
	第5回	内容	ページに出力する方法	予習	第1回～第4回までを読み直しておく	
				復習	出力方法をまとめておく	
	第6回	内容	データを入力する	予習	身近なデータ保存を考える	
				復習	入力方法をまとめておく	
	第7回	内容	計算機アプリを作る	予習	どんな計算機アプリを作れるかを考える	
				復習	計算機アプリをオリジナル化する	
	第8回	内容	時計アプリを作る	予習	どんな時計アプリを作れるかを考える	
				復習	時計アプリをオリジナル化する	
第9回	内容	占いアプリを作る	予習	どんな占いアプリを作れるかを考える		
			復習	占いアプリをオリジナル化する		
第10回	内容	じゃんけんアプリを作る	予習	どんなじゃんけんアプリを作れるかを考える		
			復習	じゃんけんアプリをオリジナル化する		
第11回	内容	効果音・映像を取り込む	予習	アプリ内の効果音・映像の効果を考える		
			復習	じゃんけんアプリに効果音を追加する		
第12回	内容	データを保存する	予習	データの保存の効果を考える		
			復習	じゃんけんアプリにデータ保存機能を追加		
第13回	内容	マウス・タッチの座標の取得	予習	マウス入力の実用性について考える		
			復習	マウスを使ったアプリをオリジナル化する		
第14回	内容	図形を描画する	予習	図形描画アプリの効率について考える		
			復習	描画を用いた時計アプリを作る		
第15回	内容	Web プログラミングのまとめ	予習	自分はどんなアプリを作れるかを考える		
			復習	オリジナルのアプリを実際に作ってみる		
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> 作成したプログラムに都度コメントを行う。 期末試験後に問題の解説を行う。 					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する / () しない 成績評価の方法：筆記試験 (50 %)、レポート・課題 () %、作品・発表 () %、実技 () %、授業態度 (50 %)					
教科書	『書名』(著者名、出版社名) なし					
参考文献	『書名』(著者名、出版社名) なし					
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> PC 操作、キーボードの英字、数字等の入力に支障がないことを前提とする。 「どんなアプリケーションを作ろうか」という思いを巡らせながら授業に臨むこと。 					

科目名	Webアニメーション演習		単位数	2	実務経験	担当教員 なかしま しゅんじ 中島 俊治
ナンバリングコード	WED3232		授業形態	演習		
授業の内容	最近、ホームページ上で画像や図形がアニメーションしているのを見かける。これは「CSS」というスタイリングの技術が、大幅に進化し容易にアニメーションが実現できるようになったためである。本科目ではその「CSS」を中心に様々なアニメーションの方法を学び「Webアニメーション」の表現方法を探求する。					
到達目標	1. 「Webアニメーション」概要について理解し、説明できる。 2. 「CSS」によるアニメーションの仕組みを理解できる。 3. 簡単なWebアニメーションを自ら制作し、表現できる。 4. Webスタイリング技術に関する最新の知識を学修することができる					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2、3 ）					
授業計画	第1回	内容	Webアニメーションの基礎知識・様々なアニメーション手法	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	本科目の目的を再確認する	
	第2回	内容	Webを制作するための文法	予習	作りたいアニメーションをひとつ考える	
				復習	制作のための文法をまとめておく	
	第3回	内容	基本のCSSプロパティ(ボックスモデル)	予習	テキストの当該範囲を予め読んでおく	
				復習	基本のCSSのサンプルをオリジナル化する	
	第4回	内容	リッチなCSSプロパティ(影・角丸・グラデーション)	予習	ボックスモデルを再確認しておく	
				復習	影・角丸をオリジナル化する	
	第5回	内容	変形のCSSプロパティ	予習	身近な変形のアニメーションを探しておく	
				復習	変形の方法をまとめておく	
	第6回	内容	変形のCSSプロパティ(制作演習②)	予習	作りたい変形をひとつ考えておく	
				復習	変形のアニメーションをオリジナル化する	
	第7回	内容	遷移のCSSプロパティ(トランジション)	予習	変形の方法を再確認しておく	
				復習	トランジションの方法をまとめておく	
	第8回	内容	遷移のCSSプロパティ(制作演習①)	予習	作りたいものをひとつ考えておく	
				復習	アニメーションをオリジナル化する	
第9回	内容	アニメーションのCSSプロパティ	予習	身近なアニメーションを探しておく		
			復習	アニメーションの方法をまとめておく		
第10回	内容	アニメーションのCSSプロパティ(制作演習③)	予習	作りたいアニメーションを考えておく		
			復習	アニメーションをオリジナル化する		
第11回	内容	三次元のCSSプロパティ	予習	身近な三次元のアニメーションを探しておく		
			復習	三次元の方法をまとめておく		
第12回	内容	三次元のCSSプロパティ(制作演習④)	予習	作りたい三次元アニメーションを考えておく		
			復習	三次元アニメーションをオリジナル化する		
第13回	内容	JavaScriptとの連携	予習	JavaScriptについて再確認しておく		
			復習	JavaScript連携についてまとめておく		
第14回	内容	JavaScriptとの連携(制作演習⑤)	予習	作りたいJavaScript連携を考えておく		
			復習	JavaScript連携をさらにオリジナル化する		
第15回	内容	Webアニメーションのまとめ	予習	自分でどんなものが作れるかを考える		
			復習	オリジナルのアニメーションを実際にする		
予習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	・作成したアニメーション作品に都度コメントを行う。 ・期末試験後に問題の解説を行う					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（%）、作品・発表（%）、実技（%）、授業態度（50%）					
教科書	『書名』（著者名、出版社名）なし					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）なし					
注意事項	・PC操作、キーボードの英字、数字等の入力に支障がないことを前提とする。 ・「どんなアニメーションを作ろうか」という思いを巡らせながら授業に臨むこと。					

科目名	画像処理演習		単位数	2	実務経験	担当教員	よしい としまさ 吉井 利真
ナンバリングコード	MUM3221		授業形態	演習			
授業の内容	デジタル画像に関する基礎概念とペイント系ソフトとドロー系ソフトの活用力の習得をめざします。 デジタル画像の基本的特性を理解し、ソフトによる画像処理の目的・対応・処理結果の評価を重ねるとともに、作品の制作を通し、各自の表現力の向上を図ります						
到達目標	1. デジタル画像に関する基礎知識が理解できる。 2. 自己表現力をデジタル画像の制作により高めることができる。 3. 作品や課題に対する自己評価ができる。						
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2・3)						
授業計画	第1回	内容	デジタル画像の特徴と画像フォーマット	予習	画像ファイルの拡張子について調べておく		
				復習	演習ファイルの再確認		
	第2回	内容	画像モードの特性	予習	色の3原色、光の3原色を調べておく		
				復習	演習ファイルの再操作、確認		
	第3回	内容	色調とその補正	予習	演習用 JPG ファイルを準備する		
				復習	サンプルを使い色調補正を試す		
	第4回	内容	画像の修正	予習	演習用 JPG ファイルを準備する		
				復習	サンプルを使い画像の修正を試す		
	第5回	内容	画像の重層化	予習	演習用 JPG ファイルを準備する		
				復習	任意の画像の合成を試す		
	第6回	内容	カラーチャンネル	予習	浮世絵の版木について調べておく		
				復習	サンプルでチャンネル毎の補正の復習		
	第7回	内容	アプリケーションの利用① 描画モード	予習	アプリケーションメニューやパネルを概観		
				復習	演習ファイルで授業内容を復習		
	第8回	内容	アプリケーションの利用② フィルタ処理	予習	アプリケーションメニューやパネルを概観		
				復習	演習ファイルで授業内容を復習		
	第9回	内容	アプリケーションの利用③ 表現手法	予習	アプリケーションメニューやパネルを概観		
				復習	演習ファイルで授業内容を復習		
	第10回	内容	ラスター画像とベクター画像	予習	WEB でベクター画像の特徴を調べる		
				復習	演習ファイルの再確認		
	第11回	内容	ベジェ曲線の操作 ベジェ曲線の考え方と作図方法	予習	WEB でベジェ曲線の作図について調べる		
				復習	演習ファイルの再操作		
	第12回	内容	アプリケーション操作① パスの操作	予習	アプリケーションのツールを確認		
				復習	演習ファイルの再操作		
	第13回	内容	アプリケーション操作② オブジェクトの扱い	予習	アプリケーションのツールを確認		
				復習	演習ファイルの再操作		
	第14回	内容	アプリケーション操作③ 描画、塗りと効果	予習	パスの特徴を確認しておく		
				復習	演習ファイルの再操作		
	第15回	内容	課題作品の提出	予習	課題の準備作業		
				復習	評価や問題点の確認		
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題や作品についてコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (%)、レポート・課題 (50%)、作品・発表 (50%)、実技 (%)、授業態度 (%)						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	空き時間を利用したアプリケーション操作の練習に心がけましょう。						

科目名	商品とデザイン	単位数	2	実務経験	担当教員	もりやま たかつぐ 森山 隆次
ナンバリングコード	MUM3224	授業形態	演習			
授業の内容	コンピュータと最新のグラフィックアプリケーションでのオペレーション実習により、実社会の各職種に通用する、実践的な課題の制作に取り組み、デザインセンスを高め、自ら創造し提案「できる」能力を磨き、クリエイティブ能力を発揮できる人材の育成を目指す					
到達目標	1. グラフィックアプリケーションの操作技術が身についている。 2. オリジナルのデザイン制作ができる、創造力やセンスが身についている。 3. 学期中に2点課題の作成および提出ができる。					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (②・③)					
授業計画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション(授業内容とスケジュールの説明)	予習		
				復習	配布された資料を熟読する	
	第2回	内容	コンピュータ実習1/タンブラーラベルの作成(以下課題A) 「ソフトの基本操作」	予習	指定教科書に目を通しておく	
				復習	ソフトの操作・データの扱いを再確認する	
	第3回	内容	コンピュータ実習2/A課題の制作「ベースのデザイン」	予習	タンブラーのデザインを考案しておく	
				復習	作成データ(形)を見直し修正する	
	第4回	内容	コンピュータ実習3/A課題の制作「文字・イラスト編集」	予習	必要な素材を用意する	
				復習	作成データ(文字)の見直し修正する	
	第5回	内容	コンピュータ実習4/A課題の制作「写真・画像編集」	予習	必要な画像データを用意する	
				復習	作成データ(画像)の見直し修正する	
	第6回	内容	コンピュータ実習5/A課題の制作「レイアウト編集」	予習	不足しているアイテムを用意する	
				復習	制作データ(全体)のブラッシュアップする	
	第7回	内容	実物制作実習1/A課題の制作「データプリント・仕上げ」	予習	最終データのチェック・提出準備をする	
				復習	完成データを提出する	
	第8回	内容	コンピュータ実習7/食品サンプルの作成(以下課題B)「製品のプランニング」	予習	製品プランに必要な資料を用意しておく	
				復習	制作にあたり不足している資料を用意する	
第9回	内容	コンピュータ実習8/B課題の制作「製品形状のデザイン」	予習	自ら製作する作品のラフスケッチを描く		
			復習	作成データ(形)を見直し修正する		
第10回	内容	コンピュータ実習9/B課題の制作「素材とベースの定義」	予習	実物を作るためのレシピを考える		
			復習	製品の素材を見直し修正する		
第11回	内容	コンピュータ実習10/B課題の制作「デコレーション編集」	予習	必要な飾りアイテムを用意する		
			復習	作成データ(レイアウト)を見直し修正する		
第12回	内容	コンピュータ実習11/B課題の制作「制作データの確認」	予習	実データの配色を考える		
			復習	制作データ(全体)のブラッシュアップする		
第13回	内容	コンピュータ実習12/B課題の制作「バリエーション」	予習	不足しているアイテムを用意する		
			復習	作成データ(色・形)を再検討する		
第14回	内容	コンピュータ実習13/B課題の制作「データ確認・プリント」	予習	最終データのチェック・提出準備をする		
			復習	完成データを提出する		
第15回	内容	講義(製品とデザインの今後) 後期授業のまとめ、総評	予習	制作した作品のプリントをまとめる		
			復習			
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	提出課題時、データと共に提出した作品物に、評価を記して返還する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(60%)、作品・発表(25%)、実技()%、授業態度(15%)					
教科書	「できるクリエイター GIMP 2.8 独習ナビ」「できるクリエイター Inkscape 独習ナビ」の2冊、どちらもインプレス出版					
参考文献	インターネットにより参考資料各種					
注意事項	課題は期限までのデータでの提出が必須、常に自己のデータの保全管理に注意し、データの消失等に留意すること。					

科目名	情報処理概論		単位数	2	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	INS3221		授業形態	講義			
授業の内容	ITパスポートとは、企業の業務で必要とされる基本的なIT知識の習得が証明できる国家資格です。この資格はIT技術の知識だけでなく、経営全般やIT管理の知識も問われ、多くの企業で新卒採用活動や社員研修で資格取得を課しています。本授業は、ITパスポートの中のマネジメント系の内容を除く「テクノロジ系」と「ストラテジ系」の内容を扱い、ITパスポートの資格取得を目標に、ITを正しく理解し、ITを利活用できる力を身につけることを目指します。						
到達目標	1. コンピュータ用語やIT技術（テクノロジ系）について説明できる。 2. 経営全般（ストラテジ系）について説明できる。 3. ITを利活用できる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読み、ITパスポートについて調べる		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	テクノロジ系 基礎理論・アルゴリズムとプログラミング	予習	基礎理論の用語について調べる		
				復習	アルゴリズムの演習問題を復習する		
	第3回	内容	テクノロジ系 コンピュータ構成要素・システム構成要素	予習	コンピュータ構成要素の用語について調べる		
				復習	コンピュータ構成要素の演習問題を復習する		
	第4回	内容	テクノロジ系 ソフトウェア・ハードウェア	予習	ソフトウェアの用語について調べる		
				復習	ハードウェアの演習問題を復習する		
	第5回	内容	テクノロジ系 ヒューマンインタフェース・マルチメディア	予習	ヒューマンインタフェースの用語について調べる		
				復習	マルチメディアの演習問題を復習する		
	第6回	内容	テクノロジ系 データベース	予習	データベースの用語について調べる		
				復習	データベースの演習問題を復習する		
	第7回	内容	テクノロジ系 ネットワーク	予習	ネットワークの用語について調べる		
				復習	ネットワークの演習問題を復習する		
	第8回	内容	テクノロジ系 セキュリティ①	予習	セキュリティ①の用語について調べる		
				復習	セキュリティ①の演習問題を復習する		
第9回	内容	テクノロジ系 セキュリティ②	予習	セキュリティ②の用語について調べる			
			復習	セキュリティ②の演習問題を復習する			
第10回	内容	ストラテジ系 企業活動	予習	企業活動の用語について調べる			
			復習	企業活動の演習問題を復習する			
第11回	内容	ストラテジ系 法務	予習	法務の用語について調べる			
			復習	法務の演習問題を復習する			
第12回	内容	テクノロジ系の小テスト	予習	テクノロジ系の全範囲の内容を整理しておく			
			復習	テクノロジ系の小テストを復習する			
第13回	内容	ストラテジ系 経営戦略・技術戦略・ビジネスインダストリ	予習	経営戦略の用語について調べる			
			復習	技術戦略の演習問題を復習する			
第14回	内容	ストラテジ系 システム戦略・システム企画	予習	システム戦略の用語について調べる			
			復習	システム企画の演習問題を復習する			
第15回	内容	ストラテジ系の小テスト・まとめ（全範囲の振り返り）	予習	ストラテジ系の全範囲の内容を整理しておく			
			復習	全範囲の内容を復習する			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	単元ごとの小テストの採点結果を返す。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 小テスト（50%）、授業態度（50%）						
教科書	プリントまたはPDF形式のファイルを配布します。						
参考文献	なし						
注意事項	なし						

科目名	文書処理演習		単位数	2	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	INS3222		授業形態	演習			
授業の内容	MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）のワードの試験の合格を目指す授業です。文書作成ソフトのワードの操作、特にMOS試験の出題範囲である「文書の作成と管理」、「文字、段落、セクションの書式設定」、「表とリストの作成」、「参考資料の作成と管理」、「グラフィック要素の挿入と書式設定」について学びます。操作方法の学習、模擬試験を行なうことにより、MOSのワード試験に合格できるスキルを身に付けることを目指します。						
到達目標	1. ワードの操作ができる。 2. 見栄えの良い文書が作成できる。 3. 社会生活において困らない文書作成スキルを身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	ワードの操作① 文書の作成と管理	予習	文書の作成について調べる		
				復習	文書の作成について復習する		
	第3回	内容	ワードの操作② 文書の作成と管理	予習	文書の管理について調べる		
				復習	文書の管理について復習する		
	第4回	内容	ワードの操作③ 文字、段落、セクションの書式設定	予習	文字、段落、セクションについて調べる		
				復習	書式設定について復習する		
	第5回	内容	ワードの操作④ 表とリストの作成	予習	表とリストについて調べる		
				復習	表とリストの作成について復習する		
	第6回	内容	ワードの操作⑤ 参考資料の作成と管理	予習	参考資料について調べる		
				復習	参考資料の作成について復習する		
	第7回	内容	ワードの操作⑥ グラフィック要素の挿入と書式設定	予習	グラフィック要素について調べる		
				復習	グラフィック要素の操作について復習する		
	第8回	内容	ワードの操作⑦ 復習演習	予習	これまで行なった機能について調べる		
				復習	これまで行なった機能を復習する		
第9回	内容	MOSワードの模擬試験①	予習	MOS試験の形式について調べる			
			復習	模擬試験を復習する			
第10回	内容	MOSワードの模擬試験②	予習	ワードの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第11回	内容	MOSワードの模擬試験③	予習	ワードの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第12回	内容	MOSワードの模擬試験④	予習	ワードの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第13回	内容	MOSワードの模擬試験⑤	予習	ワードの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第14回	内容	MOSワードの模擬試験⑥	予習	ワードの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第15回	内容	まとめ	予習	ワードの機能を確認する			
			復習	これまでの演習を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、模擬試験（50%）						
教科書	『Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集（よくわかるマスター）』（富士通エフ・オー・エム、FOM 出版）						
参考文献	なし						
注意事項	教科書の模擬試験システムを使用しますので、指定の教科書を必ず用意してください。						

科目名	表計算演習		単位数	2	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	INS3223		授業形態	演習			
授業の内容	MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）のエクセルの試験の合格を目指す授業です。表計算ソフトのエクセルの操作、特にMOS試験の出題範囲である「ワークシートやブックの作成と管理」、「セルやセル範囲のデータの管理」、「テーブルの作成」、「数式や関数を使用した演算の実行」、「グラフやオブジェクトの作成」について学びます。操作方法の学習、模擬試験を行なうことにより、MOSのエクセル試験に合格できるスキルを身に付けることを目指します。						
到達目標	1. エクセルの操作ができる。 2. データの集計ができる。 3. グラフが作成できる。 4. 社会生活において困らない表計算スキルを身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	エクセルの操作① ワークシートやブックの作成と管理	予習	ワークシートの作成について調べる		
				復習	ワークシートの操作について復習する		
	第3回	内容	エクセルの操作② ワークシートやブックの作成と管理	予習	ブックの作成について調べる		
				復習	ブックの操作について復習する		
	第4回	内容	エクセルの操作③ セルやセル範囲のデータの管理	予習	セルの操作について調べる		
				復習	データの管理について復習する		
	第5回	内容	エクセルの操作④ テーブルの作成	予習	テーブルについて調べる		
				復習	テーブルの作成について復習する		
	第6回	内容	エクセルの操作⑤ 数式や関数を使用した演算の実行	予習	数式や関数について調べる		
				復習	演算方法について復習する		
	第7回	内容	エクセルの操作⑥ グラフやオブジェクトの作成	予習	グラフについて調べる		
				復習	グラフの作成について復習する		
	第8回	内容	エクセルの操作⑦ 復習演習	予習	これまで行なった機能について調べる		
				復習	これまで行なった機能を復習する		
第9回	内容	MOS エクセルの模擬試験①	予習	MOS 試験の形式について調べる			
			復習	模擬試験を復習する			
第10回	内容	MOS エクセルの模擬試験②	予習	エクセルの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第11回	内容	MOS エクセルの模擬試験③	予習	エクセルの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第12回	内容	MOS エクセルの模擬試験④	予習	エクセルの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第13回	内容	MOS エクセルの模擬試験⑤	予習	エクセルの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第14回	内容	MOS エクセルの模擬試験⑥	予習	エクセルの機能を確認する			
			復習	模擬試験を復習する			
第15回	内容	まとめ	予習	エクセルの機能を確認する			
			復習	これまでの演習を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、模擬試験（50%）						
教科書	『Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2016 対策テキスト& 問題集（よくわかるマスター）』（富士通エフ・オー・エム、FOM 出版）						
参考文献	なし						
注意事項	教科書の模擬試験システムを使用しますので、指定の教科書を必ず用意してください。						

科目名	動画編集		単位数	2	実務経験	担当教員 たかはし かずお 高橋 一夫
ナバリングコード	MUM3222		授業形態	演習		
授業の内容	人に何かを伝えるのは楽しいこと。YouTube、ドラマ、CM…どんな作品でも、伝えたい！という気持ちがあつてはじめて映像テクニックは生きてくる。ビデオカメラ、スマホ、小型ドローンカメラ、編集アプリを使って様々な撮影・編集テクニックを学び、自己表現する力をつける。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭の中にあるイメージを具体的な形（映像）にすることができる 2. 映像と音をコミュニケーションツールとして使うことができる 3. 多様な撮影・編集テクニックを使いこなすことができる 					
学位授与方針	文化表現学科（2・3）					
授業計画	第1回	内容	講座の目的・概要と授業計画の説明。Q.&A	予習	ビデオ創作について考える	
				復習	ビデオ創作についてレポートにまとめる	
	第2回	内容	参考作品鑑賞。コンテンツの意図と、そのために使用されたテクを発見する	予習	参考作品について考える	
				復習	参考作品についてレポートにまとめる	
	第3回	内容	映像のテクニック 参考作品鑑賞と意見交換	予習	映像テクニックについて考える	
				復習	映像テクニックについてレポートにまとめる	
	第4回	内容	音響のテクニック 参考作品鑑賞と意見交換	予習	音響テクニックについて考える	
				復習	音響テクニックについてレポートにまとめる	
	第5回	内容	実習 高度な映像表現を学ぶ	予習	映像表現について考える	
				復習	映像表現についてレポートにまとめる	
	第6回	内容	実習 音の表現を学ぶ	予習	音響表現について考える	
				復習	音響表現についてレポートにまとめる	
	第7回	内容	企画案・構成案・シナリオ作成①	予習	企画構成①について考える	
				復習	企画構成①についてレポートにまとめる	
	第8回	内容	企画案・構成案・シナリオ作成②	予習	企画構成②について考える	
				復習	企画構成②についてレポートにまとめる	
	第9回	内容	実習 撮影のテクを学ぶ	予習	撮影技術について考える	
				復習	撮影技術についてレポートにまとめる	
	第10回	内容	実習 映像編集のテクを学ぶ	予習	編集技術について考える	
				復習	編集技術についてレポートにまとめる	
	第11回	内容	実習 音編集のテクを学ぶ	予習	音響編集について考える	
				復習	音響編集についてレポートにまとめる	
	第12回	内容	作品制作①映像撮影	予習	撮影について考える	
				復習	撮影についてレポートにまとめる	
	第13回	内容	作品制作②映像編集	予習	映像編集について考える	
				復習	映像編集についてレポートにまとめる	
	第14回	内容	作品制作③音響編集	予習	音響編集について考える	
復習				音響編集についてレポートにまとめる		
第15回	内容	完成試写・全体復習	予習	完成作品について考える		
			復習	完成作品についてレポートにまとめる		
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	作成した作品にコメントを行う					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（20%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度（20%）					
教科書	なし					
参考文献	『CG&映像しくみ事典』（永田豊志/CGWORLD、ワークスコーポレーション）、 『映画の瞬き—映像編集という仕事』（ウォルター・マーチ/吉田 俊太郎、フィルムアート社）					
注意事項	心や頭の中に浮かぶ形のないイメージを、映像と音を使って人に見てもらえる作品にすることで自己表現のノウハウを学んでほしい。					

科目名	動画創作		単位数	2	実務経験	担当教員 たかはし かずお 高橋 一夫
ナンバリングコード	MUM3231		授業形態	演習		
授業の内容	基本的には前期「動画編集」受講生が対象だが、それ以外の学生も受講可。前期で学んだ技術を発展させ、より高度な映像表現を学ぶ。スマホ、ビデオカメラ、小型ドローンカメラなどから取り込んだ映像を組み合わせ、自分の意図した映像作品を創作する。自己満足でなく、人が見て「理解できる」「おもしろい」映像作りを学ぶ。					
到達目標	1. 多様なメディア素材の取込ができる 2. 多様なエフェクト／トランジションを使いこなすことができる 3. 的確な撮影・編集表現ができる					
学位授与方針	文化表現学科 (2・3)					
授業計画	第1回	内容	前期の復習と後期授業計画の詳細確認	予習	作品制作について考える	
				復習	作品制作についてレポートにまとめる	
	第2回	内容	参考作品鑑賞と意見交換	予習	参考作品について考える	
				復習	参考作品についてレポートにまとめる	
	第3回	内容	後期作品・企画書・シナリオ作成	予習	企画について考える	
				復習	企画についてレポートにまとめる	
	第4回	内容	プレゼンテーション	予習	プレゼンについて考える	
				復習	プレゼンについてレポートにまとめる	
	第5回	内容	撮影準備 (撮影計画作成とテスト撮影)	予習	撮影準備について考える	
				復習	撮影準備についてレポートにまとめる	
	第6回	内容	撮影のスキルアップ (ビデオカメラ・小型ドローンカメラ)	予習	撮影スキルについて考える	
				復習	撮影スキルについてレポートにまとめる	
	第7回	内容	撮影実習	予習	撮影実習について考える	
				復習	撮影実習についてレポートにまとめる	
	第8回	内容	作品撮影	予習	作品撮影について考える	
				復習	作品撮影についてレポートにまとめる	
第9回	内容	撮影と取り込み	予習	撮影と取り込みについて考える		
			復習	撮影と取り込みについてレポートにまとめる		
第10回	内容	編集のスキルアップ	予習	編集スキルについて考える		
			復習	編集スキルについてレポートにまとめる		
第11回	内容	編集作業①	予習	編集作業①について考える		
			復習	編集作業①についてレポートにまとめる		
第12回	内容	編集作業②	予習	編集作業②について考える		
			復習	編集作業②についてレポートにまとめる		
第13回	内容	編集作業③	予習	編集作業③について考える		
			復習	編集作業③についてレポートにまとめる		
第14回	内容	編集作業④仕上げ/ブラッシュアップ 完成	予習	仕上げについて考える		
			復習	仕上げについてレポートにまとめる		
第15回	内容	まとめ・全体の復習	予習	完成作品について考える		
			復習	完成作品についてレポートにまとめる		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	作成した作品にコメントを行う					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法： 筆記試験 (20%)、レポート・課題 (20%)、作品・発表 (20%)、実技 (20%)、授業態度 (20%)					
教科書	なし					
参考文献	『CG&映像しくみ事典』(永田豊志/CGWORLD、ワークスコーポレーション)、 『映画の瞬き—映像編集という仕事』(ウォルター・マーチ/吉田 俊太郎、フィルムアート社)					
注意事項	心や頭の中に浮かぶ形のないイメージを、映像と音を使って人に見てもらえる作品にすることで自己表現のノウハウを学んでほしい。					

科目名	写真撮影技術演習		単位数	2	実務経験	担当教員 くどう けんいち 工藤 研一
ナンバリングコード	MUM3223		授業形態	演習		
授業の内容	<p>様々分野において、写真(画像)は欠かせない表現方法として、いたる所で使用されています。 ここでは短期間で写真撮影に関する基礎的な知識を身に付け、初歩的な撮影方法をしっかり学び、写真で自己表現ができるように身に付けることを目指します。</p>					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 写真撮影に関する基礎知識とマナーを理解している。 2. 写真撮影による自己表現の方法を身につけている。 3. フォトアルバム制作により、今までに撮影した多くの写真を作品として整理しまとめる事ができる。 4. 日本の歴史的な場所で撮影することで伝統および近代文化に対する理解を深めることができる。 					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1, 2)					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション： 履修者が所有するカメラの把握。スケジュールの説明	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	講習① 写真の概要、撮影マナーと肖像権	予習	所有しているカメラを確認し準備をする	
				復習	肖像権について理解する	
	第3回	内容	実習① カメラの使い方と身近な被写体の撮影実習	予習	カメラの説明書の基本的な部分を読んでおく	
				復習	カメラの使い方を確認しておく	
	第4回	内容	実習② 課題：学外の屋外撮影実習 予定地：文京区 根津神社・つつじ祭りなど	予習	実習場所を予め把握しておく	
				復習	撮影した場所・ポイントを整理する	
	第5回	内容	講習② 撮影実習結果の講評と添削	予習	撮影した画像を事前に見ておく	
				復習	プリントする画像を選んでおく	
	第6回	内容	講習③ 構図(フレーミング)、感度と露出	予習	テキストの構図の部分を見ておく	
				復習	構図について理解する	
	第7回	内容	実習③ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：旧古河庭園・春のバラフェスティバルなど	予習	実習場所を予め把握し撮影準備をする	
				復習	撮影した場所・ポイントを整理する	
	第8回	内容	講習④ 撮影実習結果の講評と添削	予習	撮影した画像を予め確認しておく	
				復習	プリントする写真を選択する	
第9回	内容	実習④ 課題：人物・小物アクセサリーの撮影実習	予習	写したい小物アクセサリーを用意する		
			復習	撮影したポイントを理解する		
第10回	内容	実習⑤ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：喜多院・川越の街並み歴史的建造物など	予習	実習場所と被写体を予め把握しておく		
			復習	撮影した場所・ポイントを整理する		
第11回	内容	講習⑤ 撮影実習結果の講評と添削	予習	撮影した画像を見ておく		
			復習	プリントする写真を選択しプリントする		
第12回	内容	実習⑥ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：航空公園など	予習	実習場所を予め把握すること		
			復習	撮影した場所・ポイントを整理する		
第13回	内容	実習⑦ 課題：フォトアルバム作品制作	予習	制作に使う写真やマスキングテープそろえる		
			復習	足りない写真はプリントしておく		
第14回	内容	実習⑧ 課題：フォトアルバム作品制作	予習	制作に必要な写真などをそろえておく		
			復習	足りない写真はプリントする		
第15回	内容	講習⑥ 実習のまとめ、フォトアルバムの作品発表	予習	制作に必要な写真などをそろえておく		
			復習	他者の作品を鑑賞し今後の参考にする		
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	撮影後の添削時にコメントを行う					
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法： レポート・課題 (%)、作品・発表 (60 %)、授業態度 (40 %)</p>					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	履修期間中は最終課題のアルバム作品の写真が足らなくなる様に撮影実習日は必ず出席すること。学外実習は時間の取れる土曜日に行う。教科書等が無い代わりに必要な費用はアルバム代・SDカード代・交通費・入館料等が掛かります。					

科目名	CG演習		単位数	2	実務経験	担当教員 よしい としまさ 吉井 利 眞
カンパリコード	MUM3232		授業形態	演習		
授業の内容	3D・CGソフト（Shade）を利用し、3次元的な構想力と簡単な製図手法の習得をめざす。 3次元空間をパソコンの画面上でどのように把握し、表現することができるのかという基本的な感覚の把握を前提に、身近なもののデザインを行う					
到達目標	1. 空間座標による立体構造の把握ができ、自由にそれらを表現力できる。 2. CG制作にかかわる基本ツールや表現手法を利用できる。 3. CG制作演習を通して、現実の製作物の構造が想像できる。 4. 自己表現と、反省・修正ができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2・3 ）					
授業計画	第1回	内容	3次元空間の理解と表現	予習	上下、左右、前後から立体を眺めてみる	
				復習	演習ファイルの再確認	
	第2回	内容	製図の基本 作業用座標平面と見取り図	予習	缶コーヒーの見取り図をスケッチしておく	
				復習	演習ファイルの再確認	
	第3回	内容	基本製図作業① 各種ツールの理解	予習	アプリケーションのツールを確認	
				復習	演習ファイルの再操作	
	第4回	内容	基本製図作業② 各種形状の作成と編集	予習	基本図形の作成練習	
				復習	演習ファイルの再操作	
	第5回	内容	基本製図作業③ 掃引体と回転体	予習	アプリケーションのメニュー、ツールを確認	
				復習	演習ファイルの再操作	
	第6回	内容	課題への取り組み① テーブルと椅子の制作	予習	作図平面の再確認、線形状の作成練習	
				復習	操作内容の復習と課題の完成	
	第7回	内容	課題への取り組み② ガラスと液体の製作	予習	回転体作成の練習	
				復習	操作内容の復習と課題の完成	
	第8回	内容	課題への取り組み③ 材質の決定・ブーリアンレンダリング練習	予習	WEBでブーリアン演算についてチェックする	
復習				操作内容の復習と課題の完成		
第9回	内容	課題の提出相互評価	予習	課題の提出準備		
			復習	修正作業		
第10回	内容	課題への取り組み④ 製品のデザイン	予習	作品の構想を練っておく		
			復習	指示された修正、変更点を確認		
第11回	内容	課題への取り組み⑤ 図面への描きだし 丸めと回転	予習	WEBで自由曲面について調べておく		
			復習	演習ファイルの再操作		
第12回	内容	課題への取り組み⑥ 図面への描きだし レンダリングと修正	予習	準備ファイルの完成度を上げておく		
			復習	指示された修正、変更点を確認		
第13回	内容	課題への取り組み⑦ 細部の完成指導 テクスチャーの貼付け	予習	準備ファイルの完成度を上げておく		
			復習	指示された修正、変更点を確認		
第14回	内容	作品の提出と相互評価	予習	作品の完成準備		
			復習	修正作業を進める		
第15回	内容	作品の修正と提出	予習	再提出の準備作業		
			復習	評価や問題点の確認		
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題へコメントする					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（50%）、作品・発表（50%）、実技（ ）、授業態度（ ）					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	初心者向けの授業内容となりますので、楽しみながら授業を進めたいと思います。					

科目名	簿記と会計	単位数	2	実務経験	担当教員	かしまた ひろゆき 柏俣 廣行
ンパリングコード	BUS3221	授業形態	講義			
授業の内容	簿記の基本的なしくみについて理解し、企業における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得することを目的とした授業である。					
到達目標	1. 簿記の意味や意義を理解し、計数的に取引を処理する力を身につけている。 2. 企業の実情をつねに計数的にとらえる力を身につけている。 3. 経営の結果を各種の計算表にまとめ、検討し新しい計画を立てる資料を作成する力を身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (3)					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス・、簿記の意味・目的など簿記の基礎について説明をする。	予習	シラバスを読んでおくこと	
				復習	ノートを確認しておくこと	
	第2回	内容	資産・負債・純資産と貸借対照表と収益・費用と損益計算書について説明をする。	予習	貸借対照表と損益計算書について調べる	
				復習	簿記の五つの要素についてまとめ	
	第3回	内容	取引と勘定、仕訳と転記について説明をする	予習	仕訳帳と総勘定元帳について調べる	
				復習	取引の記帳についてまとめ	
	第4回	内容	試算表と精算表について説明をする。	予習	取引の記帳がしっかりできるようにしておく	
				復習	取引からの精算表までの流れをまとめ。	
	第5回	内容	決算の意味・手続きについて説明をする。	予習	決算の意味について調べる	
				復習	決算の意味・手続きをまとめ	
	第6回	内容	現金・預金などの取引について説明をする。	予習	現金・預金の種類について調べる	
				復習	各種出納帳の記帳についてまとめ	
	第7回	内容	商品売買の取引について説明をする。	予習	掛け取引について調べる	
				復習	仕入帳・売上帳についてまとめ	
	第8回	内容	商品有高帳と商品売買損益計算について説明をする。	予習	商品有高帳の記帳方法について調べる	
				復習	三分法で処理する意義をまとめ	
第9回	内容	手形の取引について説明をする。	予習	手形の種類、記帳について調べる		
			復習	各種記入帳をまとめ		
第10回	内容	有価証券の取引について説明をする。	予習	有価証券とは何か調べる		
			復習	取得と売却についてまとめ		
第11回	内容	その他の債権・債務の取引について説明をする。	予習	その他の債権・債務について調べる		
			復習	債権・債務についてまとめ		
第12回	内容	固定資産の取引について説明をする。	予習	固定資産とは何か調べる		
			復習	取得・売却、台帳についてまとめ		
第13回	内容	個人企業の取引と税金の取引についての説明をする。	予習	税金の種類について調べる		
			復習	個人企業の取引についてまとめ		
第14回	内容	決算整理・精算表について説明をする。	予習	決算整理の意味について調べる		
			復習	精算表作成出来るようにする		
第15回	内容	帳簿決算・財務諸表の作成について説明をする。	予習	財務諸表とは何か調べる		
			復習	企業の決算についてまとめ		
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	適宜、ノート・問題集により理解度を示す確認の時間をとる。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する / () しない 成績評価の方法：筆記試験 (60%)、レポート・課題 (20%)、作品・発表 () %、実技 () %、授業態度 (20%)					
教科書	『新簿記』(安藤英義 実教出版)					
参考文献	最新段階式簿記検定問題集 全商3級 実教出版					
注意事項	教科書、問題集、電卓、筆記用具 (赤ペン)、定規の5点セットを忘れないでください。					

科目名	簿記演習	単位数	2	実務経験	担当教員 かしまた ひろゆき 柏俣 廣行
ンパリングコード	BUS3231	授業形態	演習		
授業の内容	実際に行われている企業における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得することを目的とした授業である。また、日商簿記検定3級合格を目指す内容です。				
到達目標	1. 簿記の意味や意義を理解し、計数的に取引を処理する力を身につける。 2. 企業の実情をつねに計数的にとらえる力を身につける。 3. 経営の結果を各種の計算表にまとめ、検討し新しい計画を立てる資料を作成する力を身につける。				
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）				
授業計画	第1回	内容	ガイダンス・、現金預金・小口現金の意味・目的などについて	予習	当座借越について調べる
				復習	ノートを確認しておくこと
	第2回	内容	社債・株式の購入、売却について。	予習	手数料の扱いについて調べる
				復習	社債・株式の仕訳処理についてまとめる
	第3回	内容	借入金、商品券の取り扱いについて	予習	振込手数料の取り扱いについて調べる
				復習	利息・手数料の扱いについてまとめる
	第4回	内容	手形裏書譲渡、割引、手形借り入れについて	予習	裏書きについて調べる
				復習	手形取引についてまとめる
	第5回	内容	仕入返品・戻し、売上返品・戻りについて	予習	手付金相殺、商品券受取について調べる
				復習	売上・仕入の手続きをまとめる
	第6回	内容	固定資産の購入・売却について	予習	減価償却累計額について調べる
				復習	購入・売却についてまとめる
	第7回	内容	株式会社の設立と基本仕訳について	予習	株式会社とは、何かについて
				復習	剰余金の配当と処分についてまとめる
	第8回	内容	店舗の固定資産税と店主個人の所得税について	予習	固定資産税について調べる
				復習	税金の処理についてまとめる
第9回	内容	手形の取引について	予習	手形の種類、記帳について調べる	
			復習	各種記入帳をまとめる	
第10回	内容	有価証券の取引について	予習	有価証券とは何か調べる	
			復習	取得と売却についてまとめる	
第11回	内容	その他の債権・債務の取引について	予習	その他の債権・債務について調べる	
			復習	債権・債務についてまとめる	
第12回	内容	従業員の所得税（源泉徴収）、社会保険料の処理について	予習	社会保険料とは何か調べる	
			復習	各種税の処理についてまとめる	
第13回	内容	本支店会計について	予習	本支店会計について調べる	
			復習	本支店の取引についてまとめる	
第14回	内容	決算整理・精算表について	予習	決算整理の意味について調べる	
			復習	8桁精算表作成出来るようにする	
第15回	内容	帳簿決算・財務諸表の作成について	予習	財務諸表とは何か調べる	
			復習	企業の決算についてまとめる	
予習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	適宜、ノート・問題集により理解度を示す確認の時間をとる。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（20%）				
教科書	実教出版、日商簿記検定模擬問題集 平成31年度版 3級				
参考文献	実教出版、日商簿記検定模擬問題集 令和2年度版 3級				
注意事項	教科書、問題集、電卓、筆記用具（赤ペン）、定規の5点セットを忘れないでください。				

科目名	医療事務総論		単位数	1	実務経験	担当教員 やまぐち ひろみ 山口 博美
ナバリングコード		授業形態	講義			
授業の内容	日本の国民は、すべての人が何らかの保険に加入し、医療サービスを受けられる制度がある。各種保険の仕組み・種類を理解し、診療報酬の請求がどのように決定され、各自の負担額が決まるのかを学習する。健康で文化的な生活の中に医療保険の果たす役割の重要性を知り、医療利用者の支援をする。					
到達目標	1、医療保険制度の基礎的知識を得て「医療管理士」の資格を得る。 2、医療保険事務を理解し、演集によって診療報酬請求書作成のスキルを身につけている。 3、医療の現場では、診療報酬請求の内容を理解し、医療消費者の支援者として知識を身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2・3・4 ）					
授業計画	第1回	内容	医療保険の概略 実演集（1）レセプトの意味	予習	自分の属する医療保険を調べる	
				復習	現在の国民皆保険制度の問題をまとめる	
	第2回	内容	医療保険の種類と給付 実演集（2）レセプト基礎	予習	各種保険の表を調べる	
				復習	保険者、被保険者の特色をまとめる	
	第3回	内容	医療保険制度 地域保健と社会保険、その他の保健との比較と概要	予習	被保険者と給付について調べる	
				復習	用語の意味と流れについてまとめる	
	第4回	内容	全国健康保険協会と組合管掌健康保険 給付の仕組み（3）レセプト実践	予習	各保険協会の設立基準について調べる	
				復習	レセプトの復習をする	
	第5回	内容	国民健康保険制度とその他の医療制度 給付の仕組み（4）レセプト実践	予習	各種給付の種類と規定について調べる	
				復習	レセプト実践で確認する	
	第6回	内容	介護保険の概要	予習	介護保険の介護認定度を調べる	
				復習	介護保険の基準と内容をまとめる	
	第7回	内容	医療と情報	予習	高齢社会での介護保険の役割を調べる	
				復習	将来の介護保険の望む形をまとめる	
	第8回	内容	報酬請求 総括	予習	日本の医療保険の問題を調べる	
				復習	解決策と見通しをまとめる	
第9回	内容		予習			
			復習			
第10回	内容		予習			
			復習			
第11回	内容		予習			
			復習			
第12回	内容		予習			
			復習			
第13回	内容		予習			
			復習			
第14回	内容		予習			
			復習			
第15回	内容		予習			
			復習			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	毎回のレポート、レセプトの確認とコメントをいれる					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、実技（30 %）、授業態度（20 %）					
教科書	『書名』（著者名、出版社名）					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）					
注意事項	夏休みの集中学修ですので、アルバイトや帰省の調整をし、休まないことを希望する					

科目名	医療管理学概論		単位数	2	実務経験	担当教員 やまぐち ひろみ 山口 博美
カンパリコード	MEA3231		授業形態	講義		
授業の内容	少子高齢化社会など時代が変化する中で、病院の役割・機能も変化してきた。当講座は「医療秘書」の受験資格を得て合格を目指し、就職として人気の高い医療の現場で働くことも視野に入れ、多角的に学ぶ。医療管理学、法律を通して、医療の社会的意味を学ぶ講義にしたいと考える。					
到達目標	1、「医療管理士」の受験資格を得て1・2級合格できる知識を身につけている。 2、医療全般に精通し、医療に関する法律、介護保険知識を理解し、身につけている。 3、患者に信頼される医療従事者としての社会性と教養を養うことに取り組んでいる。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1・2・3・4 ）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 検定に向けての勉強のしかた、講義の受け方	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	学修の流れと検定について理解する	
	第2回	内容	医療と社会の関係 病院事務管理	予習	日本社会の病気の特色について調べる	
				復習	高齢社会における病院について知る	
	第3回	内容	医療秘書業務（1年のまとめ）	予習	医療秘書としての役割、患者の心理を復習	
				復習	検定過去問の確認テスト	
	第4回	内容	医療施設に関する法規① 医療法の概要と歴史	予習	医療法の目的を調べる	
				復習	医療法と医師法の違いを知る	
	第5回	内容	医療施設に関する法規②	予習	通院した医療施設について調べる	
				復習	病院の種類と特色をまとめる	
	第6回	内容	医療施設に関する法規③	予習	過去問プリントで確認する	
				復習	病院施設の適切な役割をまとめておく	
	第7回	内容	医療従事者に関する法規①（医師法他）	予習	医者と医師の歴史について調べる	
				復習	医師法の特色をまとめる	
	第8回	内容	医療従事者に関する法規②	予習	医師の権限と義務について調べる	
				復習	保険医の特色をまとめる	
第9回	内容	医療従事者に関する法規③	予習	医療のインフォームドコンセントについて調べる		
			復習	医療ミスや社会的問題をまとめる		
第10回	内容	その他の関連法規① 薬剤師法	予習	医療ミスについて新聞やニュースを見る		
			復習	医療従事者の各特色をまとめる		
第11回	内容	その他の関連法規② 保険助産師 看護師法	予習	医師不足と地域医療について調べる		
			復習	各法律の役割をまとめる		
第12回	内容	医療と情報 国民医療費の歴史と基礎的概念 保険の種類 と制度	予習	日本と世界の医療保険について調べる		
			復習	国民健康保険制度についてまとめる		
第13回	内容	診療情報 医療費と保険の用語 健康保険の基礎概念 カ ルテと諸記録	予習	自分の持つ保険証を調べてくる		
			復習	種類、所属、用語の意味をまとめる、		
第14回	内容	医療用語と医療倫理についての解説 検定試験の準備	予習	医療用語と医療費の流れを図に示す		
			復習	保険医療費の支払いの流れをまとめる		
第15回	内容	まとめと模擬検定試験実施	予習	各種法律と医療用語、保険用語をまとめる		
			復習	模試の結果から不足部分の再学習をする		
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	ノート、レポートの確認、コメントを入れる					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（%）、実技（%）、授業態度（20%）					
教科書	『書名』（著者名、出版社名）					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）					
注意事項						

科目名	医療秘書実務		単位数	2	実務経験	担当教員 やまぐち ひろみ 山口 博美
ナンバリングコード	MEA3221		授業形態	講義		
授業の内容	医師、看護師やスタッフとともに患者を支え、そのパイプ役となる秘書は、病院だけでなくあらゆる医療・福祉の現場で求められる人材である。高齢社会の日本の医療現場では、医療秘書は今後最も注目される職種であり、やりがいのある仕事といえる。毎回 10 分程度の医療手話を練習し、患者を支える特技になるよう生かしてほしい。					
到達目標	1. 「医療管理士」検定試験の受験資格を取得し 1.2 級合格に必要な知識を身につけている 2. 医療秘書として患者さんや家族と病院スタッフ、医師のパイプ役となる役割を身につけている。 3. 病院スタッフの仕事理解と患者さんとの対応、マナーを身につけようと取り組んでいる。					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1・2・3・4)					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 医療秘書の概論	予習	通院した施設の医療秘書の印象を調べる	
				復習	秘書の役割をまとめる	
	第2回	内容	医療と社会 その歴史と成立	予習	日本の医療の歴史を調べる	
				復習	古代から現代の医療の歴史をまとめる	
	第3回	内容	医療と社会 その歴史と成立	予習	現代の病院の役割を調べる	
				復習	医療サービスとしての病院をまとめる	
	第4回	内容	医療と社会 その歴史と成立	予習	医師不足と 3 分診療について調べる	
				復習	秘書の役割をまとめる	
	第5回	内容	業務管理部門 医事課と他の業務の種類	予習	病院の組織について調べる	
				復習	医事課と他課の違いをまとめる	
	第6回	内容	病院組織とマネジメント、インフォームドコンセントと QOL	予習	インフォームドコンセントについて調べる	
				復習	組織としての図をまとめる	
	第7回	内容	医療秘書業務 医療秘書の資質と役割	予習	ビジネス秘書との相違点を調べる	
				復習	どんな秘書が求められるかをまとめる	
	第8回	内容	言葉遣い、態度、コミュニケーション能力	予習	自分の理想的秘書のイメージを調べる	
				復習	患者や他者と人間関係を作る意味をまとめる	
	第9回	内容	ディスカッション (初診患者の気持ち・ガンの恐れについて)	予習	通院患者、初診の患者の気持ちについて調べる	
復習				患者の心理をまとめる		
第10回	内容	医療現場の特殊性 患者の心理と医療者の対応、守秘義務について	予習	医療の個人情報について調べる		
			復習	守秘義務についてまとめる		
第11回	内容	接遇、挨拶と病院での身だしなみ・医療コミュニケーション	予習	医療用語 (病院用語) について調べる		
			復習	プリントで確認する		
第12回	内容	カルテ他の書類の管理について	予習	病院の書類について調べる		
			復習	保管方法をまとめる		
第13回	内容	保管年数と扱いについて規定を理解	予習	カルテ他の種類を調べる		
			復習	表にしてまとめる		
第14回	内容	保管年数と扱いについて規定を理解	予習	保険の種類を調べる		
			復習	会社と地域の相違点をまとめる		
第15回	内容	医療秘書業務に関する検定試験の過去問題集	予習	プリントで確認しておく		
			復習	知識不足の箇所をやりなし身につける		
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	ノート、レポートの確認とコメント記入					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / () しない 成績評価の方法：筆記試験 (60 %)、レポート・課題 (20 %)、作品・発表 (%)、実技 (%)、授業態度 (20 %)					
教科書	『書名』(著者名、出版社名)					
参考文献	『書名』(著者名、出版社名)					
注意事項						

科目名	硬筆技能演習		単位数	2	実務経験	担当教員 つちや あけみ 土屋 明美
ナンバリングコード	BUS3232		授業形態	演習		
授業の内容	硬筆技能に対して理解する。基本的な文字を正しくかつ速く書くことができる力を身につけることを目的とする。毎時間、お手本を課題にして練習と清書を繰り返す。硬筆技能を習得して硬筆書写検定4級程度について学ぶ。					
到達目標	1. 基本的な硬筆技能に対して理解している 2. 実用から硬筆書写検定4級程度まで書くことができる力を身につけている 3. 硬筆技能の知識・能力を身につけている					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1・2 ）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、授業の進め方	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	硬筆学習のスタート ①さまざまな書写用具	予習	プリントを読んでおく	
				復習	硬筆を練習しておく	
	第3回	内容	〃 ②硬筆技能の基本	予習	プリントを読んでおく	
				復習	硬筆を練習しておく	
	第4回	内容	楷書の学習 ①基本点画の書き方／筆順と点画の構成	予習	プリントを読んでおく	
				復習	硬筆を練習しておく	
	第5回	内容	〃 ②部首・部分と文字の構成／字形を整えて書く	予習	プリントを読んでおく	
				復習	硬筆を練習しておく	
	第6回	内容	行書の学習 ①基本点画の書き方／点画の連続と省略	予習	プリントを読んでおく	
				復習	硬筆を練習しておく	
	第7回	内容	〃 ②部首・部分と文字の構成／筆順の変化	予習	プリントを読んでおく	
				復習	硬筆を練習しておく	
	第8回	内容	仮名の学習 ①平仮名・片仮名の字源／平仮名・片仮名の書き方	予習	プリントを読んでおく	
				復習	硬筆を練習しておく	
第9回	内容	〃 ②連面の方法と実際	予習	プリントを読んでおく		
			復習	硬筆を練習しておく		
第10回	内容	漢字仮名交じりの書の学習 ①漢字と仮名の調和の基本	予習	プリントを読んでおく		
			復習	硬筆を練習しておく		
第11回	内容	〃 ②漢字の楷書と仮名の調和	予習	プリントを読んでおく		
			復習	硬筆を練習しておく		
第12回	内容	〃 ③漢字の行書と仮名の調和	予習	プリントを読んでおく		
			復習	硬筆を練習しておく		
第13回	内容	形式を整えて書く 履歴書・手紙・はがき	予習	プリントを読んでおく		
			復習	硬筆を練習しておく		
第14回	内容	硬筆書写検定4級 ①練習	予習	プリントを読んでおく		
			復習	硬筆を練習しておく		
第15回	内容	〃 ②練習	予習	プリントを読んでおく		
			復習	授業を振り返り、改善方法をまとめる		
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	実技課題にコメントを行う。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：実技（60%）、授業態度（40%）					
教科書	なし					
参考文献	随時、参考文献を紹介する。					
注意事項	硬筆技能に関心を持って授業に臨むことを希望する。 筆記用具を持参すること。					

科目名	敬語とコミュニケーション		単位数	2	実務経験	担当教員	しばた 柴田 かおる
ナバリンクコード	BUS3222		授業形態	講義	有		
授業の内容	敬語を使う理由と使わない理由を明確にする。広義では、初めに基本的な敬語のルールを学習。その上で、敬語を使う状況を具体的に色々と取り上げ、場面ごとに何が一番適切な敬語の使い方になるのか観察、分析し、正しく敬語が使えるようになるまで繰り返し、訓練する。						
到達目標	1. 尊敬語を正しく使える 2. 謙譲語を正しく使える 3. 丁寧語を使ってもいい場合を理解できる 敬語以外の表現で敬意を表すことができる。						
学位授与方針	文化表現学科 (1・2・3・4)						
授業計画	第1回	内容	なぜ敬語は必要なのか—現代社会における敬語の考え方について、考察。具体的なケースを提示しながら敬語を使うことで、コミュニケーションの取り方がどう変わるか自ら判断できるようにする。	予習	なぜ敬語は必要なのか考えをまとめてくる		
				復習	実生活で敬語をどういう時に使うかまとめてみる		
	第2回	内容	謙譲語の基本的な決まり事を学ぶ。謙譲語は自分の行為を表現することであることを徹底的に繰り返して練習することで、自然に使えるようにする。	予習	自分がよく使う謙譲語を書き出してくる		
				復習	テキストの例文問題が全問正解になるまで繰り返す		
	第3回	内容	謙譲語の表現の中でも、丁寧語に近い表現を学ぶ。具体例を示しながら第2週で学んだ謙譲語との違いを理解する。	予習	謙譲語2と丁寧語の共通点を書き出してくる		
				復習	テキストの謙譲語例文を全問正解になるまで繰り返す		
	第4回	内容	謙譲語と、尊敬語を混同して使わないように、具体例を示しながら学ぶ。動詞の変化を見れば、主語が省かれていても謙譲語と尊敬語の違いが分かることを反復練習で覚える。	予習	謙譲語と尊敬語の違いを書き出してくる		
				復習	テキストの中でも特に類似例文問題が全問正解になるまで繰り返す		
	第5回	内容	ウチとソトという人間関係の区切りを念頭に、ソトの人間に対しては自分のウチ側にいる人間の行為について謙譲語を使うことを繰り返し練習。	予習	自分から見てウチとソトがどういう人間にあたるか書き出してくる		
				復習	ウチとソトという人間関係の区切りを念頭に、ソトの人間に対しては自分のウチ側にいる人間の行為について謙譲語を使うことをテキストの例文問題で繰り返し練習。		
	第6回	内容	尊敬語の基本的な決まり事を学ぶ。尊敬語は自分以外の人物の行為を表すものであることを徹底的に繰り返して練習することで、自然に使えるようにする。	予習	自分が使う尊敬語を書き出してくる		
				復習	これまで習った謙譲語の言い回しと比較しながら、テキストの尊敬語例文問題を全問正解になるまで繰り返す		
	第7回	内容	尊敬語を適切に使い、公道に張り出す告知文、公共施設での規則遵守を依頼する原稿を自ら書いてみる。状況を設定して、学生同士で尊敬語を使ってみる。	予習	課題を損益ごとと謙譲語の違いに注意しながら書く		
復習				授業で指摘されたことをもとに自分の書いた課題を推敲してみる			
第8回	内容	尊敬語の表現の中でも、人間関係を表す単語や、社会的地位を表す単語などの名詞を中心に学ぶ。更に敬意を表する宛名書きのルールも覚える。	予習	尊敬語の表現の中でも、人間関係を表す単語や、社会的地位を表す単語などの名詞を調べて書き出す			
			復習	尊敬語の表現の中でも、人間関係を表す単語や、社会的地位を表す単語などの名詞を自分で一覧表にして書き出してみる			
第9回	内容	丁寧語の基本的な決まり事を学ぶ。丁寧語は、主語が人間以外でも使えること、尊敬語や謙譲語ではなく、丁寧語でいい場合はどうい場合かを学ぶ。	予習	自分がよく使う丁寧語表現を書き出す。			
			復習	授業で教わった丁寧語例文問題を正解になるまで繰り返し書き出す			
第10回	内容	「お、ご」の使い方、改まり表現を学ぶ。それぞれ、実際に学生自身が使って表現してみる。過剰に「お、ご」を使わずに話すことも訓練する。	予習	「お、ご」を付ける単語をそれぞれ書き出してみる			
			復習	授業で教わったように「お、ご」を使って文章を書いてみる			
第11回	内容	クッション語をうまく使うことで、人間関係に配慮した敬語の使い方を身につける。実際に社会生活の中でクッション語が求められる状況を各自調べて、それにふさわしいクッション語を発表する。	予習	自分が使うクッション後を書き出してみる			
			復習	授業で教わったクッション後を整理して自分で一覧表を書いてみる			
第12回	内容	所謂バイト語について解説。何故敬語の間違ひの中でも、バイト語として括られる表現が、不快感を与えるのか考察する。実際に学生たちがよく使う、間違った敬語を挙げてもらい、それについて、自ら誤りを見つけて正しい言い方を学ぶ	予習	自分がよく使う、或いは人が使って気になるバイト後を書き出す			
			復習	バイト語として括られる表現を適切な警護で言い直してみる			
第13回	内容	人に物を依頼する場合、要求を断る場合、引き受けることが	予習	相手の言うことに否定的な意見を言う場合に相手が納得する言い方を色々書きだしてみる			

			不可能であることを伝える場合について、具体的な状況を想定して、敬語を練習する。いきなり「出ません」と言わずに、できないことを相手が心から納得する言い方でどう伝えるか学ぶ。	復習	授業で教わった否定表現を、自分なりに相手が納得するような柔らかい表現に置き換えてみる
	第14回	内容	初対面の人間に対応する場合、クレームに対応する場合、自己紹介をする場合に、適切な敬語を使って表現してみる。	予習	初対面の人間に対応する場合、クレームに対応する場合、自己紹介をする場合どうかという課題を行う
				復習	自分の書いてきた課題について授業で指摘されたことをもとに推敲し書き直す
	第15回	内容	過去14回の講義の復習を行う。よく間違える場所を特に繰り返し復唱する。	予習	これまでに配布されたテキスト全てに目を通して例題を行う
				復習	テキストの例文問題を再度やり直して自分が間違えたところを確認する
予習に要する学習時間：概ね 80 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	期末試験の後に試験の解説を行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法：筆記試験（80%）、レポート・課題（20%）				
教科書	その都度プリント配布				
参考文献	その都度授業で提示(敬語の考え方や使い方は時代を反映して変わってきているため、最新の情報を伝えるため)				
注意事項	授業中は実際に敬語を使って話したり書いたりしてもらおう。プリントは1回しか配布しないし、学期末まで使用するので、毎回持参すること。私語厳禁。携帯電話は切ってから授業に臨むこと。 ※担当教員は、アナウンサー、テレビ番組キャスターとしての経験を生かして授業を実施する実務家教員である。				

科目名	風土と文化		単位数	2	実務経験	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	CUL3231		授業形態	講義		
授業の内容	歴史・自然環境と文化との関係について学ぶ。特に「古都」の魅力について、みやこが大和（現在の奈良県）の明日香に置かれていた時代からの歴史をたどる。都という空間が現代に生きる私たちの感性に及ぼしている様々な影響について考察する。					
到達目標	1. 古都の歴史的展開について理解できる。 2. それぞれの都の特性が理解できる。 3. 歴史と風土の関わりについて理解できる。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1、2 ）					
授業計画	第1回	内容	授業の始まりにあたって～日本の世界遺産について	予習	世界遺産について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第2回	内容	飛鳥のみやこ	予習	飛鳥について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第3回	内容	うたわれた飛鳥の景観	予習	飛鳥を詠んだ歌を調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第4回	内容	近江京と藤原京	予習	近江国について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第5回	内容	藤原京から平城京へ	予習	遷都について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第6回	内容	平城京の実態	予習	平城京について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第7回	内容	平城京と寺社	予習	春日大社について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第8回	内容	東大寺と正倉院	予習	聖武天皇と大仏建立について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第9回	内容	平城京から長岡京へ	予習	長岡京について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第10回	内容	怨霊と長岡京・平安京	予習	怨霊について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第11回	内容	都と風水	予習	風水について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第12回	内容	平安京と寺社	予習	東寺・上賀茂下鴨神社について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第13回	内容	平安京と怪異現象	予習	御霊神社について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第14回	内容	秀吉による平安京再建	予習	応仁の乱について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	第15回	内容	平泉～北の「みやこ」	予習	平泉について調べる	
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる	
	予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。					
	課題へのフィードバック					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ 70 %）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 30 %）					
教科書	資料を配布					
参考文献	必要に応じて指示する					
注意事項	常にノートを整理すること					

科目名	地域文化を学ぶ		単位数	2	実務経験	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	CUL3212		授業形態	演習		
授業の内容	所沢市と周辺に残る特有の文化について学び、実際にゆかりのある地域を訪ねる。に					
到達目標	1. 所沢市と周辺の地域についての知識が豊かである。 2. 地域にちなんだ歴史や文化の魅力を発信できる					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1、2 ）					
授業計画	第1回	内容	授業の始まりにあたって	予習	所沢市と周辺の地理・歴史を調べる	
				復習	メモをノートにまとめる	
	第2回	内容	三富地域と江戸期の新田開発	予習	三富地域の新田開発について調べる	
				復習	メモをノートにまとめる	
	第3回	内容	三富地域の現状	予習	三富地域の現状に関する情報を集める	
				復習	メモをノートにまとめる	
	第4回	内容	三富地域を訪ねる①	予習	現地までのアクセスと歩行ルートを調べる	
				復習	メモをノートにまとめる	
	第5回	内容	三富地域を訪ねる②	予習	現地までのアクセスと歩行ルートを調べる	
				復習	メモをノートにまとめる	
	第6回	内容	三富地域を訪ねる③	予習	現地までのアクセスと歩行ルートを調べる	
				復習	メモをノートにまとめる	
	第7回	内容	トトロの森保全活動	予習	トトロの森保全活動に関する情報を集める	
				復習	メモをノートにまとめる	
	第8回	内容	トトロの森を訪ねるⅠ①	予習	現地までのアクセスと歩行ルートを調べる	
				復習	メモをノートにまとめる	
第9回	内容	トトロの森を訪ねるⅠ②	予習	現地までのアクセスと歩行ルートを調べる		
			復習	メモをノートにまとめる		
第10回	内容	トトロの森を訪ねるⅠ③	予習	現地までのアクセスと歩行ルートを調べる		
			復習	メモをノートにまとめる		
第11回	内容	トトロの森を訪ねるⅡ①	予習	現地までのアクセスと歩行ルートを調べる		
			復習	メモをノートにまとめる		
第12回	内容	トトロの森を訪ねるⅡ②	予習	現地までのアクセスと歩行ルートを調べる		
			復習	メモをノートにまとめる		
第13回	内容	トトロの森を訪ねるⅡ③	予習	現地までのアクセスと歩行ルートを調べる		
			復習	メモをノートにまとめる		
第14回	内容	三富地域イラストマップの作製	予習	ノートを整理しておく		
			復習	イラストマップを完成する		
第15回	内容	トトロの森イラストマップの作製	予習	ノートを整理しておく		
			復習	イラストマップを完成する		
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	提出時に説明					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（50 ）％、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度（50 ）％					
教科書	特になし					
参考文献	必要に応じて指示する					
注意事項	「～を訪ねる①～③」は集中講義のためそれぞれ1日で実施					

科 目 名	文化を訪ねる		単 位 数	2	実務経験	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之
ナンバリングコード	CUL3221		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	京都について学んだことを基にして行動計画を作成し、12月の初旬に2泊3日の日程で京都を訪ねる。						
到 達 目 標	1. 自身で行動計画が立てられる 2. 計画に基づいて円滑に行動できる 3. 旅行の成果をパワーポイントなどで発信できる						
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1、2)						
授 業 計 画	第1回	内容	授業の始まりにあたって～旅行の概要と留意点	予習	京都に関する資料を用意する		
				復習	メモや書き込みをノートにまとめる		
	第2回	内容	テーマの設定	予習	テーマの候補を幾つか用意する		
				復習	メモや書き込みをノートにまとめる		
	第3回	内容	行動計画書の作成と提出	予習	行動計画の原案を用意する		
				復習	行動計画書の細部を詰める		
	第4回	内容	京都を歩くⅠ（ボランティアの清掃活動）	予習	行動計画の確認		
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく		
	第5回	内容	京都を歩くⅠ	予習	行動計画の確認		
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく		
	第6回	内容	京都を歩くⅠ	予習	行動計画の確認		
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく		
	第7回	内容	京都を歩くⅡ	予習	行動計画の確認		
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく		
	第8回	内容	京都を歩くⅡ	予習	行動計画の確認		
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく		
第9回	内容	京都を歩くⅡ	予習	行動計画の確認			
			復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく			
第10回	内容	京都を歩くⅡ	予習	行動計画の確認			
			復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく			
第11回	内容	京都を歩くⅢ	予習	行動計画の確認			
			復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく			
第12回	内容	京都を歩くⅢ	予習	行動計画の確認			
			復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく			
第13回	内容	京都を歩くⅢ	予習	行動計画の確認			
			復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく			
第14回	内容	京都を歩くⅢ	予習	行動計画の確認			
			復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく			
第15回	内容	パワーポイントの作成	予習	3日間の行動をまとめておく			
			復習	パワーポイントを完成する			
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出時に説明						
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (%)、レポート・課題 (50 %)、作品・発表 (%)、実技 (%)、授業態度 (50 %)						
教科書	特になし						
参考文献	必要に応じて指示する						
注意事項	京都を歩くⅠ～Ⅲは3日間の集中講義						

科目名	古典文学を読む		単位数	2	実務経験	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	CUL3222		授業形態	演習		
授業の内容	8世紀初めに成立したと伝わる『古事記』の上巻を読み進める。上巻には神々の世界が描かれており、その誕生から始まる様々な神の姿や国土の起源、多くの事象の由来などを語る日本神話について丁寧な解説を加え、相互に対話を重ねて読み解いていく。					
到達目標	1. 日本の神話とはどのようなものかを理解する。 2. 古事記神話を通じて日本文化の特性について理解する。 3. 主要な神の名前と特徴が言える。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1、2 ）					
授業計画	第1回	内容	授業の始まりにあたって	予習	日本の神話について調べる	
				復習	神話の持つ意味と歴史についてノートにまとめる	
	第2回	内容	「序」を読む	予習	古事記の成立について調べる	
				復習	古事記編纂に至る歴史的背景をノートにまとめる	
	第3回	内容	世界の始まり「天地初発の時」	予習	疑問点を書き出しておく	
				復習	実際に声に出して読めるよう繰り返し練習する	
	第4回	内容	世界の始まり「天地初発の時」②	予習	疑問点を書き出しておく	
				復習	内容をノートにまとめる	
	第5回	内容	国土の成り立ち「大八島国の誕生」	予習	本文を実際に読んで疑問点を書き出しておく	
				復習	「大八島国」についてノートにまとめる	
	第6回	内容	死の起源とあの世「黄泉国訪問」	予習	本文を実際に読んで疑問点を書き出しておく	
				復習	「火の神」の誕生についてノートにまとめる	
	第7回	内容	最高神天照大御神の誕生「禊と三貴子」	予習	本文を実際に読んで疑問点を書き出しておく	
				復習	三貴神誕生までの内容をノートにまとめる	
	第8回	内容	アマテラスとスサノヲ	予習	本文を実際に読んで疑問点を書き出しておく	
				復習	「ウケヒ」から誕生した神をノートにまとめる	
第9回	内容	アマテラスの岩屋戸籠り	予習	本文を実際に読んで疑問点を書き出しておく		
			復習	神々の果たした役割をノートにまとめる		
第10回	内容	八俣の大蛇と「八雲たつ出雲」	予習	本文を実際に読んで疑問点を書き出しておく		
			復習	スサノヲと出雲についてノートにまとめる		
第11回	内容	オオクニヌシと因幡の白ウサギ	予習	本文を実際に読んで疑問点を書き出しておく		
			復習	大国主誕生までの経緯をノートにまとめる		
第12回	内容	国譲りと出雲大社	予習	本文を実際に読んで疑問点を書き出しておく		
			復習	出雲神話についてノートにまとめる		
第13回	内容	天孫降臨と美女神コノ花のサクヤビメ	予習	本文を実際に読んで疑問点を書き出しておく		
			復習	天孫降臨の具体的様相をノートにまとめる		
第14回	内容	海幸彦と山幸彦	予習	本文を実際に読んで疑問点を書き出しておく		
			復習	神話と始祖伝承についてノートにまとめる		
第15回	内容	授業の終わりにあたって	予習	古事記神話の展開をノートにまとめる		
			復習	古事記上巻を理解し本文を声に出して読む		
予習に要する学習時間：概ね 20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25分を目安とする。						
課題へのフィードバック	提出時に説明					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ %）					
教科書	プリントを配布する					
参考文献	必要に応じて指示する					
注意事項	古事記本文を何度も読み返すこと					

科目名	古典文学を読む	単位数	2	実務経験	担当教員	あいざわ ひろみち 相沢 浩通
カンパリノコード	CUL3222	授業形態	演習			
授業の内容	『平治物語』を講読します。平治元年(1159) 12月9日、宮廷内の権力争いを発端として勃発したクーデターは、源氏軍と平家軍の決戦となり、敗北した源氏方に数々の悲話を残しつつ、時代は驕(おご)る平家の世へと移行してゆきます。					
到達目標	1. 忠孝・武勇・潔さ・慈悲・ものあはれ。永きに亘り日本人が重んじてきたところを共有することができる。 2. 衣食住・戦闘と刀剣武具・信仰に関する歴史的知識を獲得して、「歴史もの」の小説・演劇・映画・アニメ・コミック・ゲーム等をより深く楽しむことができる。					
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1・2・3・4)					
授業計画	第1回	内容	授業計画の説明、軍記文学の概観	予習	シラバスに目を通しておく	
				復習	サムライへのリスペクトをまとめる	
	第2回	内容	『平治物語』の文学史上の位置と梗概	予習	資料に目を通しておく	
				復習	主要軍記作品をまとめる	
	第3回	内容	院政期の社会と平治の乱	予習	摂関政治・院政について調べておく	
				復習	平治の乱の政治状況を把握する	
	第4回	内容	『平治物語』講読① クーデターの勃発まで	予習	テキストに目を通しておく	
				復習	乱の対立関係をまとめる	
	第5回	内容	『平治物語』講読② 三条殿焼き討ち	予習	テキストに目を通しておく	
				復習	これまでの事件の経過をまとめる	
	第6回	内容	『平治物語』講読③ 大内裏の攻防戦(前編)	予習	テキストに目を通しておく	
				復習	寝返りによる形勢逆転をまとめる	
	第7回	内容	『平治物語』講読④ 大内裏の攻防戦(後編)	予習	テキストに目を通しておく	
				復習	平家方の作戦を確認する	
	第8回	内容	『平治物語』講読⑤ 源氏の敗北	予習	テキストに目を通しておく	
				復習	戦闘の方法をまとめる	
第9回	内容	『平治物語』講読⑥ 義朝らの死	予習	テキストに目を通しておく		
			復習	武人の名誉と不名誉を考える		
第10回	内容	『平治物語』講読⑦ 常葉の逃避行(前編)	予習	テキストに目を通しておく		
			復習	敗者の境遇をまとめる		
第11回	内容	『平治物語』講読⑧ 常葉の逃避行(後編)	予習	テキストに目を通しておく		
			復習	信心について考える		
第12回	内容	『平治物語』講読⑨ 常葉の出頭	予習	テキストに目を通しておく		
			復習	親孝行について考えをまとめる		
第13回	内容	『平治物語』講読⑩ 後日談 義平・頼朝ら	予習	テキストに目を通しておく		
			復習	怪異譚について考えをまとめる		
第14回	内容	『平治物語』講読⑪ 後日談 常葉・義経ら	予習	テキストに目を通しておく		
			復習	女性の幸福について考えを深める		
第15回	内容	総括	予習	物語の梗概を確認しておく		
			復習	古典文学を読むことの意義を考える		
予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。						
課題へのフィードバック	筆記試験の実施後、解説を行います。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(60%)、レポート・課題()%、作品・発表()%、実技()%、授業態度(40%)					
教科書	なし					
参考文献	『保元物語 平治物語 承久記』(栃木孝惟・日下力他校注、岩波書店)					
注意事項	1. 現代語訳の付いたテキストを配布して使用しますので、古典は初めて…でも全く大丈夫です。 2. 絵巻物等の絵画資料を活用して、平安時代の風俗(服装・武装・戦闘・信仰等)の解説に力を入れてゆきますのでお楽しみに。					

科目名	近代文学を読む	単位数	2	実務経験	担当教員 こしみず ゆうこ 小清水 裕子
ナンバリングコード	CUL3223	授業形態	演習		
授業の内容	日本の明治期以降の文学である近代文学の作品を読解し、作品や作者について理解を深める。様々なジャンルの近代文学に親しみ、作品を味わう姿勢を養うとともに、近代文学の研究に関する基礎的な事柄について理解することを目的とする。				
到達目標	1. 近代文学の作品を読解して考察したことを表現することができる。 2. 近代文学の研究についての基礎的な事項を理解している。 3. 近代文学の作品を読解したことを通して、近代文学史を理解している。 4. 近代文学作品の解釈の多様性について理解できる。				
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1・2・3）				
授業計画	第1回	内容	ガイダンス、近代文学の研究の基礎	予習	シラバスを読んでおく
				復習	習得する内容について確認する
	第2回	内容	幸田露伴「五重塔」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
	第3回	内容	森鷗外「舞姫」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
	第4回	内容	樋口一葉「たけくらべ」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
	第5回	内容	夏目漱石「夢十夜」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
	第6回	内容	与謝野晶子「みだれ髪」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
	第7回	内容	島崎藤村「破戒」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
	第8回	内容	志賀直哉「城崎にて」	予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する
	第9回	内容	芥川龍之介「蜘蛛の糸」	予習	作品を読む
			復習	作品と作者について整理する	
第10回	内容	中島敦「弟子」	予習	作品を読む	
			復習	作品と作者について整理する	
第11回	内容	高村光太郎「智恵子抄」	予習	作品を読む	
			復習	作品と作者について整理する	
第12回	内容	宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	予習	作品を読む	
			復習	作品と作者について整理する	
第13回	内容	川端康成「古都」	予習	作品を読む	
			復習	作品と作者について整理する	
第14回	内容	三島由紀夫「金閣寺」	予習	作品を読む	
			復習	作品と作者について整理する	
第15回	内容	近代文学のまとめ	予習	講義で読解した作品と作者を整理する	
			復習	作品のジャンルや近代文学史を整理する	
	予習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。				
課題へのフィードバック	作成したレポート及び、発表にコメントをする				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、作品・発表（50%）				
教科書	事前に提示する				
参考文献	適宜提示する				
注意事項	毎回テーマに沿ったレポートを作成し提出します。				

科目名	図書館概論		単位数	2	実務経験	担当教員 のなか ひろふみ 野中 博史
カンパリクコード	LIS3211		授業形態	講義		
授業の内容	図書館司書として不可欠の図書館に関する知識の修得及び図書館に関する課題を発見する力並びにその課題を解決する力を育むことを目的としている。					
到達目標	1. 図書館司書としての知識を育むことができる。 2. 図書館の機能と意義についての知識を育むことができる 3. 図書館の諸問題について考察することができる					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (3)					
授業計画	第1回	内容	15回にわたる授業の内容と授業方法、予習・復習の方法、授業の仕方について説明	予習	シラバスを読んでおくこと	
				復習	授業内容について理解しておくこと	
	第2回	内容	図書館の歴史と機能	予習	教科書の所定の項を読んでおくこと	
				復習	学習したことを自分なりに調べること	
	第3回	内容	現代社会と図書館	予習	授業内容について理解しておくこと	
				復習	学習したことを自分なりに調べること	
	第4回	内容	図書館の理念①図書館の自由と民主主義	予習	教科書の所定の項を読んでおくこと	
				復習	学習したことを自分なりに調べること	
	第5回	内容	図書館の理念②図書館の自由と司書	予習	教科書の所定の項を読んでおくこと	
				復習	学習したことを自分なりに調べること	
	第6回	内容	図書館の理念③	予習	教科書の所定の項を読んでおくこと	
				復習	学習したことを自分なりに調べること	
	第7回	内容	図書館法規と行政・施策	予習	教科書の所定の項を読んでおくこと	
				復習	学習したことを自分なりに調べること	
	第8回	内容	これまでの授業内容の確認及び試験	予習	学んだことを覚えておくこと	
				復習	試験結果についてフィードバックします	
第9回	内容	地域社会と図書館	予習	教科書の所定の項を読んでおくこと		
			復習	学習したことを自分なりに調べること		
第10回	内容	公共図書館の制度と機能	予習	教科書の所定の項を読んでおくこと		
			復習	学習したことを自分なりに調べること		
第11回	内容	学校図書館・専門図書館の制度と機能	予習	教科書の所定の項を読んでおくこと		
			復習	学習したことを自分なりに調べること		
第12回	内容	国立国会図書館の制度と機能	予習	教科書の所定の項を読んでおくこと		
			復習	学習したことを自分なりに調べること		
第13回	内容	国立国会図書館の制度と機能	予習	教科書の所定の項を読んでおくこと		
			復習	学習したことを自分なりに調べること		
第14回	内容	図書館をめぐる最近の動向と問題	予習	教科書の所定の項を読んでおくこと		
			復習	学習したことを自分なりに調べること		
第15回	内容	これまでの授業内容の確認	予習	学んだことを覚えておくこと		
			復習	学んだことを覚えておくこと		
予習に要する学習時間：概ね 50 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 130 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	適宜確認の時間をとります。中間試験について評価のフィードバックをし、結果によっては補習・再試験をします。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する / () しない 成績評価の方法：筆記試験 (90 %)、レポート・課題 (10 %)、作品・発表 (%)、実技 (%)、授業態度 (%)					
教科書	『書名』(著者名、出版社名)：『図書館概論』(日本図書館協会)					
参考文献	『書名』(著者名、出版社名)：適宜、指示します。					
注意事項	学習した内容に関して、関連事項をなるべく自分で調べるようにしてください。評価点になります。					

科目名	図書館サービス概論	単位数	2	実務経験	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史
ナンバリングコード	LIS3212	授業形態	講義			
授業の内容	図書館司書として不可欠の図書館サービスに関する知識を修得し、図書館サービスに関する課題を発見する力並びにその課題を解決する力を育む授業とする。					
到達目標	1. 図書館サービスの機能と内容について説明できる。 2. 各種図書館サービスの技能を習得し実践ができる。 3. 図書館図書の配架ができる。					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (3・4)					
授業計画	第1回	内容	15回にわたる授業の内容と授業方法、予習・復習の方法、授業の仕方について説明	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で修得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	図書館の機能とサービスの目的・意義	予習	図書館の基本機能について調べておく。	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
	第3回	内容	図書館サービスの役割と制度	予習	図書館の機能と役割について調べておく	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
	第4回	内容	図書館サービスの種類と意義	予習	図書館サービスの種類について調べる	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
	第5回	内容	図書館サービスの基準と内容	予習	図書館サービスの基準について調べる	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
	第6回	内容	業務分析と図書館職員の能力・外部資源の活用	予習	業務分析と外部資源について調べておく	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
	第7回	内容	来館者へのサービス	予習	来館者サービスについて調べておく	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
	第8回	内容	図書館の利用空間の構成都整備	予習	図書館の構成について調べておく	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
第9回	内容	書籍配架の原理と工夫	予習	書籍は以下について図書館で調べておく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
第10回	内容	貸出サービスの構造	予習	貸出の条件、手続きについて調べておく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
第11回	内容	リクエストサービスとレファレンス	予習	レファレンスサービスについて調べておく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
第12回	内容	著作権・プライバシーへの配慮	予習	著作権など法律について調べおく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
第13回	内容	児童サービス・高齢者サービス	予習	サービスの内容について調べておく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
第14回	内容	障害者サービス・多文化サービス	予習	サービスの内容について調べておく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
第15回	内容	集会文化活動・図書館サービスのデリバリー	予習	サービスの内容について調べておく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	適宜、学習成果に関して確認の時間を取り、必要であれば補講する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(80%)、レポート・課題(10%)、作品・発表()%、実技()%、授業態度(10%)					
教科書	『書名』(著者名、出版社名)『図書館サービス概論』(日本図書館協会)					
参考文献	『書名』(著者名、出版社名) 適宜、指示します。					
注意事項	筆記試験を重視します。課題を適宜出しますので、自主的に学習し提出すること。					

科目名	マンガ表現		単位数	2	実務経験	担当教員 いいた こういちろう 飯田 耕一郎
カンパリコード*	MAC3211		授業形態	演習	有	
授業の内容	マンガは絵と物語の両方を合わせた世界なので、デッサン、キャラクター、背景、パースなどの基本を複合的に進めていく形になると思います。 イラストもまた物語性を理解することによって創作の幅が広がるものと考えて大きな区別はありません。					
到達目標	1. 人物の顔と表情が描き分けられるようになり、いろんなキャラを描ける。 2. 人物の全身は難しいですが、チビキャラで構造を理解し描けるようになる。 3. 人物に合わせて背景も描けるためのパースの基礎を理解できるようになる。 4.					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1・2)					
授業計画	第1回	内容	【○と□を描こう】円と四角を描けることが基本の基本。	予習	シラバスを確認する。	
				復習	この日の課題をあらためて描いてみる。	
	第2回	内容	【いろんな表情を描こう】表情が変化するパターンを学ぶ。	予習	シラバスを確認しておく。	
				復習	この日の課題をあらためて描いてみる。	
	第3回	内容	【喜怒哀楽の表情を描こう】感情表現を理解する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。	
				復習	この日の課題をあらためて描いてみる。	
	第4回	内容	【二頭身キャラを描こう】シンプルなキャラを描く。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。	
				復習	この日の課題をあらためて描いてみる。	
	第5回	内容	【二頭身キャラのアクション】キャラに動きをつける。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。	
				復習	この日の課題のバリエーションを描いてみる。	
	第6回	内容	【三頭身キャラを描こう】キャラを描く。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。	
				復習	この日の課題のバリエーションを描いてみる。	
	第7回	内容	【三頭身キャラのアクション】キャラに動きをつける。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。	
				復習	この日の課題のバリエーションを描いてみる。	
	第8回	内容	【一点透視図法を学ぼう】パースを理解する。	予習	遠近のある物を描いてみる。	
				復習	この日の課題のバリエーションを描いてみる。	
第9回	内容	【二点透視図法と三点透視図法を学ぼう】パースを理解する。	予習	遠近のある物を描いてみる。		
			復習	この日の課題のバリエーションを描いてみる。		
第10回	内容	【色んな角度から顔を描く】同一人物を角度を変えて描く。	予習	遠近のある物を描いてみる。		
			復習	この日の課題のバリエーションを描いてみる。		
第11回	内容	【倒れた瓶を模写してみよう】模写の仕方を学ぶ。	予習	好きな物を模写してみる。		
			復習	この日の課題のバリエーションを描いてみる。		
第12回	内容	【シワの描き方を学ぼう】服などのシワの理屈を学ぶ。	予習	シワをスケッチしてみる。		
			復習	この日の課題のバリエーションを描いてみる。		
第13回	内容	【六頭身キャラを描いてみよう】フルサイズのキャラ描く。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
			復習	この日の課題のバリエーションを描いてみる。		
第14回	内容	【全身で感情表現してみよう】感情と動きを全身で描く。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
			復習	この日の課題のバリエーションを描いてみる。		
第15回	内容	【色を塗ってみよう】塗り絵でカラー表現を学ぶ。	予習	色鉛筆を準備しておく。		
			復習	この日の課題のバリエーションを描いてみる。		
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (0%)、レポート・課題 (30%)、作品・発表 (20%)、実技 (30%)、授業態度 (20%)					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	※担当教員は、漫画編集部勤務を経て、漫画家として活動する傍ら、日本マンガ塾講師を務める実務家教員である。					

科目名	イラスト表現		単位数	2	実務経験	担当教員 いいだ こういちろう 飯田 耕一郎
カンパリコード	MAC3221		授業形態	演習	有	
授業の内容	背景、パースなどの基本内容を復習しながら更に模写の技術、線画の技術などを深めていく内容になっています。課題もより創作に近づけた内容になっていきます。					
到達目標	1. 表現の仕方のコツを学び、理解力の幅を広げていく。 2. 人物はチビキャラから更に進めて5頭身～6頭身のサイズで描くことを学びます。 3. 背景も単純な形状から俯瞰、アオリを含めた複雑な描写と、透視図法を理解出来るようになる。 4.					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1・2)					
授業計画	第1回	内容	【人体の構造を学ぶ】 骨格の構造などの理解。	予習	シラバスを確認する。	
				復習	課題テーマをあらたに描いてみる。	
	第2回	内容	【六頭身キャラを描こう】 人物の動作を六頭身で描きます。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。	
				復習	課題テーマをあらたに描いてみる。	
	第3回	内容	【模写の仕方を学ぶ】 大きさを変えて物を模写する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。	
				復習	課題テーマをあらたに描いてみる。	
	第4回	内容	【線の強弱のつけ方を学ぶ】 線による表現力の違いを学びます。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。	
				復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。	
	第5回	内容	【ショットサイズを学ぶ】 人物のサイズによる表現を学びます。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。	
				復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。	
	第6回	内容	【五段階の影のつけ方】 陰影のつけ方を学びます。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。	
				復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。	
	第7回	内容	【友だちを描いてみよう】 実在の人物をキャラにしてみる。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。	
				復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。	
	第8回	内容	【花びら&布の表現を学ぶ】 裏表の表現を理解しましょう。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。	
				復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。	
第9回	内容	【シワの描き方】 皺の理解を学びましょう。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
			復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。		
第10回	内容	【服の描き方】 いろんなコスチュームを描いてみましょう。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
			復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。		
第11回	内容	【複数キャラを描こう】 脇役をうまく描いてみましょう。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
			復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。		
第12回	内容	【文字から立体を理解する】 文字も絵にしてみましょう。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
			復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。		
第13回	内容	【俯瞰とあおりと平行】 視点の理解を進めます。	予習	階段の下から見た絵と見下ろした絵をイメージ。		
			復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。		
第14回	内容	【カメラワークを学ぶ】 映像的理解を進めます。	予習	カメラを持った絵でみるイメージを描く。		
			復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。		
第15回	内容	【色を塗ろう②】 オリジナルの絵に色を塗りましょう。	予習	色鉛筆を用意する。		
			復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。		
予習に要する学習時間：概ね 15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (0%)、レポート・課題 (30%)、作品・発表 (20%)、実技 (30%)、授業態度 (20%)					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	※担当教員は、漫画編集部勤務を経て、漫画家として活動する傍ら、日本マンガ塾講師を務める実務家教員である。					

科目名	マンガ創作		単位数	2	実務経験	担当教員 いいだ こういちろう 飯田 耕一郎
カンパリコード*	MAC3232		授業形態	演習	有	
授業の内容	物語をつくるための創作技法の理解。 実際にコマを割ってマンガ作品を創作します。 そのためのコマ割りの技術を学んでいきます。					
到達目標	1. マンガの描き方の流れを学び、ペンを使いコマを割って創作作品をひとつ仕上げること。 2. 自由イラストを制作すること。 3. 生徒全員で同人誌を制作すること。 4.					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2・4)					
授業計画	第1回	内容	【マンガ制作の流れ】 制作プロセスを理解します。	予習	シラバスを確認する。	
				復習	課題テーマを再確認。	
	第2回	内容	【コマ割りの理解①】 コマを割って課題とともに学びます。	予習	物語を考えてみる。	
				復習	課題テーマを再確認。	
	第3回	内容	【コマ割りの理解②】 コマに分割していく流れを学びます。	予習	物語を考えてみる。	
				復習	課題テーマを再確認。	
	第4回	内容	【コマ割りの理解③】 コマを読む進める流れを学びます。	予習	物語を考えてみる。	
				復習	課題テーマを再確認。	
	第5回	内容	【プロット作り】 オリジナルのあらすじを考えましょう。	予習	物語を考えてみる。	
				復習	物語を煮詰める。	
	第6回	内容	【ストーリー作り①】 それを物語にしていきます。	予習	物語を考えてみる。	
				復習	物語を煮詰める。	
	第7回	内容	【ストーリー作り②】 ネームという作業を学びます。	予習	物語を考えてみる。	
				復習	物語を煮詰める。	
	第8回	内容	【課題を元にコマを割る】 コマを実際に割って見ます。	予習	物語を煮詰める。	
				復習	物語を煮詰める。	
第9回	内容	【課題を元にコマを割る】 アドバイスと共に完成させます。	予習	物語を煮詰める。		
			復習	作品再確認。		
第10回	内容	【ペン入れ①】 ペンの基礎を学びます。	予習	線を引く練習をする。		
			復習	課題テーマをあらたに描いてみる。		
第11回	内容	【ペン入れ②】 ペンのケアミなどを学びます。	予習	線を引く練習をする。		
			復習	課題テーマをあらたに描いてみる。		
第12回	内容	【ペン入れ③】 ペンの定規線を学びます。	予習	定規を使って線を引く練習をする。		
			復習	課題テーマをあらたに描いてみる。		
第13回	内容	【原稿用紙を使って描く】 原稿用紙に下描きをしてみます。	予習	原稿用紙の再確認。		
			復習	作品再確認。		
第14回	内容	【原稿用紙を使って描く】 原稿用紙にペン入れをしてみます。	予習	ペンを使う練習をする。		
			復習	作品再確認。		
第15回	内容	【作品講評】 アドバイス。	予習	仕上げ。		
			復習	作品再確認。		
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (0%)、レポート・課題 (30%)、作品・発表 (40%)、実技 (20%)、授業態度 (10%)					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	※担当教員は、漫画編集部勤務を経て、漫画家として活動する傍ら、日本マンガ塾講師を務める実務家教員である。					

科目名	アニメーション表現		単位数	2	実務経験	担当教員 いいた こういちろう 飯田 耕一郎
カンパリノコード	MAC3222		授業形態	演習		
授業の内容	アニメーションの基本的な理解。 製作工程、決まりごとを学びます。 動きの基本を単純で簡単なところから学んでいきます。					
到達目標	1. アニメーション制作の工程を理解できる 2. アニメーションの基本的な動きを実際に描いてみて知識と描写力をつけること。 3. アニメーションの表現方法の幅の広さを理解する。 4.					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2・4)					
授業計画	第1回	内容	アニメーションの基本を知ろう。	予習	シラバスを確認する。	
				復習	講義の再確認。	
	第2回	内容	アニメーションはこうして創られる。	予習	前回の講義の再確認。	
				復習	講義の再確認。	
	第3回	内容	アニメーションの歴史の流れを知る。	予習	前回の講義の再確認。	
				復習	講義の再確認。	
	第4回	内容	動かしてみよう「ボールの跳ねる動き」。	予習	前回の課題の確認をしておく。	
				復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。	
	第5回	内容	動かしてみよう「ボールの移動の動き」	予習	前回の課題の確認をしておく。	
				復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。	
	第6回	内容	動かしてみよう「重力と慣性」	予習	前回の課題の確認をしておく。	
				復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。	
	第7回	内容	動かしてみよう「ヨセとノコシ」	予習	前回の課題の確認をしておく。	
				復習	課題テーマをバリエーションで描いてみる。	
	第8回	内容	動かしてみよう「手を振る」	予習	前回の課題の確認と修正。	
				復習	課題の確認と修正。	
	第9回	内容	動かしてみよう「手を振る2」	予習	前回の課題の確認と修正。	
復習				課題の確認と修正。		
第10回	内容	動かしてみよう「お辞儀」	予習	前回の課題の確認と修正。		
			復習	課題の確認と修正。		
第11回	内容	動かしてみよう「お辞儀2」	予習	前回の課題の確認と修正。		
			復習	課題の確認と修正。		
第12回	内容	動かしてみよう「立ち上がる」	予習	前回の課題の確認と修正。		
			復習	課題の確認と修正。		
第13回	内容	動かしてみよう「立ち上がる2」	予習	前回の課題の確認と修正。		
			復習	課題の確認と修正。		
第14回	内容	動かしてみよう「歩く」	予習	前回の課題の確認と修正。		
			復習	課題の確認と修正。		
第15回	内容	動かしてみよう「歩く2」	予習	前回の課題の確認と修正。		
			復習	課題の確認と修正。		
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (0%)、レポート・課題 (40%)、作品・発表 (0%)、実技 (40%)、授業態度 (20%)					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項						

科目名	アニメーション創作		単位数	2	実務経験	担当教員 飯田 耕一郎
カンパリンクコード	MAC3231		授業形態	演習		
授業の内容	実際にキャラクターや背景を描いてアニメーションを制作することになりますが、その手法に関するいろいろな形があることを楽しく学んで進められればと考えています。					
到達目標	1. 基本的なアニメーションの流れを理解して実際に作ってみる。 2. 共通のテーマを前提にそれぞれが発想し短編アニメーション一本を創りあげること。 3. いろいろな方法でアニメーションが創れることを学ぶ。 4.					
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2・4 ）					
授業計画	第1回	内容	アニメーション創作の流れ。	予習	シラバスを確認する。	
				復習	短編を考える。	
	第2回	内容	テーマを決めよう	予習	短編を考える。	
				復習	課題を煮詰める。	
	第3回	内容	内容を決めよう。	予習	短編を考える。	
				復習	物語を煮詰める。	
	第4回	内容	キャラを設定しよう。	予習	課題を煮詰める。	
				復習	物語を煮詰める。	
	第5回	内容	絵コンテを切ろう。	予習	課題を煮詰める。	
				復習	物語を煮詰める。	
	第6回	内容	絵コンテを切ろう。	予習	課題を煮詰める。	
				復習	物語を煮詰める。	
	第7回	内容	原画を描こう。	予習	ラフ原画を描いてみる。	
				復習	課題の修正と構築。	
	第8回	内容	原画を描こう。	予習	ラフ原画を煮詰める。	
				復習	課題の修正と構築。	
第9回	内容	背景作画しよう。	予習	前課題の確認。		
			復習	課題の修正と構築。		
第10回	内容	背景作画しよう。	予習	前課題の確認。		
			復習	課題の修正と構築。		
第11回	内容	人物を描こう。	予習	前課題の確認。		
			復習	課題の修正と構築。		
第12回	内容	人物を描こう。	予習	前課題の確認。		
			復習	課題の修正と構築。		
第13回	内容	人物を描こう。	予習	前課題の確認。		
			復習	課題の修正と構築。		
第14回	内容	仕上げてみよう。	予習	前課題の確認。		
			復習	課題の修正と構築。		
第15回	内容	生徒作品鑑賞。	予習	課題の修正と構築。		
			復習	課題の確認。		
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（0%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（30%）、実技（30%）、授業態度（20%）					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項						

科目名	小説鑑賞		単位数	2	実務経験	担当教員 いのうえ まさひこ 井上 雅彦	
ナバリングコード	MAC3223		授業形態	講義	有		
授業の内容	様々なジャンルに渡る現代の短篇小説の鑑賞を通して、小説という芸術表現を読み解く技量を育成する授業とする。創作者の創造性に迫ることにより、自分自身の感性を高め、表現力を磨き、思考力を深めることを志す。同時に、豊かな日本語表現や多様な小説世界を産みだした文化についての幅広い教養の習得を志す授業とする。						
到達目標	1.現代の短篇小説の豊かな表現方法、表現技術を読み解く知見を学ぶことができる。 2.日本語における修辞学、文章表現に関する広範な教養を身につけることができる。 3.多岐のジャンルに渡る小説に関する知識・考え方を理解することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1. 2 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 授業の進め方、さまざまな現代の短篇小説について	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第2回	内容	幻想文学を読む（1） 幻想文学とはなにか 幻想文学の実作とその特徴について	予習	指定したテキストを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第3回	内容	幻想文学を読む（2） 幻想文学の文学史や、幻想文学の作者について学ぶ	予習	指定したテキストを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第4回	内容	驚きの結末（1） ショートショート、アイディアストーリーの実作と鑑賞法	予習	指定したテキストを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第5回	内容	驚きの結末（2） ショートショート、アイディアストーリーの文学史	予習	指定したテキストを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第6回	内容	恐怖の物語 ホラーフィクションの実作と怖さの本質	予習	指定したテキストを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第7回	内容	笑いの物語 笑いをめぐる多様な文学について	予習	指定したテキストを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第8回	内容	SF（科学と小説） SFとはなにか。SFの実作とその特徴について	予習	指定したテキストを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第9回	内容	SF（驚きの感覚） さまざまなSFの手法、文学史について学ぶ	予習	指定したテキストを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第10回	内容	ミステリ（本格） ミステリの分類、実作とその特徴について	予習	指定したテキストを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第11回	内容	ミステリ（変格） 「奇妙な味」のミステリの味わい方	予習	指定したテキストを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第12回	内容	《異色作家短篇》について 独特のムードを持つ多様な短篇群の鑑賞法	予習	指定したテキストを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第13回	内容	メタフィクションとはなにか 現代小説の重要な手法であるメタフィクションを読み解く	予習	指定したテキストを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第14回	内容	実験小説と前衛 アヴァンギャルドな小説の多様な手法について	予習	指定したテキストを読んでおく		
				復習	授業のノートを確認する		
	第15回	内容	短篇小説の可能性 短篇小説の鑑賞と創造性について	予習	これまでの授業を振り返る。		
				復習	短篇小説と自分について考える		
	予習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。						
	課題へのフィードバック	適宜、確認の時間をとる					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ % ）、レポート・課題（ 60 % ）、作品・発表（ % ）、実技（ % ）、授業態度（ 40 % ）						
教科書	独自の教材を提供する						
参考文献	適宜、指定する						
注意事項	知識に関する講義は、復習の際、学習内容を箇条書きにしてください。 ※担当教員は小説家としての経験を生かして授業を実施する実務家教員である。						

科目名	小説創作		単位数	2	実務経験	担当教員 いのうえ まさひこ 井上 雅彦
ナバリングコード	MAC3233	授業形態	演習	有		
授業の内容	小説を書くための演習を通して、世界に対峙する自分自身の感性を高め、思考力を深め、独自の創造性を磨く授業とする。文章表現によって小説の世界を創る面白さを体験し、職業としての小説家を目指す者にも有益な、実践的な技量の習得を目標とする。同時に、様々な現代小説についての知識・教養を身につける授業とする。					
到達目標	1.小説を創作するための発想力・構想力・表現力などを習得することができる。 2.現代の小説に関する知識・考え方を理解することができる。 3.小説家という職業を生きるための実践的な知識・方法論を学ぶことができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1. 2 ）					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 作家の仕事、創作力の育て方について説明する	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	授業ノートを確認する	
	第2回	内容	言葉と戯れる 言葉を引き出すレッスンを通して言語感覚を鍛える	予習	自己評価シートを記入する	
				復習	レッスンの課題を振り返る	
	第3回	内容	文章と戯れる 身近な文章から不思議な世界を導き出すレッスン	予習	授業ノートを確認する	
				復習	レッスンの課題を振り返る	
	第4回	内容	短い小説の着想 アイデアを引き出す様々な技法について学ぶ	予習	授業ノートを読んでおく	
				復習	レッスンの課題を振り返る	
	第5回	内容	短い物語を書いてみる（一） 短い物語の実作演習	予習	短い小説を読んでおく	
				復習	レッスンの課題を振り返る	
	第6回	内容	短い物語を書いてみる（二） さらなるメソッドによる実作演習	予習	短い小説を読んでおく	
				復習	レッスンの課題を振り返る	
	第7回	内容	短い物語の講評 まとめとして作品の講評	予習	短い小説を読んでおく	
				復習	講評を受け、自身の課題を振り返る	
	第8回	内容	キャラクターとはなにか 物語にとってのキャラクターの意味と造形のレッスン	予習	好きなキャラクターについて考える	
				復習	レッスンの課題を振り返る	
	第9回	内容	キャラクターを創るレッスンについての講評と講義	予習	授業ノートからキャラクターについて考える	
				復習	講評を受け、自分の課題を振り返る	
	第10回	内容	世界観とはなにか 物語にとっての「世界」の意味とその描写のレッスン	予習	好きな作品世界について考える	
				復習	レッスンの課題を振り返る	
第11回	内容	世界観を創るレッスンについての講評と講義	予習	授業ノートから世界観について考える		
			復習	講評を受け、自分の課題を振り返る		
第12回	内容	物語の構成について 物語を構築するための構成とその分析手法について	予習	自分の好きな小説の構成について考える		
			復習	授業ノートから小説の構成を分析してみる		
第13回	内容	物語の叙述と表現方法について学ぶ	予習	自分の好きな小説の叙述方法について考える		
			復習	授業ノートや課題について振り返る		
第14回	内容	まとめとふりかえり 言葉、着想、キャラクター、世界、物語について	予習	これまで学んできたことを確認しておく		
			復習	これまでのレッスンの課題を振り返る		
第15回	内容	小説家という仕事について 物語を作る仕事とはなにかを説明する	予習	自分の創作生活について考えてみる		
			復習	これまでの授業と創作について考える		
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	適宜、確認の時間をとる					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（40%）、作品・発表（40%）、実技（ ）、授業態度（20%）					
教科書	独自の教材を提供する					
参考文献	適宜、指定する					
注意事項	教員が指定したテーマにしたがって、実作の執筆を促す。 ※担当教員は小説家としての経験を生かして授業を実施する実務家教員である。					

【文化表現学科】

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

(シラバスリンク：新カリキュラム)

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/wordpress/wp-content/themes/akikusaTheme/assets/pdf/bh_syllabus_2020.pdf#pagemode=bookmarks

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	アナウンス表現演習	2	演習	柴田かおる	25
2	エアライン英会話	2	演習	平井美知子	31
3	エアライン実務	2	演習	平井美知子	36
4	敬語とコミュニケーション	2	演習	柴田かおる	63
5	マンガ表現	2	演習	飯田耕一郎	73
6	イラスト表現	2	演習	飯田耕一郎	74
7	マンガ創作	2	演習	飯田耕一郎	75
8	小説鑑賞	2	演習	井上雅彦	78
9	小説創作	2	演習	井上雅彦	79
	計	18			

(実務家教員略歴)

柴田 かおる ～ 株式会社ニッポン放送にアナウンサーとして入社、語学留学を経てフジサンケイコミュニケーションズインターナショナルに入社し、ニューヨーク特派員やテレビ番組のキャスターを務める。

平井 美知子 ～ 国内航空会社の国際客室乗務員として勤務、以降その経験を生かし各所で講師を務める。

飯田 耕一郎 ～ 漫画編集部勤務を経て、漫画家として活動する傍ら、日本マンガ塾講師を務める。

井上 雅彦 ～ 小説家としての著書多数。「星新一ショートショートコンテスト」優秀賞、「日本SF大賞」特別賞等の受賞歴あり。現在まで日本SF作家クラブ事務局長や文学賞の選考委員等を歴任。

注) 「実務経験のある教員等による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指す。実務経験があっても、担当する授業科目の教育内容と関わりがなく、授業に実務経験を活かしているとは言えない場合は対象とはならないことに注意すること。また、必ずしも実務経験のある教員が直接の担当でなくとも、例えば、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う場合や、学外でのインターンシップや実習等を授業の中心に位置付けているなど、主として実践的教育から構成される授業科目もこれに含む。必修科目、選択科目又は自由科目の別を問わない。